

平成30年度土木学会全国大会 第73回年次学術講演会プログラム

第6部門

平成30年8月29日(水) VI-1会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部N207)

■10:40～12:00 山岳トンネル(1)

- VI-001 猪淵トンネル下り線 坑内変状対策の施工について/西松建設株式会社西日本支社 [正] 岩間 史明・佐伯 好治・南上 真一・岡 竜
- VI-002 トンネル坑口部の地すべり斜面における動態観測とその考察/ [正] 鈴木 拓也・森川 義博・対馬 祥一・志渡澤 義孝
- VI-003 地すべり地におけるトンネル施工/株式会社 鴻池組 [正] 小林 亘・小松 孝志・若林 宏彰
- VI-004 海岸線と国道に近接した急崖堆積岩地形でのトンネル坑口施工/東急建設株式会社 [正] 鈴木 祥三・遠藤 毅・安 勝印
- VI-005 三次元解析を用いた坑口部の情報化施工/西松建設(株) [正] 岡田 謙吾・奈良 聡・原島 大・鈴木 健・丸山 大輔
- VI-006 崖線の厚く堆積した坑口区間におけるトンネル掘削時の斜面安定対策/東急建設株式会社 [正] 村田 和哉・神崎 博章・和田 脩平・満尾 淳・渡辺 章

■15:20～16:40 山岳トンネル(2)

- VI-007 低土被りの風化岩におけるトンネル沈下抑制対策/奥村組 [正] 外木場 康将・倉田 桂政・塚本 耕治
- VI-008 未固結地山を対象としたトンネル掘削における先受け工注入材の検討(その1) - 注入試験と浸透性について/岩田地崎建設株式会社 [正] 金子 泰久・山本 丈迅・大畑 雅義・片山 政弘・大河原 正文
- VI-009 未固結地山を対象としたトンネル掘削における先受け工注入材の検討(その2)/熊谷組 [正] 大畑 雅義・山本 丈迅・片山 政弘・中島 慶介・大河原 正文
- VI-010 小土被り・未固結地山トンネルにおける効果的な補助工法への取り組み/熊谷組 [正] 高島 公彦・芳川 信之・中村 順一・望月 克則
- VI-011 脆弱泥岩地山における対策工と支保パターンの選定について/株式会社 竹中土木 [正] 浦橋 伴仁・星野 実・市川 晃央・小林 二三雄・大藤 茂也
- VI-012 上下半増しロックボルトのパターン化による初期変位の抑制/飛鳥建設 [正] 兼松 亮・佐々木 和人
- VI-013 超大断面水路トンネルにおける大規模破砕帯対策工の施工/大林組 [正] 矢野 義泰・谷口 昭一・籠谷 建太郎・村上 正一・秋好 賢治

平成30年8月30日(木) VI-1会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部N207)

■9:00～10:20 山岳トンネル(3)

- VI-014 マルチスペクトル画像を用いた岩石風化程度評価手法の開発/安藤・間 [正] 鶴田 亮介・宇津木 慎司
- VI-015 切羽周辺で取得した三次元地質データによる地質評価手法の検証/清水建設株式会社 [正] 邊見 涼・谷村 浩輔・淡路 勲太
- VI-016 切羽崩落事故ゼロのためのIoTによるリアルタイム切羽崩落予測システム/飛鳥建設 [正] 白鷺 卓・戸邊 勇人・宮嶋 保幸・山本 拓治
- VI-017 タブレット端末で動作するトンネルの切羽観察アプリケーションの現場活用/飛鳥建設 [正] 滝波 真澄・渡邊 博・宇都宮 基宏・石田 滋樹・岸田 展明
- VI-018 背景差分法を活用したトンネル切羽の崩落検知システムの開発/大林組技術研究所 [正] 藤岡 大輔・中間 健一・西山 哲
- VI-019 トンネル切羽における落石を瞬時に検知・警報する装置の開発/大成建設株式会社 [正] コガ ヨシタカ・谷 卓也・須藤 敏明・早坂 翼・本間 直樹
- VI-020 トンネル切羽に出現した空洞に対する施工事例/大林組 [正] 原口 雄人・佐土原 一也・久下 敦

■10:40～12:00 山岳トンネル(4)

- VI-021 市道直下土被り1.5m未固結湧水区間のトンネル施工/NEXCO中日本 [正] 山崎 哲也・八木 弘
- VI-022 河川・市道・住宅密集地直下における小土被りトンネルの補助工法/清水建設 [正] 古木 弘・江島 武・藤野 晃
- VI-023 不均質地山によるトンネル構造の安定性低下が地表面へ与える影響を予測/清水建設 [正] 松野 遼太郎・江島 武・藤野 晃・福田 毅
- VI-024 仮想ドレーンモデルの実用化を目指した現場実証解析/地層科学研究所 [正] 細野 賢一・江島 武・藤野 晃・福田 毅・里 優
- VI-025 段丘堆積物における県道交差点での山岳トンネルの施工/鴻池組名古屋支店土木部 [正] 山下 和也・永田 常雄・佐々木 浩通
- VI-026 軟弱地質の小土被りトンネルにおける巨礫出現時の施工について/熊谷組 [正] 星 太一・大竹 輝
- VI-027 山岳トンネル掘削における小土被り区間の沈下対策工について/株式会社 熊谷組 [正] 新宮 信也・高橋 正行・大庭 志朗・坂上 哲嗣・江島 武

平成30年8月31日(金) VI-1会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部N207)

■9:00～10:20 山岳トンネル(5)

- VI-028 大幅な工程短縮を可能にしたパイロットトンネルによる超大断面トンネルの施工/清水建設株式会社 [正] 高波 太郎・星野 実・菅 浩亮・安藤 拓
- VI-029 自然由来の重金属含有土の封じ込め処分について~大幅な工程短縮を図ったパイロットトンネルを有効活用~/中日本高速道路株式会社 南アルプス工事事務所 [正] 菅 浩亮・星野 実・高波 太郎・安藤 拓
- VI-030 超大断面トンネルにおける側壁導坑の形状見直しによる変状防止について/安藤ハザマ [正] 黒竹 光輝・菊山 直将・奥西 健二・松元 正俊

VI-031 Numerical evaluation of the effects of ground reinforcement method in double-deck tunnel junction/R&D Institute LOTTE E&C [正] LEE SEOKJIN・LEE SEOKJIN・KIM BONGCHAN・PARK SKHAN・YUN DOSIK

- VI-032 既設トンネルの断面を拡大する掘削に関する解析的検討/国立研究開発法人 土木研究所 [正] 小出 孝明・砂金 伸治・日下 敦・吉岡 知哉
- VI-033 未固結高水位地山におけるトンネル掘削実績/飛鳥建設 [正] 篠原 大介・樋川 敦・畠田 篤志・瀬尾 昭治・山邊 恵太
- VI-034 砂層および湧水区間における切羽安定対策/三井住友・小田開発・野村特定建設工事共同企業体所長 [正] 平野 啓一・田中 修・疋田 拓郎・武井 和音・鷹 篤 智司

■10:40～12:00 山岳トンネル(6)

- VI-035 低強度泥岩地山の掘削/西松建設株式会社土木設計部 [正] 鈴木 健・松崎 史明・後藤 裕太郎・永田 謙一郎
- VI-036 大土被り・低強度地山の早期閉合トンネルの挙動特性/清水建設 [正] 浅野 彰夫・金崎 孝行・高木 克典
- VI-037 低強度地山のII期線トンネル掘削挙動特性/西日本高速道路関西支社和歌山工事事務所 [正] 山中 慎也・信永 博文・木村 厚之
- VI-038 低強度地山のII期線非常駐車帯トンネルの力学挙動特性/清水建設関西支店川辺第一トンネル作業所 [正] 木村 厚之・信永 博文・山中 慎也
- VI-039 蛇紋岩帯における避難坑の変状および補修・補強/飛鳥建設(株) [正] 小泉 悠・大矢 剛・西川 幸一・福田 博之・川野 広道
- VI-040 坑内変位計測に基づく支保軸力の推定と支保パターンの妥当性検証/飛鳥建設(株) [正] 井上 勇太・大矢 剛・西川 幸一・川野 広道・北村 義宣
- VI-041 二重支保工および早期閉合の適用による脆弱な粘板岩地山内でのトンネル貫通事例/飛鳥建設株式会社 [正] 北村 義宣・大矢 剛・西川 幸一・川野 広道・井上 勇太

■13:00～14:20 山岳トンネル(7)

- VI-042 鋼製支保工建込ロボットの開発/前田建設工業株式会社 [正] 水谷 和彦・能代 泰範・宮原 宏史・藤城 義信・戴 昊
- VI-043 ハイブリッド型自穿孔ロックボルトの開発/戸田建設 [F] 高橋 浩・村松 富士登・石川 巧・浅井 勉
- VI-044 大容量高性能吹付けコンクリートシステムの現場適用について/安藤ハザマ [正] 天童 涼太・森田 亨・横内 静二・多宝 徹
- VI-045 トンネル坑内における連続的な位置情報取得の試み/佐藤工業 [正] 瀬谷 正巳
- VI-046 遅延剤によりスランプ保持時間を調整した吹付けコンクリートの施工実験/大成建設株式会社 [正] 新津 祐樹・橋本 貴之・松元 淳一・田端 大人
- VI-047 山岳トンネル工事におけるエネルギーマネジメントシステムの開発/ [正] 桑原 陽平・山本 梧
- VI-048 タブレットを用いたトンネル施工管理の生産性向上/ [正] 板垣 賢

■14:40～16:00 山岳トンネル(8)

- VI-049 トンネルインバート用液柱変位計の開発/大成建設 [正] 谷 卓也・金子 哲也・野口 美咲・藤井 安和
- VI-050 高速イメージングレーダーによる切羽変位の面的計測に関する検討/清水建設 [正] 多田 浩幸・岩城 英朗・青野 泰久・能美 仁・白井 郁夫
- VI-051 光波を用いた非接触計測に基づく切羽変位の面的計測に関する検討/清水建設 [正] 岩城 英朗・鶴山 尚大・多田 浩幸
- VI-052 車載式トンネル3Dスキャニングシステムの開発/西松建設 [正] 山本 梧・三井 善孝
- VI-053 レーザースキャナーを用いたトンネル出来形管理による生産性向上の効果/佐藤工業 [正] 須佐見 朱加・京免 継彦・石井 誠・辻本 剛士
- VI-054 トンネル工事関係者全員がリアルタイムに切羽状況を把握可能な技術の開発/(株) 竹中土木 [正] 佐藤 裕考・市川 晃央・林 稔・藤原 伸輝・芥川 真一
- VI-055 三次元切羽形態計測における写真測定の適用性に関する検討/清水建設 [正] 末田 将大・邊見 涼・淡路 勲太

平成30年8月29日(水) VI-2会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部N301)

■10:40～12:00 山岳トンネル(9)

- VI-056 反射法弾性波探査による切羽前方の連続調査事例と精度検証/安藤ハザマ [正] 山本 浩之・中谷 匡志・上林 凡人・若宮 西・長岡 真一
- VI-057 非火薬爆薬を用いた坑内反射法弾性波探査の適用性に関する検討/清水建設 [正] アズマ アドサム・アドサム アズマ・小島 英輝・淡路 勲太
- VI-058 TDEM法による第三紀層膨潤性地山の探査/戸田建設株式会社 [正] 原 敏昭・磯 真一郎・斎藤 章
- VI-059 強酸性土壌下のトンネル計画と施工/東日本高速道路(株) [正] 保坂 浩寿・宮沢 和雄・高松 雅宏
- VI-060 トンネルコンテナ工法における多機能型ベッセル運搬機の開発/飛鳥建設 [正] 熊谷 幸樹・筒井 隆規・河西 哲夫・徳政 栄直
- VI-061 山岳トンネルにおけるズリ運搬方式の一事例/大林組 [正] 高橋 佳孝・佐々木 博一・山田 遼・成田 正憲・佐藤 聖司
- VI-062 トンネル路盤下ロックボルト工による路面隆起抑制効果/西日本高速道路 [正] 駒谷 大三・赤木 涉・横尾 和彦

平成30年度土木学会全国大会 第73回年次学術講演会プログラム

第6部門

■15:20～16:40 山岳トンネル(10)

- VI-063 コンピュータジャンボによるAGF穿孔データを利用した破壊エネルギー係数の評価について/鹿島建設株式会社 [正] 宮嶋 保幸・小泉 悠・栗山 和之・中山 友輝・川野 広道
- VI-064 複数の削孔検層データを活用した湧水区間対策/西松建設 [正] 小林 優太・西田 幸弘・山本 悟
- VI-065 トンネル坑口部におけるノンコア切羽前方探査の適用と支保選定/株式会社大林組 [正] 平本 竜也・宮沢 一雄・中徳 基哉・渡辺 淳・奥澤 康一
- VI-066 長尺先受け工の削孔エネルギーによる周辺地山の予測/安藤ハザマ [正] 五味 春香・河野 友紀・富井 啓輔・田中 敦也
- VI-067 コンピュータジャンボの削孔データと側壁展開写真による3次元地質構造評価/大成建設株式会社 [正] 宮本 真吾・福原 俊一・古賀 快尚・山上 順民・谷 卓也
- VI-068 機械学習を利用した山岳トンネルの切羽前方予測に関する試み/(株)大林組 [正] 岡崎 雄一・木梨 秀雄・萩野 サトル
- VI-069 小土被りの脆弱地山における切羽前方探査に基づく補助工法の施工に関する一考察/鴻池組 寺山トンネル工事 [正] 山田 浩幸・山本 浩志・北野 敏太・藤田 浩史

平成30年8月30日(木) VI-2会場 (北海道大札幌キャンパス 工学部N301)

■9:00～10:20 山岳トンネル(11)

- VI-070 トンネル先進ボーリングの有効性に関する考察/土木研究所寒地土木研究所 [正] 伊東 佳彦・岡崎 健治・山崎 秀策・倉橋 稔幸
- VI-071 消費電力量にもとづく簡易削孔検層の検証/福田組 [正] 椎谷 成孝・浅妻 貴夫・荒川 裕太・若月 和人
- VI-072 ロータリーパーカッションによる逆循環式水平コアボーリングシステムの開発/鉄建建設 [正] 舟橋 孝仁・宇田 誠・今村 大介・植村 義幸・大熊 敏信
- VI-073 超長尺ボーリングを用いた湧水圧測定を模擬した室内試験について/カジマケンセン [正] 清水 清一郎・岡田 侑子・升元 一彦
- VI-074 高湧水圧下における中尺ボーリングを用いた湧水圧モニタリング技術の適用事例/鹿島建設 [正] 岡田 侑子・升元 一彦・野中 隼人・川端 淳一・田中 久人
- VI-075 中・短尺ボーリング併用による前方地山予測と断層破砕帯の施工/熊谷組 [正] 滝田 真哉・高原 英彰・鎌田 和孝・吉森 祐介
- VI-076 中尺水抜きボーリング・短尺水抜きボーリングによる湧水対策/東急建設株式会社 [正] 満尾 淳・誓山 実・和田 脩平・富永 浩

■10:40～12:00 山岳トンネル(12)

- VI-077 山岳トンネルにおける『移動式発破防護バレーン』の適用/西松建設 [正] 三井 善孝・山本 悟・塚田 純一・小林 雅彦
- VI-078 トンネル外周装薬孔にノッチを形成し発破する方法の余掘り低減効果/奥村組 [正] 浜田 元・塚本 耕治・浅野 剛・三浦 良平
- VI-079 コンピュータジャンボと電子雷管を用いた情報化施工による最適制御発破/鹿島建設 [正] 岩野 圭太・土岐 浩之・佐々木 栄治・橋本 基・菊池 亮
- VI-080 コンピュータドリルジャンボを用いた余掘り量低減による省力化について/[正] 河田 祐太郎・野田 正利・加藤 健治・岡 隆宏
- VI-081 小断面トンネルにおける特殊増粘吹付けを用いた粉じん低減事例/鹿島建設株式会社 [正] 河本 貴史・小林 幸司・久保 英之・井上 哲・羽根井 善久
- VI-082 近接するI期線トンネルへの影響を考慮した制御発破/西松建設 [正] 曾根 陽生
- VI-083 トンネル爆破掘削時の共鳴器型消音器を用いた低周波音の低減(効果検証)/鉄建建設 [正] 植村 義幸・浦川 信行・宇田 誠・中澤 真司・田辺 洋一

平成30年8月31日(金) VI-2会場 (北海道大札幌キャンパス 工学部N301)

■9:00～10:20 山岳トンネル(13)

- VI-084 分岐配管を用いた圧入による覆工コンクリートの急速施工に関する実験施工/奥村組 [正] 齋藤 隆弘・張 志セン・浜田 元・池島 智昭
- VI-085 覆工コンクリートの天端部における打重ね箇所のひび割れ性状に関する要素実験/奥村組 [正] 小野 緑・齋藤 隆弘・岩波 光保・張 志セン
- VI-086 覆工コンクリート天端用超薄型シート状センサの実用化/戸田建設 本社土木技術営業部 [正] 二宮 伸二・中林 雅昭・山田 勉・海野 雄士・桑田 拓弥
- VI-087 中流動コンクリートの施工条件が側圧に及ぼす影響/東急建設 [正] 原沢 蓉子・中徳 基哉・小田 優介・早川 健司・村田 和哉
- VI-088 自動締固めと密閉湿潤養生の中流動覆工コンクリート特性/清水建設関西支店川辺第一トンネル作業所 [正] 山本 将・信水 博文・木村 厚之
- VI-089 覆工コンクリートに発生するノロの組成推定および再現に関する研究/奥村組 [正] 廣中 哲也・齋藤 隆弘・小野 緑・張 志セン・岩波 光保
- VI-090 覆工コンクリートの若材齢時強度推定方法に関する検証/佐藤工業株式会社 [正] 渡辺 晋吾・飯塚 建・乾川 尚隆・宇野 洋志城

■10:40～12:00 山岳トンネル(14)

- VI-091 山岳トンネルの覆工コンクリートに関する養生システムの導入・開発/株式会社フジ東北支店 [正] 三上 浩・横濱 敏則・三河内 永康
- VI-092 型枠存置時間の延長による膨張材を混和した覆工コンクリートのひび割れ抑制効果/鹿島建設株式会社 [正] 松本 修治・佐藤 崇洋・手塚 康成・青柳 隆浩
- VI-093 寒冷地における加温装置を用いた覆工コンクリートの品質向上/[正] 久保田 薫・下 満・小枝 保彦

- VI-094 覆工型枠の長期残置に伴う覆工コンクリートの力学的挙動に関する考察/国立研究開発法人土木研究所 [正] 吉岡 知哉・砂金 伸治・森本 智・日下 敦
- VI-095 インパルト施工区間の覆工コンクリートへの部分バイブレーション適用効果/安藤ハザマ [正] 中村 康祐・杉浦 規之・佐々木 照夫・白岩 誠史・河上 伸一
- VI-096 部分バイブレーションのひび割れ抑制メカニズムと効果の検証/安藤ハザマ [正] 稲田 匠吾・赤池 考起・白岩 誠史・田口 敬二・松井 匡宏
- VI-097 部分バイブレーションとひび割れ補強鉄筋のひび割れ抑制効果の比較/安藤ハザマ [正] 西 正己・赤池 考起・稲田 匠吾・古原 正人・松井 匡宏

■13:00～14:20 山岳トンネル(15)

- VI-098 低セメント量の高流動コンクリートのトンネル覆工への適用/大林組 [正] 泉水 大輔・手間本 康一・桜井 邦昭・中嶋 祐里
- VI-099 低セメント量の高流動コンクリートのトンネル覆工への適用性検討その2室内試験による配合選定と品質の確認/(株)大林組 [正] 西浦 秀明・黒川 尚義・岡崎 雄一・桜井 邦昭
- VI-100 低セメント量の高流動コンクリートのトンネル覆工への適用性検討その2柱部材を用いた側圧実験と流動距離10.5mの打ち込み実験/株式会社大林組 [正] 黒川 尚義・西浦 秀明・岡崎 雄一・桜井 邦昭
- VI-101 超大断面トンネル覆工における高流動コンクリートの施工事例/[正] 岡本 寿春・加藤 隆雄・黒川 尚義
- VI-102 北海道新幹線における高充填コンクリートの試験施工/鉄道・運輸機構 [正] 有川 遼・金澤 直矢・桑田 充
- VI-103 増粘剤を添加した中流動覆工コンクリートの表面気泡の可視化実験/山口大学大学院 [学] 榎田 真大・小野 滋久・前田 智之・吉武 勇
- VI-104 増粘剤を含む流動化剤を用いた中流動コンクリートに関する研究/株式会社高速道路総合技術研究所 [正] 前田 佳克・伊藤 哲男・海瀬 忍

■14:40～16:00 山岳トンネル(16)

- VI-105 覆工コンクリート側壁部のインパルトによる拘束度に関する確認実験/株式会社高速道路総合技術研究所 [正] 村田 雄輝・西脇 敬一
- VI-106 覆工コンクリートにおける施工継ぎ目不具合防止/前田建設工業株式会社 [正] 郡山 卓也・原 秀利・森田 篤・亀田 剛志
- VI-107 四国地方におけるトンネル覆工コンクリート表層品質評価の試み/佐藤工業 [正] 森浜 哲志・喜多 則勝・宇野 洋志城・林 和彦
- VI-108 タブレット端末を用いたトンネル覆工コンクリート施工状況把握チェックシートおよび表層目視評価システム/長岡工業高等専門学校専攻科 [学] 茨木 泰介・井林 康・森浜 哲志・井林 康
- VI-109 山岳トンネル防水工における広幅防水シート利用に関する一事例/株式会社大林組技術研究所 [正] 板場 建太・宮沢 一雄・渡辺 淳
- VI-110 NATM導入初期段階の覆工コンクリート不具合事例/中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株) [正] 佐藤 淳・倉戸 伸浩・下地 利幸・鎌田 一男
- VI-111 青函トンネル北海道側先進導坑の変状と補修/公益財団法人鉄道総合技術研究所 [正] 野城 一栄・柿沼 元・岡田 竜夫・嶋本 敬介

平成30年8月29日(水) VI-3会場 (北海道大札幌キャンパス 工学部N302)

■10:40～12:00 シールドトンネル(1)

- VI-112 小断面・長距離・岩盤土砂複合地盤における泥土圧シールド機のビット交換計画および施工/西松建設 [正] 木目田 浩亮
- VI-113 高耐久性カッタービットの開発(その4)応答加速度の違いに着目したカッタービットの切削性能に関する一考察/株式会社奥村組 [正] 木下 茂樹・川嶋 英介・伊東 俊彦・今泉 和俊
- VI-114 シールド機の効率的な移動・回転システムの適用例/西松建設 [正] 吉田 吉孝・國井 剛・村川 徳尚・星 光二郎
- VI-115 土砂圧送性を考慮した加泥材の検討/大林組 [正] 木村 志照・三浦 俊彦・田中 善広・服部 鏡啓・広渡 孝
- VI-116 長距離・小断面・岩盤シールドの施工実績/前田建設工業 [正] 武田 圭介・引田 隆年
- VI-117 200t門型クレーンを使用した国内最大級φ16.1mシールド機の組立/[正] 西村 直樹・大友 信悦・前田 俊宏・山岸 睦功・塚田 裕史
- VI-118 大断面泥土圧シールド工事における可燃性ガス対応/西松建設 [正] 長沢 勇樹

■15:20～16:40 シールドトンネル(2)

- VI-119 大断面シールド後行掘進時における流動化処理土の製造から長距離打設までの実績/鹿島建設株式会社 [正] 小森 万理子
- VI-120 大断面シールドマシン到達から解体までの合理化施工実績/鹿島建設株式会社 [正] 田口 未由希・紀伊 吉隆・松川 直史
- VI-121 大断面シールド後行掘進時における鉄道営業線横断実績/鹿島建設株式会社 [正] 紀伊 吉隆・松川 直史
- VI-122 SLP(Spring Lock Pin)継手の開発-単体引張試験-/鹿島建設 [正] 近藤 資・松川 直史・小坂 琢郎・紀伊 吉隆・新井 崇裕
- VI-123 シールドトンネルにおける帯電ミストの走行散布実績/鹿島建設(株) [正] 高木 賢二・末吉 隆信・紀伊 吉隆・松川 直史
- VI-124 小口径シールド掘進における真円度測定機の適用および実績/計測技研 [正] 藤原 伸輝・柴田 光義・西村 宗和・大友 充・紀伊 吉隆
- VI-125 アイトラッキングによるシールドマシン操作者の認知プロセスの推定/鹿島建設 [正] 白井 健泰・大久保 泰・藤本 奈央・森田 順也・松井 雅紀

平成30年度土木学会全国大会 第73回年次学術講演会プログラム

第6部門

平成30年8月30日(木) VI-3会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部N302)

■9:00~10:20 シールドトンネル(3)

- VI-126 排泥管の磨耗管理システムの開発/大成建設株式会社 [正] 竹中 計行・高倉 克彦
- VI-127 トライアル計測を反映した幹線道路直下でのシールド掘進管理/前田建設工業 [正] 川口 達也・古川 哲也・柳生 聡・林 太将
- VI-128 小型地中音波位置計測システムの開発/大成建設 [正] 木下 勇人・宮崎 裕道・森田 大輔
- VI-129 R G B赤外線センサーを用いたシールドテールクリアランス測定装置の開発/株式会社大林組 [正] 西森 昭博・藤岡 大輔・上田 潤
- VI-130 シールド測量支援システムの開発/株式会社大林組 [正] 菅野 静・西森 昭博・上田 潤・白坂 紀彦
- VI-131 H & Vシールド工法における後胴部揺動式接合装置の構造と施工時の計測管理/清水建設株式会社 [正] 吉岡 伸吾・所畑 豪・太田 博啓・田中 大輔
- VI-132 薬液注入圧に対するシールドトンネル開口部の計測施工/西松建設株式会社 土木設計部 [正] 齋藤 勇樹・村上 初央・久米 満里

■10:40~12:00 シールドトンネル(4)

- VI-133 銀座最大の商業施設に接続する地下連絡通路のシールド工法による施工実績/鹿島建設株式会社 [正] 諸橋 敏夫・品田 康二・廣井 利行・村上 裕司・眞柄 拓己
- VI-134 周辺地盤および地下水への影響を考慮したシールド施工の実績/前田建設工業 [正] 鈴木 哲太郎・四方 康人・森 芳樹・浅井 秀明
- VI-135 小土被りかつ透水係数の高い礫質土のシールド掘進/前田建設工業株式会社 [正] 大原 真由美・浅井 秀明・山中 拓也・中田 凌輔
- VI-136 大断面道路トンネルの低土被り区間に適用した継手強化型コンクリート一体型鋼製セグメント(H Bセグメント)の構造概要/大成建設株式会社 [正] 織田 隆志・近藤 基博・下窪 健二・福田 隆正
- VI-137 補助チャンパーによる切羽泥水圧の安定化に関する検討/奥村組 [正] 吉川 直利・杉本 光隆・木下 茂樹・津島 正太・星 智久
- VI-138 海底下横断シールドにおける玉石層出現に対する対策と施工結果/西松建設株式会社 [正] 橋本 守
- VI-139 那覇空港滑走路直下において、軟弱シルト層を回避し、岩盤層を推進/鴻池組 [正] 阪部 久敏・島橋 寛・樋口 昌典・桶川 宏司
- VI-140 馬場出入口工事における供用中本線トンネルとの近接施工/清水建設 [正] 成田 一晃・菊地 勇気・小島 太朗・鹿島 竜之介・岩居 博文

平成30年8月31日(金) VI-3会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部N302)

■9:00~10:20 シールドトンネル(5)

- VI-141 シールド機動力学モデルを用いたH & Vシールドスパイラル掘進解析/清水建設(株) [正] 武本 怜真・太田 博啓・杉本 光隆
- VI-142 A Iによるシールド掘進計画支援システムの開発/清水建設 [正] 小野塚 直純・中谷 武彦・伊原 滉也・土橋 俊紀・大木 智明
- VI-143 A Iによるシールドマシンの自動方向制御/清水建設 [正] 和田 健介・杉山 博一・野澤 剛二郎・本多 真・中谷 武彦
- VI-144 シールドマシンの操作支援用A Iシステムの開発/清水建設 [正] 杉山 博一・野澤 剛二郎・和田 健介・穂利 利之
- VI-145 シールド方向制御学習システムの改善とその結果/株式会社大林組 [正] 三井 仁哉・服部 鋭啓・田中 善広・羽島 哲夫・星野 智紀
- VI-146 シールド機動力学モデルによるシールド挙動シミュレーション/長岡技術科学大学大学院 [学] 岩淵 崇宏・相馬 裕希・杉本 光隆・武本 怜真・安井 克豊

■10:40~12:00 シールドトンネル(6)

- VI-147 シールドトンネル内部におけるプレキャスト部材の適用に関する設計施工事例/清水建設 [正] 三浦 将規・小島 太朗・菊地 勇気・塩出 健二・波多野 正邦
- VI-148 シールド推進坑口の本体兼用に関する計画と設計および施工/ [正] 山本 達也・村上 初央・橋本 守
- VI-149 寒冷地におけるシールド工用セグメントの製造および貯蔵に関する考察(その1)/日本ヒューム [正] 山中 典幸・小泉 淳・清水 幸範・大関 宗孝・煙山 史
- VI-150 寒冷地におけるシールド工用セグメントの製造および貯蔵に関する考察(その2)/パンフィックコンサルタンツ [正] 清水 幸範・小泉 淳・天野 裕基・大関 宗孝・山中 典幸
- VI-151 シールド二次覆工コンクリートの長距離圧送について/西松建設 [正] 久米 満里・梅木 清文・高永 光太郎
- VI-152 ニューマチックケーソン工法を用いた大深度立坑のコンクリート品質に関する研究/熊谷組 [正] 中出 剛・岩波 基

■13:00~14:20 シールドトンネル(7)

- VI-153 3次元モデルによるシールド掘削影響解析(その2)/鹿島建設株式会社 [正] 小坂 琢郎・大谷 芳輝・玉田 康一・梶川 初太郎・山本 秀雄
- VI-154 3Dモデルシミュレーションによる三次元シールド線形管理システムの開発/大林組 [正] 上田 潤・山下 健司・日野 義嗣・真鍋 晃一
- VI-155 連続体モデルによるS E N S周辺地盤挙動の解析/長岡技術科学大学大学院 [学] 岡野 良・畑下 創紀・杉本 光隆・田中 淳寛
- VI-156 シールド機の掘削抵抗を利用した岩盤評価システムの適用性/大成建設株式会社 [正] 橋積 教彦・安藤 秀幸・國居 史武

VI-157 音響トモグラフィ探索を用いた巨塊調査の一事例/独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 [正] 中島 祥子・麻生 博文・有井 健介・岩永 直

VI-158 シールド切羽可視化システムの構築と実現場への適用(その4:層境を掘削するビットの応答加速度に関する実験的研究)/奥村組 [正] 伊東 俊彦・松田 顕伍・今泉 和俊・木下 茂樹

VI-159 シールドトンネル開口部多リング解析モデル手法に関する検証/ [正] 仲井 春日・千国 洋道・濱島 圭佑・松下 真哉・川島 広志

■14:40~16:00 シールドトンネル(8)

- VI-160 推進機に装備された特殊ビットによる地中支障物の直接切削/熊谷組 [正] 横田 仁志・真船 常雄・高原 幸一郎
- VI-161 礫地盤中の長距離掘進と地中接合を含む水道管シールドの施工事例/東急建設株式会社 [正] 田中 悠一・寺田 郁功・本田 浩祐・小林 貞夫・高松 伸行
- VI-162 高速道路ランプにおける非開削工法の施工実績/阪神高速道路(株)建設・更新事業本部堺建設部大和川線建設事務所 [正] 松川 直史・河野 康史・大嶋 昇・吉田 潔・渡辺 幹広
- VI-163 高速道路ランプ部の矩形シールドトンネルに適用する終端覆工セグメントの設計と施工/鹿島建設 [正] 馬目 広幸・戸川 敬・加藤 淳司・真鍋 智・松川 直史
- VI-164 高速道路ランプ部の矩形シールドトンネルに適用する開口部セグメントの設計と施工/鹿島建設 [正] 牛垣 勝・松川 直史・戸川 敬・加藤 淳司・馬目 広幸
- VI-165 高度地盤改良内における土圧シールド長距離掘進(その1 問題点とその対策)/西松建設 [正] 村川 徳尚・國井 剛・星光 二郎・亀山 克裕・草野 孝三
- VI-166 高度地盤改良内における土圧シールド長距離掘進(その2)/西松建設 [正] 亀山 克裕・村川 徳尚・草野 孝三

平成30年8月29日(水) VI-4会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部N303)

■10:40~12:00 シールドトンネル(9)

- VI-167 全地盤対応型起泡剤T A S - f o a mの施工状況/大成建設 [正] 西田 与志雄・常田 和哉
- VI-168 鉄筋量を削減した鋼繊維補強コンクリートセグメントの性能確認(その1)ーコンクリート要素試験ー/安藤・間 [正] 井上 隆広・篠口 冴子・金城 佑紀・榎原 彩野
- VI-169 鉄筋量を削減した鋼繊維補強コンクリートセグメントの性能確認(その2)ー実大セグメント載荷試験ー/ [正] 篠口 冴子・金城 佑紀・榎原 彩野・井上 隆広
- VI-170 締結力を有するセグメント継手の開発(締結力の効果について)/フジタ [正] 磯崎 智史・岸下 崇裕・三岡 善平・佐久間 翔平・小泉 淳
- VI-171 真円度修正継手の開発/(株) 熊谷組 [正] 前辻 智・藤井 文雄・河越 勝・増澤 伸司
- VI-172 気泡シールド工事から発生する気泡混合土の再発泡抑制検討/ライオン・スペシャリティ・ケミカルズ [正] 大島 典子・三浦 俊彦・木村 志照・野田 泰史
- VI-173 砂礫地盤におけるカッタービットの摩耗量評価試験について/大林組 [正] 星野 智紀・服部 鋭啓・羽島 哲夫・島田 英樹・浦田 築

■15:20~16:40 シールドトンネル(10)

- VI-174 アラミド繊維を混入したF F U切削セグメントの性能確認試験ーその3/西松建設株式会社 [正] 大江 郁夫・久住 慎也・林 健一郎・坪井 広美
- VI-175 水膨張性セグメントシールド材の長期接面応力の予測について/大林組 [正] 服部 鋭啓・三井 仁哉・田中 善広・金 淨昊・中井 貴暁
- VI-176 シールド工法における掘進管理停止時裏込め圧保持システムの開発 その1ーシステムの概要ー/日本シビックコンサルタンツ [正] 近藤 紀夫・加島 豊・小林 修・平原 直樹
- VI-177 シールド工法における掘進停止時裏込め圧保持システムの開発 その2 ー実証実験結果報告ー/戸田建設 [正] 中山 卓人・近藤 紀夫・小泉 卓也・吉田 修康
- VI-178 消費電力を低減する二重カッター方式を採用したシールド機の模擬実験結果(その3)/株式会社大林組 [正] 真鍋 晃一・日野 義嗣・上田 潤・山下 健司
- VI-179 しらす地盤における胴締め発生メカニズム/鹿島建設 [正] 永谷 英基・中島 悠介・岡本 道孝・北村 良介・王寺 秀介
- VI-180 余掘りによるシールドマシンの胴締め圧力低減効果/鹿島建設 [正] 中島 悠介・永谷 英基・北村 良介・王寺 秀介・荒井 靖仁

平成30年8月30日(木) VI-4会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部N303)

■9:00~10:20 安全・工程管理(1)

- VI-181 掘削用機械による死亡災害の分析/労働安全衛生総合研究所 [正] 堀 智仁・玉手 聡
- VI-182 衝撃緩衝装置を用いたクレーン巻上げ時の吊荷挙動に関する現地試験/東洋建設(株) [正] 豊澤 菜々彩・松村 章子・中川 哲也・竹内 克昌・澁谷
- VI-183 急崖法面保護工における施工と安全管理の創意工夫/鹿島建設 [正] 山下 貴正・上山 隆・志賀 弘史・井上 拓也
- VI-184 構造物に併設された足場の風力に及ぼす幅木の高さの影響その4 構造物の風下側に足場を設置した場合の検討/労働安全衛生総合研究所 [正] 高橋 弘樹・大嶋 勝利・大垣 賀津雄
- VI-185 土砂崩壊による労働災害と掘削深さに関する一考察/労働安全衛生総合研究所 [正] 玉手 聡・堀 智仁
- VI-186 営業線直下における脈状地盤改良工法の適用および安全・品質管理について/東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社 [正] 薄田 秀平・蓮見 亮・安藤 聡・大西 高明・山本 幸彦
- VI-187 建設機械の滑り転倒危険に係る自己完結型o f f - l i n e警告システム/ [正] 西垣 重臣・才原 勝敏

■10:40~12:00 安全・工程管理(2)

平成30年度土木学会全国大会 第73回年次学術講演会プログラム

第6部門

- VI-188 生気象学の考え方をを用いた気象と労働災害の関連性の分析／安藤ハザマ 技術研究所 先端・環境研究部 [正] 早川 健太郎・黒台 昌弘・秋田 宏行・櫻本 美香・齋藤 雄一
- VI-189 内方線付き嵩上げ型先端タイヤの一体型選定と施工／[正] 岡本 亮仁・大矢 新吾
- VI-190 橋脚施工時の型わくに関する一考察(新東名高速道路建設工事に於いて)／中日本高速道路株式会社 [正] 西岡 幹雄・北口 修
- VI-191 C C b工法による取水構造物耐震補強工事の施工合理化実績／鹿島建設 [正] 中村 翔・安達 洋平・鈴木 建爾・小西 将仁
- VI-192 P C L N Gタンク工事におけるP C工事の工期短縮事例／大林組 [正] 原 拓也・藤木 豊・谷口 達彦・江藤 成彦
- VI-193 放水設備工事における品質確保策と安全管理の実績ー石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事(第3工区)工事報告(その19)ー／鹿島建設株式会社 [正] 阿部 聡・遠藤 勉・齋藤 寿秋・向井 昭弘・高柳 哲
- VI-194 放水設備工事工程確保に向けた取り組みー石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事(第3工区)工事報告(その20)ー／北海道電力株式会社 [正] 齋藤 寿秋・遠藤 勉・向井 昭弘・阿部 聡

平成30年8月31日(金) VI-4会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部N303)

■9:00~10:20 品質管理(1)

- VI-195 大規模コンクリート打設における品質確保の検討と対策／[正] 菱田 大樹・長井 伸樹・本田 正明
- VI-196 流動化剤を添加した繊維補強コンクリートの長距離圧送に関する施工管理方法の検討／大成建設株式会社 [正] 古川 成光・三坂 浩昭・橋本 貴之・粟 俊・坂本 淳
- VI-197 各種コンクリート配合に対する表層品質試験評価に関する一考察／戸田建設 [正] 澤村 淳美・土師 康一・田中 徹・大橋 英紀・新谷 岳
- VI-198 混合セメントを使用したP C構造物の施工・品質管理に関する技術検討／東海旅客鉄道 [正] 鬼頭 直希・佐々木 敦司・土屋 正宏・鎌田 卓司
- VI-199 湿潤養生期間がコンクリート表層品質に及ぼす影響について／日本車輛製造 [正] 平野 泰博・神頭 峰巖・山田 尚之・呉 承章
- VI-200 初期養生温度がコンクリート表層品質に及ぼす影響について／日本車輛製造 [正] 山田 尚之・神頭 峰巖・平野 泰博・呉 承章
- VI-201 3 Dスキャナを用いた鉄筋検査について／名工建設株式会社 [正] 土井 淳・伊藤 文彦・西尾 洋介・榎本 貴之

■10:40~12:00 品質管理(2)

- VI-202 R C床版コンクリートの品質向上及び耐久性向上対策の評価／中央コーポレーション [正] 新銀 武・鈴木 拓也・小山田 哲也
- VI-203 整備新幹線工事におけるコンクリート構造物の品質確保の試行結果の一考察／[正] 石川 太郎・井上 翔・河合 ひろみ
- VI-204 光の屈折率に着目した物質相変化モニタリングに関する基礎的研究／神戸大学大学院市民工学専攻 芥川研究室 [学] 田中 良明・芥川 真一
- VI-205 I S O 9 0 0 1を活用した監督検査の効率化と品質向上に向けて／国土交通省 [正] 堺 友里・矢作 智之・常山 修治・石原 康弘
- VI-206 道路開削工事における地下構造物に対する雨水流入対策／東急建設株式会社 [正] 今村 慎太郎・佐々木 聡・三宅 博之
- VI-207 遮光ネットで養生したエポキシ樹脂塗装鉄筋の曝露試験について／オリエンタル白石株式会社 [正] 脇坂 英男・工藤 真一・森 勝・宮永 憲一・荻本 雄一郎
- VI-208 鋼製橋脚隅角部製作時における品質管理の取り組み／(一財)首都高速道路技術センター [正] 弓削 太郎・村野 益巳・豊田 貴士・森田 明男

平成30年8月29日(水) VI-5会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部N304)

■10:40~12:00 アセットマネジメント(1)

- VI-209 港湾施設の維持管理におけるA I Sデータの活用について／港湾空港総合技術センター [正] 兵頭 武志・伊藤 晃・山形 創一・江本 翔一・高橋 宏直
 - VI-210 橋梁の中長期的な維持管理計画におけるコスト平準化と緊急輸送道路ネットワークの接続性／金沢大学 [正] 小川 福嗣・近田 康夫
 - VI-211 複数回点検結果を用いた橋梁マネジメントシステムの検討／日本海コンサルタント [正] 中野 秀平・浦田 孔二・多田 徳夫・喜多 敏春・近田 康夫
 - VI-212 山形県道路橋梁メンテナンス統合データベースシステム(D B M Y)の活用について／山形県県土整備部道路保全課 [正] 後藤 美保・工藤 重信・瀧井 英夫・久田 真・鎌田 真
 - VI-213 維持管理記録を用いた道路橋メンテナンスの実態調査／横浜国立大学大学院 [学] 若林 ゆきこ・山田 均・勝地 弘・有吉 亮・小松 伶史
 - VI-214 床版防水工の経年劣化を考慮したワイプルハザードモデル／大阪大学大学院工学研究科 [学] 宇野 裕亮・貝戸 清之・小林 潔司・二宮 陽平
 - VI-215 地方自治体が管理する橋梁におけるロボット技術を取り入れた橋梁点検支援の試み／岐阜大学 [正] 木下 幸治・蓮池 里菜・羽田野 英明・矢島 賢治・六郷 恵哲
- ### ■15:20~16:40 アセットマネジメント(2)
- VI-216 利用頻度の低い山間部橋梁の重要度評価のための簡易交通量計測／東京大学 [学] 佐々木 勇軌・長井 宏平・藤原 康直・井林 康
 - VI-217 市街地密集橋梁の簡易交通量計測による利用状況把握／東京大学 生産技術研究所 [正] 長井 宏平・佐々木 勇軌・藤原 康直・井林 康
 - VI-218 点検記録の統計的解析による橋梁の劣化予測に向けた検討／日本電気 [正] 水田 辰也・鈴木 正範・三上 伸弘

- VI-219 舗装の劣化進行速度に着目したR C床版の点検実施システム／大阪大学 大学院工学研究科地球総合工学専攻社会基盤マネジメント学領域 [学] 徐 磊・二宮 陽平・貝戸 清之
- VI-220 構造的簡易評価による橋梁維持管理の効率化に関する一提案／八千代エンジニアリング [正] 伊藤 均・溝淵 利明
- VI-221 ディープラーニングによる橋梁(コンクリート部材)の劣化要因・健全度判定モデルの構築／金沢大学大学院・株式会社日本海コンサルタント [正] 町口 敬志・喜多 敏春・多田 徳夫・武井 宏将・近田 康夫
- VI-222 個別損傷に着目した高速道路橋R C床版の大規模更新の優先順位の提案／大阪大学大学院 [学] 二宮 陽平・小濱 健吾・貝戸 清之

平成30年8月30日(木) VI-5会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部N304)

■9:00~10:20 アセットマネジメント(3)

- VI-223 橋梁点検データに基づく劣化予測手法の比較考察／金沢大学 [学] 宮地 飛馬・近田 康夫・小川 福嗣
- VI-224 橋梁アセットマネジメントによる予防保全型維持管理への転換／鹿島建設 [正] 岩井 稔・城前 俊浩・遠藤 紀彰・平山 咲子・池田 真理子
- VI-225 武蔵野市道路総合管理計画における管理方法の有効性について／パシフィックコンサルタンツ株式会社 [正] 清原 徹也・射場 茂夫・篠田 南・戸谷 康二郎・長谷川 洋平
- VI-226 公共施設の整備・維持管理におけるブロックチェーン技術の活用に係る提案／(株)建設技術研究所 [正] 中島 裕之
- VI-227 I C Tを活用した維持管理業務の支援／オリエンタルコンサルタンツ [正] 馬越 正純・小林 和也・宮澤 啓
- VI-228 道路点検機材の信頼性検証と目標管理水準設定の実践／株式会社パスコ [正] 青木 一也・酒井 浩平・兼子 隆右
- VI-229 都心に架設された歩道橋の現状と維持管理における課題と解決方策／国土交通省東京国道事務所 [正] 松藤 洋照・西川 昌宏・藤坂 幸輔・末吉 史郎

■10:40~12:00 アセットマネジメント(4)

- VI-230 技術展示会のアンケートによる北陸地方のインフラマネジメントに関するニーズ／金沢工業大学 [正] 花岡 大伸・宮里 心一・伊藤 始・深田 幸史・鈴木 啓啓
- VI-231 施設の重要度に配慮した導水施設の対策優先順位の設定／日本工営株式会社 [正] 小谷 拓・田中 義隆・沢田 陽佑・權納 拓央
- VI-232 地下鉄トンネルにおける維持管理の効率化への取り組み／東京地下鉄株式会社 [正] 宮本 光基・今泉 直也・榎谷 祐輝・笹原 道治・小川 大貴
- VI-233 導水施設に設置される可とう管の健全度評価方法の提案／日本工営株式会社 [正] 權納 拓央・小谷 拓・田中 義隆・沢田 陽佑
- VI-234 トンネル点検の効率化を目的とした覆工マーカーの提案／施工技術総合研究所 [正] 寺戸 秀和・安井 成豊・林 利行・吉田 好孝
- VI-235 結露による鉄筋の腐食挙動に及ぼす温度の影響／N T Tアクセスサービスシステム研究所 [正] 笠原 久真
- VI-236 土木機械設備の機能回復能力の定量的評価について／国立研究開発法人土木研究所 [正] 上野 仁士・梶田 洋規・中島 淳一

平成30年8月31日(金) VI-5会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部N304)

■9:00~10:20 リニューアル(1)

- VI-237 鋼板接着工法で補強された床版の樹脂注入併用型下面増厚工法による再補強工事報告／一般社団法人 日本建設保全協会 [正] 宗 栄一・伊藤 弘太・福岡 正秀・宮林 英一
- VI-238 既往データの分析による橋梁修繕計画に際しての一考察／株式会社エイト日本技術開発 [正] 小野 和行・中村 圭秀・廣瀬 彰則
- VI-239 フェルセーフ機能を有する断面分割施工による床版取替工法の解析による検討／[正] サイトウ コウジ・片田 聡・浦野 悟・長谷 俊彦
- VI-240 ベトログラム被覆工法の防食効果持続性評価手法の構築／ナカボーテック [正] 星野 雅彦・山路 徹・加藤 絵万
- VI-241 東海道新幹線鉄けた本体の部分取替による支分部変状修繕工事事例／東海旅客鉄道 [正] 橋爪 真哉・高橋 真
- VI-242 鉄道営業線直上における鋼橋の床版取替に関する施工報告／東急建設株式会社 [正] 相木 日出男・熊谷 憲明・味田 二郎・長野 竜馬
- VI-243 プレキャスト化によるコンクリートアーチ橋改修工事の急速施工／株式会社大林組 [正] 三田村 健二・下村 公一朗・加藤 敏明

■10:40~12:00 リニューアル(2)

- VI-244 首都高速羽田線更新工事の全体施工計画／首都高速道路 [正] 小島 直之・山本 多成・濱崎 景太・江野本 学・石川 大
- VI-245 首都高速羽田線更新工事 更新線の構造概要／首都高速道路株式会社 [正] 堀田 尚史・副島 直史・磯部 龍太郎・岩城 孝之・石川 誠
- VI-246 首都高速羽田線更新工事 鮎洲埋立部の函体による嵩上げ構造の概要／三井住友建設 [正] 富山 茂樹・副島 直史・堀田 尚史・谷口 博胤
- VI-247 首都高速羽田線更新工事における鮎洲埋立部の施工計画／清水建設 [正] 崎山 郁夫・小島 直之・石川 大・小島 茂・森田 勇輝
- VI-248 塩害環境下におけるR C橋脚の乾式吹付耐震補強工法の設計・施工／オリエンタルコンサルタンツ [正] 広瀬 知晃・下枝 博之・齋藤 慎矢・鈴木 憲一
- VI-249 内面処理無N A Pアンカー工法の定着性能に関する実験的研究(その1)／N A P I工法技術研究会 [正] 大谷 悟司・石井 智大・渡瀬 博・鹿子生 悟

平成30年度土木学会全国大会 第73回年次学術講演会プログラム

第6部門

VI-250 内面処理無NAP Pアンカー工法の定着性能に関する実験的研究(その2) / オリエンタル白石 [正] 石井 智大・渡瀬 博・鹿生子 悟・大谷 悟司

■13:00~14:20 リニューアル(3)

VI-251 首都高羽田線更新工事 東品川橋脚部の施工計画 / 首都高速道路(株) [正] 角田 浩・山本 多成・濱崎 景太・江野本 学・田島 良平

VI-252 首都高羽田線更新工事 東品川橋脚部の鋼管矢板井筒基礎の設計 / 大林組 [正] 玉田 和法・副島 直史・堀田 尚史・岩城 孝之

VI-253 首都高速羽田線更新工事 鋼管矢板井筒基礎の施工報告 / 大林組 [正] 河合 吾一郎・小島 直之・濱崎 景太・神原 雅宏・工藤 忠

VI-254 首都高羽田線更新工事 大井 JCT 桁撤去工事の施工報告 / 首都高速道路(株) [正] 濱崎 景太・田原 大地・江野本 学・林 光博・平野 聡

VI-255 A S R 損傷を受けた R C 橋脚梁の高速道路併用下での再構築工 / 阪神高速道路(株) [正] 川合 将斗・山中 利明・佐藤 昇

VI-256 供用路線下での A S R 損傷橋脚梁再構築に係る仮受け構台の設計・施工 / 阪神高速道路株式会社 [正] 曾我 恭臣・杉山 裕樹・川合 将斗・大高 正裕・井内 崇也

VI-257 西船場 JCT の橋脚梁部再構築に係る仮受け時既設補強設計 / 阪神高速道路 [正] 田中 将登・曾我 恭臣・川合 将斗・小長井 翔

■14:40~16:00 リニューアル(4)

VI-258 国道 157 号尾川大橋における技術協力・施工タイプでの補修設計について / 大日本コンサルタント [正] 山科 盛人・脇坂 哲也・清水 英樹・吉澤 直子

VI-259 橋梁桁端部の狭間部における補修事例について / 東日本高速道路 北海道支社 帯広管理事務所 [正] 白崎 佳祐・加藤 文啓

VI-260 下路プレートガーダーにおける建築限界支障箇所の解消方法について / 東日本旅客鉄道 [正] 大山 博・阿部 雄太・丸山 修平

VI-261 豪雨災害による橋梁の損傷状況と架け替え設計 / 株式会社オリエンタルコンサルタント [正] 上野 大介・古賀 秀幸・宮内 健・安倍 敦

VI-262 北海道の道路構造物(橋梁、トンネル)における劣化速度とその分布 / 岩田地崎建設 [正] 河村 巧・須藤 教史・佐藤 京・兼清 泰明・丸山 取

VI-263 社会基盤施設における更新情報の欠損を考慮した統計的劣化予測手法 / 大阪大学大学院工学研究科 [学] 田中 誠勝・二宮 陽平・水谷 大二郎・貝戸 清之

VI-264 高解像度カメラを用いた構造物点検の適用性の検証 / 中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社 [正] 西田 直也・大窪 克己・平野 絃司

平成30年8月29日(水) VI-6会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部N307)

■10:40~12:00 リニューアル(5)

VI-265 橋梁の維持管理に係る効率的な点検の取り組み / 公益社団法人宮城県建設センター [正] 水野 俊・白石 郁男・久田 真・鎌田 貢・石川 弘子

VI-266 防災点検箇所に関する実効性のある効率的な調査手法について / 日本工営 [正] 杉崎 友是・福永 良三

VI-267 新たな統合データベースシステムを活用した橋梁長寿命化対策の最適化に向けた取り組み / 山形県土木整備部 [正] 吉田 博之・竹内 晃・高橋 和明・久田 真・鎌田 貢

VI-268 継続的な橋梁維持管理を見据えた管理方法の構築 / 上市市 [正] 武田 秀人・柏倉 義啓・皆川 浩・早坂 洋平・橋田 明良

VI-269 橋梁維持管理への市民参加の可能性についての考察 / 千葉市の橋梁を対象として / 日本大学大学院 [学] 坂本 大海・五十畑 弘・永村 景子

VI-270 橋りょう直営修繕の取り組みについて / 小田原市役所 [正] 千石 武史・曾根 浩樹・佐野 俊祐

VI-271 豊田市における重要度の低い橋梁に対する維持管理の方向性(その4) / 豊田市役所 [正] 星川 雅貴・須藤 淳姿

■15:20~16:40 リニューアル(6)

VI-272 薄型油圧ジャッキを用いた支承交換の施工実績 / ライト工業 [正] 奥川 寿・倉地 勲夫

VI-273 鋼鉄道橋における支承部ばたつき対策 / 東日本旅客鉄道株式会社 [正] 戸澤 孝夫・佐々木 和徳・八重樫 祐輝

VI-274 縦桁補剛材上端溶接部のき裂に対する検査および対策工の検討 / 東日本旅客鉄道 [正] 阿部 雄太・大山 博・佐藤 大輔・丸山 修平

VI-275 冬季における簡易沓座補修工法の適用性 / J R 西日本 金沢土木技術センター [正] 丸田 健博・丹羽 雄一郎・池頭 賢・中口 聡志

VI-276 上フランジ溶接補強部のき裂が桁の耐力に与える影響 / 西日本旅客鉄道株式会社 [正] 西脇 美安・小浦 貴明・大部 亮・中山 太士・石川 敏之

VI-277 鋼鉄道橋 薄型 B P - B 沓の載荷試験による特性把握 / 西日本旅客鉄道株式会社 [正] 西田 寿生・木村 元哉・山田 不二彦・古市 亨・松井 繁之

VI-278 ビーニング系工法を用いた予防保全対策の施工性検証 / 阪神高速道路 [正] 柿木 啓・ハツ元 仁・塚本 成昭・小林 寛・坂根 英樹

平成30年8月30日(木) VI-6会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部N307)

■9:00~10:20 リニューアル(7)

VI-279 GFRP 接着による剥落防止対策の再劣化事例に関する検証 / 日本工営株式会社 [正] 近藤 悦郎・松山 公年・窪田 光作・高橋 晃浩・入江 健夫

VI-280 ポストテンション PCT 桁の塩害対策の効果に関する検証 / 日本工営(株) 交通都市事業部交通インフラマネジメント部 [正] 松山 公年・窪田 光作・高橋 晃浩・入江 健夫・近藤 悦郎

VI-281 床版における鋼板接着対策の再劣化に関する検証 / 日本工営株式会社 [正] 園田 崇博・松山 公年・窪田 光作・高橋 晃浩・入江 健夫

VI-282 クリアスカイ工法による遮音壁の透光性機能回復実験 / 日本建設機械施工協会 [正] 隈園 正義・谷倉 泉・長田 清孝・吉浦 和彦

VI-283 紫外線硬化型ポリエステル樹脂製 GFRP シートを用いた鋼部材補強に関する研究 / 建設技術研究所 [正] 光川 直宏・長尾 剛・中村 一平・高橋 修・村中 昭典

VI-284 プレキャスト P C 床版架設工事に用いる C 型コラム継手の開発 / 戸田建設 [正] 北原 慎也・関口 高志・可児 幸嗣・加藤 美由紀・松井 繁之

VI-285 海生生物フジツボ付着による海洋コンクリート構造物の劣化抑制作用に関する一考察 / パシフィックコンサルタンツ [正] 岡崎 健・石河 雅典・上月 康則・山中 亮一

■10:40~12:00 リニューアル(8)

VI-286 塗装工程を簡略化した耐火塗料の燃焼試験 / 東海旅客鉄道株式会社 [正] 向井 天・庄司 朋宏・桑原 幹雄・門田 祐一朗

VI-287 炭素繊維シートを用いた円形プレキャスト板による狭間部での R C 円柱耐震補強 / 大成建設 [正] 田島 瑞規・上坂 龍平・竹野 友規・大塚 祐哉

VI-288 新幹線鋼橋の支点部取替補強工事における反力調整の有効性 / 東海旅客鉄道株式会社 [正] 辻 英之・若森 吉邦・田中 佑児

VI-289 地下鉄トンネルにおける自己治癒材料を用いた漏水補修箇所の健全性調査 / 東京地下鉄 [正] 角田 隆太・新田 裕樹・大塚 努・小椋 紀彦・小西 雄治

VI-290 東海道新幹線富士川橋りょうの維持管理 / 東海旅客鉄道株式会社 [正] 長谷川 誠・今井 武・野中 泰輔

VI-291 営業線に近接する石積壁の耐震補強工事 / 株式会社 大阪防水建設社 [正] 本橋 俊之・畠山 恭輔・小泉 伸之・滝田 安之

VI-292 テーパー型ナットを定着体とした P C 鋼棒と施工アンカー工法の適用範囲確認引抜試験 / サンコーテック株式会社 [正] 藤井 保也・今井 清史・増田 公雄・小林 薫・伊藤 隼人

平成30年8月31日(金) VI-6会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部N307)

■9:00~10:20 リニューアル(9)

VI-293 三次元数値解析による既設めがねトンネルのひび割れ発生メカニズムに関する考察 / 山口大学大学院 創成科学研究科 [学] 大野 智貴・北村 彩絵・森本 真吾・進士 正人

VI-294 ネクスコ中日本リニューアル工事 辰野トンネル改良工事 / 株式会社熊谷組 [正] 大橋 勇詩・今井 裕之

VI-295 道路トンネルにおける非開削工法によるインバート増設・改築工法 / 鉄建建設 [正] 中村 征史・清水 靖也・長尾 達児

VI-296 二次製品を用いた水路トンネルの底盤修繕の検討 / 東日本旅客鉄道 [正] 家坂 佑希・川崎 淳・梶谷 宜弘・大湊 直樹

VI-297 可搬型 MMS によるトンネル内空洞面の把握 / 株式会社パスコ [正] 黒須 秀明・稲見 麻央・小出 昌克・森 淳

VI-298 道央自動車道 江丹別トンネルにおけるコンクリート舗装の補修 / 東日本高速道路 [正] 石川 尚樹・山本 陽一

VI-299 地下鉄トンネルにおける塩害対策補修工法の改善 / メトロレールファシリティーズ [正] 渡辺 貞之・圓山 孝徳・江瀬 敦・湯沢 駿・小椋 紀彦

■10:40~12:00 リニューアル(10)

VI-300 トンネルの覆工定期点検記録に基づく覆工ひびわれと気温の関係 / 山口大学大学院 創成科学研究科 [学] 宮地 智仁・海瀬 忍・森本 真吾・進士 正人

VI-301 T C I を用いた山口県の道路トンネル覆工のひび割れ進行性の分析 / 山口大学大学院 創成科学研究科 [学] 相緒 春菜・中村 剛・山田 賢・森本 真吾・進士 正人

VI-302 覆工背面空洞の充填確認方法における電磁波レーダ法の適用性について / 東急建設 [正] 前原 聡・早川 健司・伊藤 正憲・佐藤 務・鈴木 将光

VI-303 山手トンネル坑内高温化の現状分析と換気増風運転による温度低減効果の検証 / 横浜国立大学 [学] 中村 颯一郎・山田 均・勝地 弘・金 惠英

VI-304 新幹線トンネル補修工の物性試験結果に関する一考察 / J R 東日本 [正] 込山 実・近藤 晃・山村 啓一・久保原 猛

VI-305 老朽化した張コンクリートの調査・対策工に関する一考察 / 西日本旅客鉄道 [正] 上野 知也・西田 幹嗣・窪塚 大輔・槇 健・水田 将司

VI-306 集水井の洗浄効果と効果的な維持管理手法の一考察 / ネクスコ東日本エンジニアリング [正] 石川 巧太・永井 宏・西村 光司・奥村 欣司・湯本 正士

■13:00~14:20 リニューアル(11)

VI-307 矢板工法トンネルの盤膨れに対するインバート補強の検討 / (株) 高速道路総合技術研究所 [正] 前川 和彦・伊藤 哲男・海瀬 忍・國村 省吾・奥井 裕三

VI-308 はく落要注意箇所の自動抽出システムの機能改良 / メトロレールファシリティーズ [正] 篠原 秀明・小西 真治・小川 大貴・堀 麻美子・村田 利文

VI-309 炭素繊維シート複合パネルによる梁の曲げ補強効果に関する研究 / 大成建設 [正] 高倉 克彦・新藤 竹文・河村 圭亮・池山 正一

VI-310 既設トンネル覆工背面空洞充填用発泡ウレタンの試験方法とコア試験結果について / 株式会社マシノ [正] 濱田 晋・木下 泰範・坂本 全布

VI-311 変状トンネル補強用ロックボルトと帯鋼板を用いた背面空洞充填工事 / 鹿島建設株式会社 [学] 山本 拓治・三上 恵津子・佐藤 鐘光・橋本 泰明・佐藤 貴志

VI-312 地下鉄トンネル上床のはく離・はく落発生の判別結果に対する納得感評価 / 東京大学大学院情報学環 [正] 大島谷 雅美・湧田 雄基・石川 雄章・小西 真治・榎谷 祐輝

平成30年度土木学会全国大会 第73回年次学術講演会プログラム

第6部門

- VI-313 地下鉄トンネルにおける表面含浸材のモニタリング結果／東京地下鉄 [正] 森 信治・篠原 大輔・谷田 剛史・千葉 学・小椋 紀彦
- 14:40～16:00 リニューアル(12)
- VI-314 既設跨線橋への常設足場設置について／西日本高速道路株式会社 [正] 松下 剛・中野 尚人・前田 健太・平野 毅志
- VI-315 光学的計測法を用いたRC T橋の構造特性同定／[学] 國廣 智志・山口 浩平・松田 浩・工藤 賢二・杉江 匡紀
- VI-316 キルギス国におけるタブレット端末利用の道路防災データベースの構築／長岡工業高等専門学校専攻科 [学] 馬場 ひとみ・澤田 賢太郎・井林 康
- VI-317 薪ボイラーによる新たな流木処理手法の実用化検証／水資源機構 [正] 博井 涼太・新井 誠輔
- VI-318 建設廃材の排出塔からの流出挙動に関する研究／中央大学 [学] 合田 明弘・前川 亮太・山田 正
- VI-319 港湾の維持修繕工事における積算に関する一考察／港湾空港総合技術センター [正] 島田 伊浩・高山 和敏
- VI-320 河口部ポンプ所の防災機能診断事例／玉野総合コンサルタント 流域技術部 [正] 吉田 要・荒木 康之・山田 周治・大洞 清政・長屋 英樹

平成30年8月29日(水) VI-7会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部MC030)

■10:40～12:00 リニューアル(13)

- VI-321 当て板補修を行った孔開き鋼矢板の曲げ耐力に関する解析的検討／五洋建設 [正] 王 涛・谷口 修・内藤 英晴
- VI-322 透光性遮音壁の経年劣化に関する一考察／名古屋高速道路公社 [正] 水谷 公彦・森下 宣明・井上 貴洋・瀧山 翔太
- VI-323 ツヤ消しコーティングによるK-C o a t - Rの光沢抑制方法／川金コアテック [正] 杉村 直人・鶴野 禎史・菱山 知幸
- VI-324 腐食生成物除去に対する高周波誘導加熱の適用性／西日本旅客鉄道株式会社 [正] 瀧本 一也・中山 太士・坂本 達朗・廣畑 幹人
- VI-325 市町村が管理する既設橋梁の維持管理(その1) - 市町村職員を対象とした講習会の開催 - /近畿建設協会 [正] 林 正一・東山 浩士・松井 繁之・古市 亨・山本 幸雄
- VI-326 市町村が管理する既設橋梁の維持管理(その2) - 対策の優先順位決定手法の提案 - /近畿建設協会 [正] 山本 幸雄・古市 亨・東山 浩士・松井 繁之・先本 勉
- VI-327 市町村が管理する既設橋梁の維持管理(その3) - 福井県美浜町の対策優先順位決定事例 - /近畿建設協会 [正] 和田 實・古市 亨・東山 浩士・石川 敏之・先本 勉

■15:20～16:40 リニューアル(14)

- VI-328 合成桁橋のRC床版取替におけるウォータージェットを用いた急速撤去技術の開発(その1:概要と構造検討)／阪神高速道路(株) [正] 佐藤 彰紀・橋爪 大輔・石塚 健一・佐竹 康伸
- VI-329 合成桁橋のRC床版取替におけるウォータージェットを用いた急速撤去技術の開発(その2:施工技術の開発と試験施工)／飛鳥建設株式会社 [F] 川端 康夫・佐藤 彰紀・中山 佳久・吉田 啓助
- VI-330 北陸新幹線PRC単純桁の振動対策／[正] 神谷 弘志・荻原 裕貴・原田 悟・品田 卓也
- VI-331 コンクリート高架橋からの落下物対策の取組み／JR東日本 [正] 小林 亮司・佐藤 正俊
- VI-332 熊本地震で被災した白川橋の復旧工事／川田建設 [正] 福田 健作・柳原 辰徳・古賀 圭一郎・西谷 朋晃・岩尾 省吾
- VI-333 橋軸方向プレストレス、壁高欄一体化による取替床版の施工性向上検討／前田建設工業 [正] 今西 秀公・稲葉 尚文・本庄 正樹・空閑 健作・辻角 学
- VI-334 小規模コンクリートダム嵩上げ工の品質確保／西松建設 関西支店 [正] 柚村 孝彦・真田 昌慶

平成30年8月30日(木) VI-7会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部MC030)

■9:00～10:20 リニューアル(15)

- VI-335 凍結融解を受けた石油樹脂・アクリル樹脂系止水材の付着特性／東京電設サービス [正] 佐藤 亘・桑原 弘昌
- VI-336 長期暴露試験を行った高靱性セメントボードの耐久性について／大林組 [正] 大島 優・富井 孝喜・青木 峻二・人見 祥徳・川島 則子
- VI-337 鉄筋挿入による城郭石垣の補強／安藤ハザマ [正] 笠 博義・西形 達明・西田 一彦・和田 行雄・藤川 直也
- VI-338 既設硬質ビニル管の接着継手に関する検証／日本コムシス [正] 金次 良・奥津 大・片桐 信・鈴木 崇伸
- VI-339 福島県における路面性状評価システムの適用の試み／[正] 江本 久雄・鈴木 溪太・緑川 猛彦・吉武 俊章・磯上 秀知
- VI-340 発光細菌によるコンクリート製下水管まの評価／福島工業高等専門学校 [正] 十亀 陽一郎・江本 久雄
- VI-341 センサデータを活用した舗装補修優先区間表示手法の提案／三井共同建設コンサルタント株式会社 [正] 吉武 俊章・石橋 直樹・江本 久雄・宮本 文徳
- 10:40～12:00 リニューアル(16)
- VI-342 地下鉄トンネルにおける機性陽極材の防食効果の検討／メトロレールファシリティーズ [正] 武藤 義彦・胡戸ヶ野 晃大・野口 正則・小椋 紀彦・鹿島 篤志
- VI-343 乾電池の取り付けによる流電陽極方式電気防食工法の防食効果向上の検討／飛鳥建設 [正] 平間 昭信・橋本 永手・加藤 佳孝・渡辺 佳彦

- VI-344 導電性モルタルを用いた無機系被覆工法の海洋環境下での暴露実験／東洋建設株式会社美浦研究所 [正] 湯地 輝・審良 善和・高 舒恒・成松 一樹・山口 明伸
- VI-345 アルミニウム系流電陽極方式電気防食の試験的適用に関する一考察／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 堀澤 誠・廣田 元嗣
- VI-346 腐食抑制技術の開発～環境遮断剤暴露試験/MKエンジニアリング株式会社 [正] 河壑 紘希・竹淵 敏郎・藤間 誠司・下里 哲弘
- VI-347 A S R劣化を生じた橋梁(橋山橋)の補修方針について／東日本高速道路株式会社 [正] 高久 英彰・小野塚 和博・羽柴 俊明・安川 義行
- VI-348 A S R劣化を生じた橋梁(橋山橋)の補修工事における設計・施工について／ピーエス三菱 東京土木支店 土木技術部 [正] 花房 禎三郎・綱川 悠・山口 清人・藤田 秀徳

平成30年8月31日(金) VI-7会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部MC030)

■9:00～10:20 技術開発(1)

- VI-349 ウェアラブルデバイスを用いた血圧測定による労働者安全管理の可能性／飛鳥建設 [正] 松田 浩朗・松元 和伸・田頭 茂明
- VI-350 茨城県内を対象とした生活環境圏におけるCO2の時系列変化に関する研究／[学] 小澤 花音・飯田 大貴・加瀬 秀征・桑原 裕史
- VI-351 耐久性及び生分解性を重視した粉じん飛散防止材の検討／鹿島建設株式会社 [正] 大橋 麻衣子・小澤 一喜・小川 浩司
- VI-352 Raspberry Piを利用した点群データ自動編集システムの開発／関東測量株式会社 [正] 大橋 祥子・小林 雅人・半谷 一晴・先村 律雄
- VI-353 2D回転スキャンレーザによるコンクリート打設面測定／佐藤工業 [正] 的場 栄次・前田 幸男・鹿ノ内 滉介
- VI-354 マルチビーム測量無人ボートによる水中部の3次元測量/パシフィックコンサルタンツ株式会社 [正] 佐久間 謙史・畠山 直樹・永沼 佳洋・武田 光弘
- VI-355 景観向上のための効率的な無電柱化技術の現状と課題/土木研究所寒地土木研究所 [正] 太田 広・大竹 まどか・小林 勇一・澤口 重夫・田所 登

■10:40～12:00 技術開発(2)

- VI-356 無機系短繊維補強コンクリートのポンプ圧送試験／戸田建設 [正] 大橋 英紀・仁平 達也・高橋 和寛・笹田 航平・田中 徹
- VI-357 縁切鋼矢板を考慮した動的なニューマチックケーソン沈没解析/清水建設 [正] 小林 聖二・遠藤 和雄・Ko Donghuk・桐山 貴俊
- VI-358 差角誘導システムの適用による余堀りの低減効果の検証／鹿島建設 [正] 犬塚 隆明・手塚 康成・岩野 圭太・海邊 修司・小池 健生
- VI-359 TOFカメラによるトンネル切羽変状監視システム開発の試み/佐藤工業 [正] 菊田 遥子・京免 維彦・瀬谷 正巳・新川 隆朗・前田 新一
- VI-360 夜間工事照明の視感度と誘虫性に関する基礎的調査/清水建設株式会社 [正] 生田 勇輝・垣見 康介・橋本 純・宮瀬 文裕・林 豊
- VI-361 トンネル内通話システムの開発/清水建設技術研究所 [正] 谷川 将規・宇野 昌利・宮瀬 文裕・三原 泰司
- VI-362 仮設防音設備用紙素材の耐候性試験/清水建設 [正] 宮瀬 文裕・古木 弘・岩井 一将・宇野 昌利・谷川 将規

■13:00～14:20 技術開発(3)

- VI-363 既設トンネル補強セグメントの開発(その1:FEM解析)/日之出水道機器 [正] 日高 哲郎・甲斐 信博・藤木 育雄・齊藤 正幸・大塚 努
- VI-364 既設トンネル補強用セグメントの開発(その2:載荷試験)/東京地下鉄株式会社 [正] 佐藤 謙・田崎 和之・水上 博之・石山 路代・日高 哲郎
- VI-365 タブレット端末を用いたセグメント変状記録システムの開発/鹿島建設 北海道支店 土木部 [正] 盛岡 義昭・加藤 嘉昭・白井 健泰・石黒 沙英・横井 有朋
- VI-366 ステレオカメラを活用した自動配筋検査システムの開発/鹿島建設株式会社 [正] 森本 直樹・横尾 敬・後閑 淳司・酒匂 智彦・早川 博之
- VI-367 配筋検査への画像認識技術の活用に向けた基礎的検討(その1)/東日本旅客鉄道 [正] 田原 孝・森 圭太郎・石間 計夫
- VI-368 配筋検査への画像認識技術の活用に向けた基礎的検討(その2)/JR東日本コンサルタンツ [正] 石間 計夫・田原 孝・森 圭太郎
- VI-369 海底地盤に適用可能な水中表面波探査技術の開発/五洋建設 [正] 柳橋 寛一・熊谷 隆宏・上野 一彦・小西 千里

■14:40～16:00 技術開発(4)

- VI-370 58年経過した2径間PC橋の解体に関わる調査法/砂子組 [正] 佐藤 清正・丸山 欣一・長谷川 雅樹・古川 大輔・田尻 太郎
- VI-371 J-ティフコムを用いたコンクリートハイブリッド梁のひずみ追従性/砂子組 [正] 古川 大輔・佐藤 清正・丸山 欣一・田尻 太郎・三田村 浩
- VI-372 2径間PC橋の解体施工法/砂子組 [正] 山本 寛子・近藤 里史・佐藤 清正・田尻 太郎
- VI-373 ウォータージェットを用いた円筒形コンクリート杭の撤去技術の開発/一般社団法人日本建設機械施工協会施工技術総合研究所 [正] 設楽 和久・谷倉 泉・古川 真也・鈴木 英高
- VI-374 締固め下方の品質が向上する新型軽量コンクリートパイプレータの開発/大林組 [正] 上垣 義明・岡本 敏道・井上 和
- VI-375 乗降場におけるエキスパンションジョイント間詰材の実証試験/東日本旅客鉄道 [正] 鈴木 由花・山口 慎・河野 聡

平成30年度土木学会全国大会 第73回年次学術講演会プログラム

第6部門

VI-376 PCLNG地上式貯槽におけるPC鋼構定着間隔の縮小化/清水建設 [正] 長尾 賢
汰・伊藤 暁・長谷川 俊昭・後藤 大輔

平成30年8月29日(水) VI-8会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部MC201)

■10:40~12:00 検査・診断(1)

VI-377 橋梁点検用マルチコプタ(ドローン)の運用の多様性に関する一検証/大日本コンサル
タント株式会社 インフラ技術研究所 [正] 平山 博

VI-378 マルチコプタ(ドローン)のコンクリート床版橋への展開/大日本コンサルタント株
式会社 インフラ技術研究所 調査研究部 保全エンジニアリング研究室 [正] 小林
大

VI-379 ドローンを用いた地形再現手法の検討/西日本旅客鉄道株式会社 [正] 濱野 智紀・
山田 啓太・中山 太士・内海 輝昭・青木 伸一

VI-380 UAV(無人航空機)を用いたインフラ点検におけるひび割れ撮影技術/(株)オカベ
メンテ [正] 岡部 成行・本澤 昌美・堀口 賢一・鈴木 三馨・富山 潤

VI-381 画像解析を用いたひび割れ定量評価技術の離島架橋ひび割れ点検への適用/大成建設
[正] 鈴木 三馨・本澤 昌美・堀口 賢一・岡部 成行・富山 潤

VI-382 画像解析を用いたひび割れ定量評価技術の高架橋ひび割れ点検への適用/大成建設株
式会社 [正] 堀口 賢一・鈴木 三馨・本澤 昌美・岡部 成行・富山 潤

VI-383 画像診断技術による火力発電所RC煙突調査および変状抽出高精度化への展望/清水
建設(株) [正] 河野 貴之・久保 昌史・天野 勲

■15:20~16:40 検査・診断(2)

VI-384 自走式斜材点検装置を用いた点検実施事例/中日本ハイウェイ・エンジニアリング東
京 [正] 大塚 克己・高野 真希子・大橋 岳

VI-385 吊橋ハンガローブ画像点検システムの開発/ブリッジ・エンジニアリング [正] 小
川 和也・明石 良男・武田 浩・西川 一基

VI-386 壁昇降点検ロボットの開発/ネクスコ東日本エンジニアリング [正] 赤木 琢也・
高櫻 裕一・小出 至也・大橋 俊夫

VI-387 2輪型マルチコプタを用いた橋梁点検支援ロボットのシステムの研究開発について/株
式会社ドローン [正] 大山 高輝・菅原 登志也・羽田 芳朗・長谷川 英司

VI-388 橋梁点検ロボットBRIDGEVIEWの実橋実証実験/(株)建設技術研究所
[正] 石田 辰英・広瀬 茂男・グララニエリ ミケレ・塚越 秀行・清水
隆史

VI-389 橋脚水中部点検機器の開発/首都高速道路技術センター [正] 大宮 勲・深山 大
介・神田 信也・島田 由美子・高田 光

VI-390 3Dモデルを活用した橋梁維持管理システムの開発と効果の実証分析/西日本旅客鉄
道 [正] 村田 眞司・清水 智弘・内田 修・中澤 明寛

平成30年8月30日(木) VI-8会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部MC201)

■9:00~10:20 検査・診断(3)

VI-391 構造物点検等への適用のためのドローンの飛行性能比較実験による適性の検証/西武
建設株式会社 [正] 二村 憲太郎・井上 靖雄・川前 勝三郎・井戸田 和
也・須長 真介

VI-392 橋梁水中部の点検業務を支援する道具の開発/西日本高速道路エンジニアリング九州
株式会社 [正] 東 克徳・田中 克則・石井 和夫

VI-393 たわみ性バイパスバルートの間接目視調査実証実験における検証報告/西日本高速道
路エンジニアリング中国 [正] 岡本 淳二・裏山 元紹

VI-394 浮体による通水中の水路壁面点検用の撮影装置の開発/東京電力ホールディングス
[正] 森岡 宏之・青木 研一郎・山内 優・恩知 憲正・鶴田 滋

VI-395 栈橋下面点検ロボットピアグの現場実証/大林組 [正] 濱地 克也・沼崎 孝義・
青山 裕作

VI-396 トンネル覆工表面の3D解析によるひび割れ抽出について/東日本旅客鉄道 [正] 滝
澤 彰宏・齊藤 岳季・中村 大輔

VI-397 モバイル3Dドキュメントによる構造物の点検の効率化・高度化/パシフィックコンサル
タツ株式会社 [正] 畠山 直樹・澤田 悦史・木村 茂・安井 伸頭

■10:40~12:00 検査・診断(4)

VI-398 コンクリート表面ひび割れの画像解析に関する実験的検討/大林組 [正] 青木 峻
二・富井 孝喜・大島 優

VI-399 高速レーザベクトル干渉動画によるコンクリート構造物の動的超微小挙動把握/日
本電気株式会社 [正] 今井 浩・今井 道男・池谷 彰彦・露木 健一郎

VI-400 ハイパースペクトルデータを用いたコンクリート表面ひび割れ点検における正規化分
光反射指数の適用性/東京理科大学大学院・土木工学専攻 [学] 清本 貴哉・小島
尚人

VI-401 ハイパースペクトル画像によるレール劣化状態に関する検討/鉄道総合技術研究所
[正] 坪川 洋友

VI-402 トンネル覆工マーカの表面材質について/施工技術総合研究所 [正] 安井 成豊・
寺戸 秀和・伊吹 真一・伊藤 良介・林 利行

VI-403 カメラを利用したトンネル内での自己位置特定について/日本建設機械施工協会
[正] 伊吹 真一・安井 成豊・寺戸 秀和・永谷 圭司・渡辺 敬志

VI-404 ロボット技術による橋梁・トンネル点検を支援するための研究開発/土木研究所
[学] 林 利行・藤野 健一・梶田 洋規・吉田 好孝・安井 成豊

平成30年8月31日(金) VI-8会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部MC201)

■9:00~10:20 検査・診断(5)

VI-405 樹林管理における三次元計測システムの可能性/株式会社ネクスコ・エンジニアリ
ング北海道 [正] 山中 泰輝

VI-406 高密度点群データの構造解析モデルへの変換に関する基礎的検討/北見工業大学
[学] 鈴木 紗苗・宮森 保紀・泉 保則・齊藤 剛彦・洞口 克彦

VI-407 固有振動数を用いた橋梁通信設備の劣化診断技術に関する検証/NTTアクセスサ
ビスシステム研究所 [正] 池口 雄大・田代 善彦

VI-408 光ファイバセンサによる水路トンネルモニタリング/北海道電力 [正] 池田 圭甫・
若松 洋介・笠井 秀男・今井 道男

VI-409 光ファイバを用いたPC緊張力計測技術のグラウンドアンカーへの適用/鹿島技術研
究所 [正] 大塚 一正・今井 道男・戸邊 勇人・中上 晋志・早川 道洋

VI-410 太陽電池アレイ用支持物のモニタリングによる破損検知手法の開発/構造計画研究所
[正] 八木 康仁・楊 克俊・西川 省吾・瀧川 隆介

■10:40~12:00 検査・診断(6)

VI-411 非接触音響探査法を用いたコンクリート表層欠陥探査技術の開発一長距離計測に関
する検討(Ⅲ)一/桐蔭横浜大院 [正] 上地 樹・川上 明彦・歌川 紀之・杉
本 恒美・杉本 和子

VI-412 非接触音響探査法を用いたコンクリート表層欠陥探査技術の開発一空間スペクトル
エントロピーによるレーザドップラ振動計の共振周波数帯の検出一/桐蔭横浜大学
[正] 杉本 和子・杉本 恒美・森岡 宏之・中川 貴之・歌川 紀之

VI-413 トンネル覆工コンクリートの振動特性に基づく健全性診断の試み/西日本高速道路
エンジニアリング九州株式会社 [正] 谷口 徹也・本山 和幸・蔣 宇静

VI-414 たわみ値を用いた新たな電柱診断方法/日本電信電話株式会社 [正] 岩堂 哲也・
本多 竜二・梶原 佳幸

VI-415 寒冷地のトンネル覆工における劣化評価の提案/(株)建設技術研究所 [正] 禿 和
英・須藤 敬史・佐藤 京・兼清 泰明・檀 寛成

VI-416 サポートベクトルマシンを用いた軌道検査・土木検査の相関性検証/東京地下鉄株式
会社 [正] 岩本 佑太・岩本 公輔・小川 大貴・劔持 尚樹・亀井 啓太

VI-417 AHPを用いた健全度判定メカニズム分析/東京地下鉄株式会社 [正] 小川 大貴・
小坂 亮史・菅原 健・富沢 日出夫・福中 公輔

■13:00~14:20 検査・診断(7)

VI-418 FWD試験による空港誘導路橋梁の変形・振動特性の検討(その1)/成田国際空港
株式会社 [正] 金子 雅廣・山出 裕樹・尾関 特克・稲田 裕

VI-419 FWD試験による空港誘導路橋梁の変形・振動特性の検討(その2)/清水建設株式
会社 [正] 稲田 裕・金子 雅廣・尾関 特克・山出 裕樹

VI-420 交通規制下におけるFWD試験を震源とした2次元表面波探査の効率化への試み/岐
阜大学 [正] 刈谷 敬三・村田 芳信・八嶋 厚・中村 洋丈・風戸 崇之

VI-421 走行車両の違いが車軸と桁の鉛直振動相似性に与える影響についての一考察/構造計
画研究所 [正] 佐々木 義志・矢部 明人・為広 尚起・江田 重之・武智
彰

VI-422 土工部に設置された角型情報板支柱の通行車両の違いによる振動に関して/中央大学
[正] 平野 廣和・連 重俊・青木 暎

VI-423 共振発生リスクのある新幹線PRC単純桁の監視手法について/JR東日本コンサル
タツ [正] 宝蔵寺 宏彰・逸見 研二・荻原 裕貴・原田 悟

VI-424 加速度センサを活用した新幹線PRC単純桁たわみの常時モニタリングについて/J
R東日本コンサルタツ(株) [正] 清水 保・逸見 研二・荻原 裕貴・原田
悟

■14:40~16:00 検査・診断(8)

VI-425 非接触音響探査法を用いた欠陥探査技術の開発一音源搭載型UAVによる外壁検査に
関する検討一/桐蔭横浜大学・大学院工学研究科 [正] 杉本 恒美・上地 樹・
杉本 和子・歌川 紀之・黒田 千蔵

VI-426 トンネル覆工コンクリートにおけるレーザー計測データの傾向/西日本旅客鉄道株式
会社 [正] 御崎 哲一・保田 尚俊・島田 義則・篠田 昌弘・江本 茂夫

VI-427 ゴム壁におけるゴム袋体の損傷検知手法に関する研究(その2)/国立研究開発法人
土木研究所 [正] 中島 淳一・藤野 健一・梶田 洋規・上野 仁志

VI-428 加速度計内蔵ハンマ打撃によるスリーブ打込み式アンカーの健全性評価に関する検討
/株式会社ケー・エフ・シー [正] 齊藤 透・小林 学・久保 元樹

VI-429 回転式打音診断支援システム(S-SJ)の開発について/株式会社ネクスコ東日本
エンジニアリング [正] 清水 俊吾・門平 篤志・佐藤 重人

VI-430 AI打音診断によるボルトゆるみ判定技術/佐藤工業株式会社 [正] 京免 継彦・
黒田 千蔵・歌川 紀之

VI-431 トンネル点検の効率化を目指した新型専用作業車(E-マルチ点検車)の開発/西日
本高速道路エンジニアリング中国 [正] 牛尾 晃・藤島 幸年・尾崎 英彦・
竹原 秀樹

平成30年8月29日(水) VI-9会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部MC204)

■10:40~12:00 検査・診断(9)

VI-432 表面弾性波可視化技術による表面保護塗装下のASR劣化ひび割れ調査の試行/株式
会社島津製作所 [正] 畠嶋 貴秀・新名 勉・河野 広隆・服部 篤史・田
窪 健二

VI-433 各種非破壊検査技術を用いたPCグラウト充填調査のフィールド実験/株式会社 日
本ピーエス [正] 福島 邦治・山田 浩司・木下 尚宜・吉武 勇

VI-434 広帯域超音波法(WUT)を用いたPCグラウト充填調査法の検討/山口大学大学院
[学] 山田 浩司・福島 邦治・木下 尚宜・吉武 勇

VI-435 超音波パルス反射法を用いた勾配付きろう付試験体のろう付面積評価における水距離
の影響/有明工業高等専門学校 [正] 岩本 達也・酒井 崇彰・佐々木 誠・
高倉 克彦

VI-436 超音波パルス反射法によるろう付面積評価における試験体厚みの影響/株式会社丸和
技研 [正] 佐々木 誠・森田 泰司・岩本 達也・嘉屋 文康・永江 俊介

VI-437 レジンコンクリートの強度推定技術(1)一超音波を用いた強度推定式の構築/日本
電信電話株式会社 [正] 奥津 大・齋藤 千敏・高橋 宏行・内堀 大輔・
柳 秀一

平成30年度土木学会全国大会 第73回年次学術講演会プログラム

第6部門

VI-438 レジンコンクリートの強度推定技術(2) 超音波を用いた非破壊検査装置の開発/NTTアクセスサービスシステム研究所 [正] 内堀 大輔・齋藤 千紘・中川 雅史・柳 秀一

■15:20~16:40 検査・診断(10)

VI-439 「非開削地下探査技術適用の手引き(案)」のとりまとめ/川崎地質株式会社 [正] 鈴木 敬一・齋藤 秀樹・網崎 勝 一般社団法人 日本非開削技術協会地下探査

VI-440 路面下空洞調査における統合物理探査の適用性/(株)ネクスコ・エンジニアリング北海道 [正] 平田 司・原田 真

VI-441 コンクリート床版上面の非破壊調査による変状抽出の検証結果について/西日本高速道路エンジニアリング中国 [正] 大田 一成・高橋 保則・坂東 誉浩・岡村 敬

VI-442 赤外線熱画像による温度差検出箇所のコンクリート品質と劣化進行に関する一考察/[正] 高畑 東志明・橋本 和明・松田 靖博

VI-443 トンネル湧水を検出するための近赤外線カメラの開発と適用性検討/鹿島建設(株) [正] 森 孝之・宮嶋 保幸・柳澤 琢磨・東家 安伸・松葉 陽平

VI-444 赤外線カメラを用いた鋼橋疲労き裂検出の試み/中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社 [正] 衣笠 泰広・大窪 克己・高橋 徹・田中 友樹

VI-445 レーザー超音波可視化試験を用いた擬似等方性積層板に対する弾性定数の推定と有限要素法による検証/群馬大学 大学院理工学府 [学] 大芦 健太・前原 佑・齋藤 隆泰

平成30年8月30日(木) VI-9会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部MC204)

■9:00~10:20 検査・診断(11)

VI-446 ロッキング橋脚とヒンジを有する三径間下路プレートガーダーの変位測定/京橋ブリッジ株式会社 [正] 公門 和樹

VI-447 ICT技術を活用した道路付帯施設構造検査手法の研究/ヤマモト [正] 山本 浩司・小島 崇行・山岸 貴俊・岩崎 篤

VI-448 レーザー距離計と無線センサを用いたトンネルひび割れ計測の一検討/ジェイアール総研情報システム [正] 蒲地 秀矢・大木 祐介・津野 究・藤田 輝一

VI-449 ビン結合トラスの実態調査および今後の維持管理方法の提案/東日本旅客鉄道株式会社 [正] 立石 和也・露木 寿三・三宅 浩一郎・阿部 雄太

VI-450 鋼橋りょう腹板の局所的な孔食付近の発生応力に関する検討/東日本旅客鉄道株式会社 構造技術センター [正] 岡澤 亮太・吉倉 智宏

VI-451 X線応力測定法のコンクリート構造物中の鉄筋への適用可能性に関する検討/東京工業大学 [学] 曾川 宏彬・小田切 勝也・岩波 光保

VI-452 X線回折法による球状黒鉛鋳鉄の応力測定に関する要素試験/東京電力パワーグリッド [正] 尾崎 潤・阿南 健一・野末 秀和・吉本 正浩・小椋 明仁

■10:40~12:00 検査・診断(12)

VI-453 AEセンサを用いた打音検査システムによるメカニカルアンカ検査技術の開発4/原子燃料工業 [正] 小川 良太・岡本 智文・三宅 徹・清水 寛・磯部 仁博

VI-454 遮音壁の非破壊調査技術の開発/原子燃料工業株式会社 [正] 勾坂 充行・前田 良文・岡本 智文・松永 嵩・磯部 仁博

VI-455 損傷段階を模擬した鋼製フィンガージョイントの製作及び振動特性に関する研究/高速道路総合技術研究所 [正] 岩吹 啓史・中崎 邦夫・矢部 明人

VI-456 巡回車を利用した鋼製フィンガージョイント変状検知手法に関する基礎的研究/構造計画研究所 [正] 矢部 明人・岩吹 啓史・中崎 邦夫

VI-457 ハンマ打撃により標識支柱の残存板厚推定に関する実験的検討/日東建設株式会社 [正] 久保 元樹・久保 元・福士 悠斗

VI-458 鋼床版Uリブから発生するデッキ進展き裂に対する超音波探傷ロボットの開発/首都高速道路技術センター [正] 村野 益巳・平野 秀一

VI-459 鋼橋支点多モニタリングシステムの開発/東日本旅客鉄道株式会社 [正] 関 玲子

平成30年8月31日(金) VI-9会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部MC204)

■9:00~10:20 検査・診断(13)

VI-460 トンネル覆工コンクリートのひび割れ目視形状によるはく落危険性評価に関する基礎的検討/[正] 林 詳悟・山本 達哉・全 邦釘・林 和彦

VI-461 安房トンネル換気立坑点検の取り組みについて報告/中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株) [正] 中村 尚武・伊東 剛・堀 隆一

VI-462 ラス網等により覆われた道路トンネルの健全度評価/日本工営 [正] 沢田 陽佑・權納 拓央

VI-463 亜熱帯島嶼環境である沖縄における鋼管柱腐食劣化診断の有効性について/大日本コンサルタント株式会社 [正] 中池 竜司・田代 大樹・平野 貴之・本田 博幸・河合 浩二

VI-464 亜熱帯島嶼環境である沖縄における赤外線調査の有効性について/大日本コンサルタント株式会社 [正] 平野 貴之・田代 大樹・中池 竜司・本田 博幸

VI-465 亜熱帯島嶼環境下において塩害劣化が生じたPC橋の載荷試験による耐荷力検討/大日本コンサルタント株式会社 [正] 田代 大樹・本田 博幸・平野 貴之・中池 竜司

VI-466 システム化による橋梁たわみ計測の効率化/TTES [正] 菅沼 久忠・木下 幸治・佐々木 良輔・梅川 雄太郎・比山 義郎

■10:40~12:00 橋梁(3)

VI-467 ハイブリッドセグメント桁による黒石嶋橋の改良について/日本ピーエス九州支店 [正] 中井 太樹・安藤 尚広・福山 孝徳

VI-468 多軸式特殊台車を用いた国道上空での鉄道鋼複合橋りょうの架設/大成建設 [正] 亀田 哲平・三坂 浩昭・徳永 光宏・永里 良平

VI-469 北陸新幹線、福井高柳高架橋他工事の押し出し架設について/株式会社 熊谷組 [正] 戸田 仁史・玉本 学也・菅原 外士男・柳沢 義貴・丹羽 克斗

VI-470 550t吊クレーンを用いた既設入路桁の一括撤去/阪神高速道路(株) [正] 若槻 晃右・山本 利史・山中 利明

VI-471 工程短縮を目的とした供用中の高速道路拡幅工事におけるプレキャスト壁高欄採用/大林組 [正] 米森 輝・右高 裕二・兼丸 隆裕・齋藤 隆

VI-472 銀座線渋谷駅改良工事における第2回線路切替工事/東京地下鉄株式会社 [正] 西川 祐・下野 順也・北村 太

■13:00~14:20 橋梁(4)

VI-473 小規模支取替時における簡易的な反力管理方法/首都高メンテナンス西東京 [正] 岩瀬 貴弘

VI-474 ロッキング橋脚を有する橋梁の耐震補強/西日本高速道路 [正] 朽木 正喜・佐溝 純一

VI-475 孫崎高架橋(多数主桁I桁橋)の長期防食対策/本州四国連絡高速道路株式会社 [正] 佐々木 翔太・北川 竜三・長尾 幸雄

VI-476 長大エクストラードーズ橋の主塔並びに斜材の施工/西日本高速道路株式会社 [正] 前原 直樹・新庄 皓平・水谷 正樹・深澤 俊雅

VI-477 PCグラウトの注入計測および充填計測の一元化による管理/銭高組 [正] 角田 晋相・告中 修平

VI-478 東海道こ線路橋H鋼埋込桁内コンクリート打設後のキャンパー計測一計測結果報告/大成建設 [正] 田口 敦士・嘉村 達司・青木 貴志・田邊 潔志

平成30年8月29日(水) VI-10会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部MC208)

■10:40~12:00 橋梁(1)

VI-479 長大PC斜張橋の分割施工における諸検討/清水建設株式会社 [正] 今井 通平・栃木 謙一・小林 顕

VI-480 施工時に交通振動を受けるコンクリートの鉄筋付着力について/株式会社大林組 [正] 富井 孝喜・浅井 貴幸・鈴木 義章・大島 優・梶原 尚平

VI-481 既設橋梁拡幅工事における連結床版部への高流動コンクリートの適用/(株)大林組 [正] 梶原 尚平・富井 孝喜・大島 優・浅井 貴幸・鈴木 義章

VI-482 パイプクーリングによる温度ひび割れ抑制効果について/[正] 吉田 匠吾・川勝 雄介・野村 朋宏

VI-483 桂沢ダム8号橋(PC上部工)における厳冬期施工/清水建設株式会社 [正] 藤井 彰・木谷 一貴・齋藤 浩・中島 穰・田中 雄也

VI-484 高炉セメントを用いたRCラーメン高架橋の施工管理-長崎高架-/JR九州コンサルタント株式会社 [正] 村上 昌彦・亀田 正隆・岩井 久

■15:20~16:40 橋梁(2)

VI-485 斜角および曲率を有する2径間連続H鋼埋込桁におけるねじり剛性の評価に関する検討/大成建設株式会社 [正] 山田 飛鳥・細谷 学・宮平 永哉・三坂 浩昭・徳永 光宏

VI-486 張出し施工における曲線橋の挙動管理について/東急建設 [正] 関 洗志・前田 欣昌・山川 卓也・新福 浩之・野村 泰由

VI-487 インドネシアで初めて適用された剛壁面を有する盛土補強土擁壁の施工報告/東急建設株式会社 [正] 富田 佑一・野村 泰由・徳留 修・宮隆 和人

VI-488 落下物防止柵と転落防止網を兼用したアルミ合金製蓋板の開発/高田機工株式会社 [正] 山本 貴之・佐合 大・喜谷 健太郎・菅井 健太

VI-489 吉野川大橋(仮称)架設桁の設計について/鹿島建設 [正] 村井 悠・今村 タケヒロ・宮本 利光・池田 裕哉

VI-490 厳しい制約条件下における高速道路のノージョイント化工事/株式会社大林組 [正] 山角 康樹・右高 裕二・兼丸 隆裕・齋藤 隆

平成30年8月30日(木) VI-10会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部MC208)

■9:00~10:20 建設マネジメント(1)

VI-491 AR(拡張現実)技術を活用した土木構造物の維持管理教育用アプリケーションの導入/[正] 伊藤 聡・榎谷 祐輝・諸橋 由治・尾形 正則・青山 朋康

VI-492 災害時の初動体制の確立を目的とした無人化施工訓練について/東亜コンサルタント株式会社 [正] 谷口 亮太・堤 宏徳・岡崎 敏・吉田 貴・中濃 耕司

VI-493 シニア社員に対する3次元モデリング研修の実施/東急建設 土木事業本部 事業統括部 [正] 水野 麻香・小島 文寛・井出 進一

VI-494 建設事業におけるポートフォリオマネジメントの活用状況に関する一考察/国際航業 [正] 下池 季樹

VI-495 北陸地方におけるプレキャストコンクリート製品の有効活用への取り組みについて/[正] 長崎 文博・丸山 久一・諸橋 通夫

VI-496 港湾における係船岸の構造諸元に関する現状整理/[正] 竹信 正寛・岡元 渉・宮田 正史・井山 繁・菅原 法城

VI-497 建設発生土の有効かつ適正利用促進のためのトレーサビリティシステムの開発/一般財団法人先端建設技術センター [正] 高野 昇・新妻 弘章・大竹 利幸・松橋 宏明

■10:40~12:00 建設マネジメント(2)

VI-498 復興事業におけるCMRのモチベーション構造の検討/建設技術研究所 [正] 堀 仁・渡邊 法美

VI-499 CM方式を適用したトンネル(NATM)建設の工期短縮事例/株式会社 大林組 [正] 山中 博登・西 彰一・北村 肇

平成30年度土木学会全国大会 第73回年次学術講演会プログラム

第6部門

- VI-500 大規模災害・復旧事業に備えた官民連携体制の構築手法に関する調査／[正] 中洲 啓太・中尾 吉宏・島田 浩樹
- VI-501 安来地区電線共同溝PFI事業の概要／パシフィックコンサルタンツ株式会社 [正] 吉川 泰代・平野 幹人・村松 和也・仲 篤史
- VI-502 EPC契約方式を適用した海外火力発電事業における技術的課題に関する一考察／中国電力株式会社電源事業本部建設土木グループ [正] 篠田 龍一・山本 健太・鎌正 慎介・斎藤 直
- VI-503 ポンプ場大規模更新工事におけるDB方式による事業合理化事例／大林組 [正] 坂平 佳久・浮田 悦男・有吉 隆宏・高下 達也
- VI-504 総合評価落札方式の施工能力評価型（I型、II型）における改善方針について／国土技術政策総合研究所 [正] 島田 浩樹・中尾 吉宏・富澤 成実

平成30年8月31日（金） VI-10会場（北海道大学札幌キャンパス 工学部MC208）

■9:00～10:20 建設マネジメント(3)

- VI-505 若手土木技術者の育成を目的としたOJTの実践／前田建設工業 [正] 工藤 敏邦・手塚 広明・嶋木 利哉・竹内 淳一
- VI-506 異分野出身者に対する土木技術者への再教育の貨幣価値評価／高島テクノロジーセンター [F] 和久 昭正
- VI-507 2017年の土木学会認定CPDプログラム状況について～継続教育実施委員会活動報告～／大成建設 [F] 尾高 義夫・竹村 次朗・中島 敬介
- VI-508 建設業従事者の内発的動機付けに関する一考察／高知工科大学 [正] 渡邊 法美・王 玲玲
- VI-509 建設業における退職自衛官の雇用に関する調査／大同大学 [正] 木全 博聖・家田 雄基
- VI-510 日韓ゼネコンにおける海外人材戦略の比較分析／鹿島建設 [正] 松林 周磨・井上 聰史・家田 仁
- VI-511 ODAに参加する技術者の満足感とモチベーションに関する考察／八千代エンジニアリング(株) 国際事業本部 [正] 横倉 順治

■10:40～12:00 建設マネジメント(4)

- VI-512 軟弱地盤上の盛土で実践した技術革新に必要なマネジメント／中日本高速道路株式会社 [正] 稲垣 太浩・加藤 陽一
- VI-513 建設業の生産性向上を目的としたブレキャスト評価方法の提案／鹿島建設 [正] 松永 光示・堂本 聖司・江上 眞
- VI-514 南海トラフ巨大地震発生時における大阪湾圏沿岸主要道の物流機能低下リスクに関する評価／神戸市立工業高等専門学校 [正] 宇野 宏司・柿木 哲哉
- VI-515 トンネル切羽前方探査におけるリスクマネジメント手法の適用／安藤ハザマ [正] 大沼 和弘・中谷 匡志
- VI-516 計画・設計段階から考える工事安全の海外の法制度と効果／労働安全衛生総合研究所 [正] 大滝 勝利・吉川 直孝・平岡 伸隆・豊澤 康男
- VI-517 ポスト 2020のシビル産業とみんながグローバル シビルエンジニアへ向けて（その4）～SDGsとアフリカのインフラ整備のあり方～／東海コンサルタンツ [F] 西 満幸
- VI-518 海外工事における争議処理条項の重要性について “擬制変更を崩しつつある事例を通して”／前田建設工業株式会社 [F] 酒井 照夫

■13:00～14:20 建設マネジメント(5)

- VI-519 VEを適用した道の駅の機能分析／パシフィックコンサルタンツ [正] 木守 岳広・鹿角 豊
- VI-520 市民協働による地域の課題解決のための実践的手法の提案／東洋大学 [正] 二宮 仁志・渡邊 法美
- VI-521 構造維持管理現況とデータ管理解析ブロックチェーン導入検討の基礎的考察／コンクリート基礎学研究室 [正] 桜井 宏・岡田 包儀・日置 晋時・鈴木 明人・佐伯 昇
- VI-522 地球環境対策のための廃棄物最終処分施設確保と持続的運営方向性考察／北見工業大学 [正] 岡田 包儀・桜井 宏・日置 シンジ・鈴木 明人・佐伯 昇
- VI-523 累計労働者数に着目したインフラ維持保全のあり方に関する検討／清水建設株式会社 [正] 橋本 三智雄・井上 聰史・稲村 肇・家田 仁
- VI-524 地層処分エンジニアリング統合支援システム（iSRE）の開発（その6）／八千代エンジニアリング株式会社 [正] 沼田 太郎・藤澤 泰雄・羽根 幸司・杉田 裕・藤山 武志
- VI-525 地層処分エンジニアリング統合支援システム（iSRE）の開発（その7）－iSREの実用化に向けたプロトタイプの試運用－／鹿島建設株式会社 [正] 羽根 幸司・佐原 史浩・杉田 裕・藤山 武志・矢吹 信喜

■14:40～16:00 建設環境

- VI-526 仮設沈砂池への傾斜板機構の活用／鹿島建設 [正] 小川 浩司・赤坂 秀次・山口 弘之・末吉 隆信・石井 大介
- VI-527 油汚染浄化における土壌ガス（CO₂）の測定と現場管理指標としての適用性に関する基礎的実験／株式会社熊谷組 [正] 河村 大樹・佐々木 静郎・中村 孝道
- VI-528 凝集効果が長期間持続する固形凝集剤による濁水処理方法／大林組エンジニアリング本部環境技術第二部 [正] 山崎 啓三・黒岩 正夫・高田 尚哉・三浦 俊彦・小野 亮正
- VI-529 寒冷地におけるエコスタック設置がもたらす生態系保全機能の特徴と変遷／鹿島建設 [正] 越川 義功
- VI-530 カルシア改質材とPS灰系改質材を用いた高含水浅土の改質／五洋建設 [正] 浜谷 信介・田中 裕一
- VI-531 フライアッシュを海砂代替材として使用した実機練りコンクリートの品質／高知工業高等専門学校 専攻科 [学] 田村 大地・山口 幸大・横井 克則・近藤 拓也

- VI-532 蒸気圧破砕薬剤による有機物汚染土壌の浄化方法の基礎研究／日本工機 [正] 村田 健司・米澤 新・鹿住 孝

平成30年8月29日（水） VI-11会場（北海道大学札幌キャンパス 工学部MC213）

■10:40～12:00 施工技術(1)

- VI-533 現場モニタリングによる空洞充填効果の確認／飛鳥建設株式会社 [正] 宮沢 義博・杉浦 乾郎・和田 幸二郎・田野 久貴・藍壇 オメル
- VI-534 キラ充填工法に用いる充填材の基本性能に関する研究／飛鳥建設 [正] 山本 孝男・杉浦 乾郎・坂本 昭夫・石合 伸幸・宮沢 義博
- VI-535 水平高圧噴射攪拌混合による実橋台橋台背面盛土での実証的検討／前田建設工業株式会社 [正] 川西 敦士・山内 崇寛・近藤 政弘・阪東 聖人
- VI-536 ベントナイト混合土を用いた補強土壁による調整池堤体の施工／株式会社熊谷組 首都圏支店 [正] 上田 高輝・山口 哲司
- VI-537 異なる破砕混合方式による事前混合処理工法の改良実績について／日本国土開発 [正] 高垣 豊・四宮 圭三
- VI-538 残土搬出における火山灰質粘性土に対する石灰改良材の検討／建設会社 [正] 三浦 桂子・野口 彰・森山 信・羽根 浩史

■15:20～16:40 施工技術(2)

- VI-539 CSM機導入時の岩に対する掘削性能試験／九州大学 [正] 佐久間 誠也・前原 一稀・島田 英樹・笹岡 孝司
- VI-540 都市部におけるBH工法での障害撤去と土留め杭の施工実績／鹿島建設株式会社 [正] 星野 恭平・橋口 弘明・山中 耕太郎・森 暢典
- VI-541 鋼管杭回転圧入工法における施工技術／東鉄工業 [正] 紙尾 隆志・狩野 正・高瀬 誠司
- VI-542 新設雨水渠干渉箇所での仮設立坑計画／ [正] 中谷 篤人・小橋 保仁・上仲 亮・大田 寛・広地 豪
- VI-543 木片混入地盤における鋼管矢板中掘圧入（ドリリングプレス）工法の施工実績／清水建設(株) [正] 白田 隆一郎・川島 恵介・山本 将由
- VI-544 気泡ソイルセメント安定液の分離抵抗性について／早稲田大学理工学術院 [学] 大山 哲也・赤木 寛一・若松 大幹

平成30年8月30日（木） VI-11会場（北海道大学札幌キャンパス 工学部MC213）

■9:00～10:20 施工技術(3)

- VI-545 営業線軌道直下低土被り部におけるR&C工法の施工／西松建設株式会社 [正] 中村 浩・宇都 智治
- VI-546 低発熱型高流動コンクリートの配合検討（経時品質保持特性向上）／大鉄工業 [正] 岡崎 光宏・小椋 裕彰
- VI-547 函体推進工法における箱型ルーフ施工時の沈下予測解析および実測結果との検証／竹中土木 [正] 柿澤 雅樹・桐ヶ谷 大・井本 優・今井 政之・市川 晃央
- VI-548 盛土構造の高速道路直下における礫対応小口径推進工法の施工／竹中土木 [正] 井本 優・桐ヶ谷 大・柿澤 雅樹・今村 哲也・橋ヶ谷 直之
- VI-549 超速硬化ウレタン防水材を用いた地下コンクリート構造物の保護・防水工事／AGCポリマー建材 [正] 近藤 飛雅・橋口 弘明・上木 泰裕・盛岡 義郎
- VI-550 硬質地盤におけるオープンケーソン沈設不能トラブルへの対応／佐藤工業 [正] 児玉 ひと美・倉田 学

■10:40～12:00 施工技術(4)

- VI-551 高流動コンクリートを用いた逆打ちコンクリート打設工法の施工実績／鹿島建設株式会社 [正] 竹内 業史・松本 修治・戸川 敬・古賀 新太郎・松川 直史
- VI-552 工期短縮にむけた盛替梁の削減検討／清水建設株式会社 [正] 上仲 亮・高橋 博威・大西 孝典・永峯 崇二
- VI-553 地中構造物に配慮した路面覆工の設計についての一考察／清水建設株式会社 [正] 前田 周吾・大塩 隆・赤松 諒亮・永峯 崇二
- VI-554 高盛土における高耐圧ポリエチレンバイパスバルブの変形対策工の設計／清水建設(株) 名古屋支店 [正] 管 和暁・藤田 宗寛・宇山 有士
- VI-555 高盛土における高耐圧ポリエチレンバイパスバルブの変形対策工の施工／清水建設(株) 名古屋支店 [正] 宇山 有士・太田 和政・管 和暁・小林 武・小柳 直哉
- VI-556 フィルム用長尺防水シートの開発と急速工法／株式会社東宏 [正] 小林 雅彦・波多野 卓・眞下 正人

平成30年8月31日（金） VI-11会場（北海道大学札幌キャンパス 工学部MC213）

■9:00～10:20 施工技術(5)

- VI-557 軽量・コンパクトな圧入機による杭基礎施工が可能な「スキップロック工法」／技研製作所 [正] 宮之内 朋子・古市 秀雄
- VI-558 既設送電用鉄塔の元位置建替工事における超低空頭場所打ち杭工法の適用／鉄建建設 [正] 竹田 茂嗣・横山 敦
- VI-559 狭隘な施工空間において近接施工となる深礎施工方式の工夫／鴻池組 [正] 村下 富雄・吉田 祥二・上村 健太・山下 省二
- VI-560 支層上面の深さが急変する場所における橋脚基礎の施工／鴻池組 [正] 山下 省二・村下 富雄・吉田 祥二・上村 健太
- VI-561 都市部河川内でのPCウェル工法による橋脚基礎の施工／鴻池組技術本部土木技術部 [正] 神田 勇二・仁保 夏妃・平田 学

平成30年度土木学会全国大会 第73回年次学術講演会プログラム

第6部門

VI-562 軟弱地盤における木杭の活用事例と支持力評価の一考察/熊谷組 [正] 山口 哲司・鈴木 雄吾・渡部 博一・中出 剛・水谷 真琴

■10:40~12:00 施工技術(6)

VI-563 ウォータージェットを利用した既設管路引き抜き撤去工法の開発と適用事例/関電工 [正] 絹山 将広・浜田 裕一・染谷 知良・中島 陽

VI-564 地中砂埋めトラフに収容された電力ケーブルの撤去工法開発【その1】/[正] 吉本 正浩・鬼頭 和希・井口 昌之・石神 秀行

VI-565 地中砂埋めトラフに収容された電力ケーブルの撤去工法開発【その2】/関電工 [正] 井口 昌之・坂本 幸隆・吉本 正浩・鬼頭 和希

VI-566 大型風車組立リフトアップ工法「ウインドリフト」の開発/[正] 江副 誉典

VI-567 小型電動式二重管削孔機の開発【その2】/関電工 [正] 坂本 幸隆・赤羽 俊彦・鈴木 裕明・高橋 茂・齋藤 正行

VI-568 中断面トンネルにおける連続ベルトコンベヤシステムの採用/佐藤工業株式会社 [正] 坂田 充義・合歡垣 誠司・進邦 康成

■13:00~14:20 施工技術(7)

VI-569 回転機構を有する矩形先端ホースの開発と適用/鹿島建設 [正] 内田 拓史・高田 丈夫・曾根川 大治

VI-570 人間工学に基づいた軽量設計「バッテリー式ウェアラブルバイブレータ」の開発/鹿島建設 [正] 戸削 毅・林 大介・川崎 文義・横関 康祐・曾我部 直樹

VI-571 気泡を用いた解体騒音低減装置の開発および現場実証実験/大林組技術研究所 [正] 本田 泰大・池上 雅之・木村 志照・渡辺 充敏

VI-572 継手取替工事の騒音低減と効率化の実験的研究/(一財)首都高速道路技術センター [正] 繪場 武史・岡部 次美・小野 秀一・飯塚 明彦

VI-573 新規濁水処理システムの開発【その1】~環境調和型高性能ハイブリッド凝集材の開発~/(株)フローリック コンクリート研究所 [正] 山口 貴史・林 文慶・平戸 祐之・金 愛菜夢・中野 博人

VI-574 新規濁水処理システムの開発【その2】/鹿島建設 [正] 中山 友輝・末吉 隆信・小川 浩司・山田 英樹・森部 紀晴

VI-575 プロペラ式湖水浄化装置による貧酸素水域の改善効果について/ゼニヤ海洋サービス [正] 川本 靖行・西田 秀紀・福田 精一・黒岩 正光・高橋 定雄

■14:40~16:00 施工技術(8)

VI-576 支保部修繕における仮受設備の施工/東鉄工業 [正] 鶴田 圭亮・牧田 教一・根本 晴透

VI-577 営業線における既設線省力化用路盤改良工法の試験施工/鉄道総研 [正] 伊藤 孝記・桃谷 尚嗣・木次谷 一平・神津 大輔・栗原 巧

VI-578 井桁特殊まくらぎの性能確認試験/東日本旅客鉄道(株) [正] 谷村 特規・小泉 秀之・安岡 洋史

VI-579 線路下横断工による駅構内自由通路整備における工事術一括撤去について/東日本旅客鉄道株式会社水戸支社設備部 [正] 内藤 孝和・石井 政浩・千波 政志・草野 英明

VI-580 軽量盛土を活用した両毛線あしかがフラワーパーク駅建設に関する施工技術/東鉄工業 [正] 國富 大起・鴨志田 祥子

VI-581 進行性のある鉄道切土斜面大崩落現場の復旧対策工事について/仙建工業 [正] 鈴木 利庸・伊藤 克廣・阿部 哲也

平成30年8月29日(水) VI-12会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部M214)

■10:40~12:00 施工技術(9)

VI-582 富山ライトレール近接施工における下部工掘削工事(MJS工法)について【その1】~八田橋(上流側)架替工事~/佐藤工業・日本海建興・角地建設JV [正] 岩瀬 憲生・関 和之・柿木原 幸司・今井 達矩

VI-583 富山ライトレール近接施工における橋梁工事【その2】ポータルラーメン構造のプレビーム橋の施工/佐藤工業 [正] 勝見 哲史・関 和之・柿木原 幸司・今井 達矩

VI-584 蓋コンクリート打設前における波浪作用によるケーソン中詰材の流出検討/東洋建設 [正] 橋本 崇志・山野 貴司・加瀬 隆文・加藤 満・小池 祐太郎

VI-585 ICTを利用した護岸改修工事での安全確保事例/株式会社 大林組 [正] 上原 郷・山浦 克仁・富所 宏多・宮澤 哲也・玉城 洋一郎

VI-586 道路埋設物に近接した地中連続壁の施工について/大成建設 [正] 桑本 寛之・岡田 龍二・福田 隆二・津田 由治・大宮 和樹

VI-587 ウレタン吹付塗膜防水の先防水と後防水取合部の施工方法に関する検討/清水建設株式会社 [正] 三木 浩・宮岡 香苗・大田 寛・宗像 慎也

VI-588 軟弱地盤上のICT(インターチェンジ)盛土工事における地盤改良工の施工/東急建設株式会社 [正] 的場 一孝・木下 豊・野中 隆博

■15:20~16:40 施工技術(10)

VI-589 グラウトホースを用いたバイブケーリングの効果と検証/三井住友建設 [正] 寺門 直之・吉野 正道・濱本 泰弘・斉藤 萌子

VI-590 シース管を用いた注水併用エアケーリングの適用事例/熊谷組 土木事業本部 [正] 神田 裕史・山口 哲司・神崎 恵三・杉村 修・赤石 圭治

VI-591 橋梁上部工柱頭部における部分バイブケーリングのひび割れ抑制効果/安藤ハザマ [正] 栗原 浩彦・土居 航・佐成屋 淳・白岩 誠史・室岡 俊和

VI-592 橋台における部分バイブケーリングのひび割れ抑制効果の確認/安藤ハザマ [正] 政岡 龍司・杉浦 規之・佐々木 照夫・白岩 誠史・河上 伸一

VI-593 液体窒素および鉛直バイブケーリングを併用した温度ひび割れ対策/東急建設 [正] 鳥井 陽介・柳原 将・早川 健司・村田 和哉

VI-594 液体窒素クーリングにおける白煙発生メカニズムと対策/飛鳥建設 [正] 橋島 修・小林 剛・川里 麻莉子

VI-595 低発熱型セメントが増粘剤系高流動コンクリートの基礎性状に与える影響に関する実験的検証/戸田建設 [正] 新谷 岳・田中 徹・土師 康一・澤村 淳美

平成30年8月30日(木) VI-12会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部M214)

■9:00~10:20 施工技術(11)

VI-596 橋梁高欄へ適用した水分分散抑制養生の効果/[正] 柿本 啓太郎・渡邊 賢三・吉田 祐麻・戸張 正利・岡本 裕昭

VI-597 コンクリート打設管理ソリューションによる品質管理の実施について/熊谷組 [正] 小澤 里佳・坂部 光彦・神崎 恵三

VI-598 覆工コンクリートの施工目地部における改善案/長岡技術科学大学 [学] 鹿ノ内 漢介・的場 栄次・宇野 祥志城・下村 匠

VI-599 狭隘な作業空間におけるRC床版貫通ひび割れの補修/[正] 石崎 太聖・小林 真・永井 政伸

VI-600 埋設型枠を用いた橋脚施工における温度応力ひび割れリスクの検討/株式会社大林組 [正] 高橋 敏樹・齋藤 隆

VI-601 埋設型枠を用いた梁部材曲げ試験に対するFEM事後解析による検討/株式会社大林組 [正] 上野 高太・高橋 敏樹・齋藤 隆

VI-602 高耐久性埋設型枠を適用した橋梁下部工の急速施工報告/西松建設株式会社 [正] 岡本 将明・早川 裕介

■10:40~12:00 施工技術(12)

VI-603 既設地下導水路改修工事におけるプレキャスト製品使用事例/三菱マテリアル [正] 瀬永 宏之・巨知 琢也・貫井 孝治・福田 周司・丸田 雅晴

VI-604 既設地下導水路改修工事における大型プレキャスト製品の水平運搬事例/大林組 [正] 丸田 雅晴・巨知 琢也・貫井 孝治・瀬永 宏之・福田 周司

VI-605 シールド掘進と同時施工による避難通路工事の施工/大鉄工業 [正] 竹川 健太・陣野 員久・高科 浩之・天野 聡

VI-606 プレキャストコンクリートの表面気泡に及ぼす撥水性離型剤の効果/東海大学 [学] 山崎 竜治・大滝 朋・宇野 洋志城・伊達 重之

VI-607 プレキャスト部材適用による現場打ち2連ボックスカルバート施工の合理化について/大林組 [正] 豊嶋 宏幸・伊藤 智治・佐々木 徹・中徳 基哉・宇佐美 学

VI-608 シールドトンネル内の独立避難通路のプレキャスト化計画/清水建設 [正] 吉村 友李・大田 寛・宗像 慎也・荒木 尚幸・馬場崎 宗之助

平成30年8月31日(金) VI-12会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部M214)

■9:00~10:20 施工技術(13)

VI-609 型枠振動機を用いたコンクリート表層の品質向上に関する実験的検討/若築建設 [正] 小山 稔樹・秋山 哲治・濱田 秀則

VI-610 表層の品質向上を目的とした型枠振動機制御システムのコンクリート供試体への適用/若築建設 [正] 秋山 哲治・小山 稔樹・濱田 秀則

VI-611 電動チェーンブロック用ストローク計の開発とその応用に関する考察/鉄建建設株式会社 [正] 岩瀬 隆・古澤 晋司

VI-612 改築推進工法(リバースユース)を活用した通信管路撤去工事/アイレック技建 [正] 森 治郎

VI-613 ロボットにより余剰水を除去した土間コンクリートの品質向上に関する研究/須山建設株式会社 [正] 内山 重一・荻野 祐一・吉田 亮・佐光 大樹

VI-614 下水道狭隘函渠における天井用乾式掃掃装置の適用/(株)奥村組 [正] 石川 洋一・井手 宏樹・石井 敏之・木下 知樹

VI-615 端面掘削方式を用いた多段型掘削機試作のための掘削性能試験/呉工業高等専門学校 [学] 河相 拓真・重松 尚久・河村 進一・小田 登

■10:40~12:00 施工技術(14)

VI-616 勾配を有する大規模擁壁の施工足場に対する工夫/清水建設株式会社 [正] 佐々木 章・長澤 達朗・平井 孝幸

VI-617 “地下鉄駅改良工事が近接する鉄道シールドトンネルに与える影響について”/東京地下鉄株式会社 [正] 新井 泰・橋口 弘明・山中 耕太郎・今村 俊毅・津田 和夏希

VI-618 “三箇所同時掘削を伴う地下鉄改良工事が既設構築に与える影響について【その1】一日比谷線築地駅出入口設置工事”/東京地下鉄株式会社 [正] 橋口 弘明・塚越 力也・石井 久雄

VI-619 建築用タワークレーンのマスト接合部の強度に関する研究その3 繰り返し荷重実験/労働安全衛生総合研究所 [正] 高梨 成次・大幡 勝利・高橋 弘樹

VI-620 供用中の雨水ポンプ井内での耐震補強工事の実績/前田建設工業 [正] 福田 淳・佐藤 勲・日比野 義博・船本 悟史

VI-621 下水道施設耐震補強工事における現場添加型高流動化コンクリートの適用/(株)奥村組 [正] 高橋 太郎・井手 宏樹・石川 洋一・廣中 哲也

VI-622 地震発生直後における緊急輸送道を確保するための橋梁部の対策の事例について/仙建工業 [正] 大場 宏樹・佐々木 崇人・志子田 洋一

■13:00~14:20 施工計画(1)

VI-623 詳細構造が不明な線人道橋の撤去計画と実施~東海道本線熱田構内御田線人道橋撤去~/JR東海 [正] 中澤 聡美・船野 峻太

VI-624 乗換ご線橋トラス桁の下弦材の取替について/東鉄工業 [正] 小笠原 啓介

平成30年度土木学会全国大会 第73回年次学術講演会プログラム

第6部門

- VI-625 活線工法におけるトラス桁架設の施工管理/名工建設 [正] 金谷 義則
- VI-626 大ターミナル駅での場所打ち杭の施工計画/J R 東日本 東京工務事務所 新宿工区 [正] 増田 貴樹・谷野 良輔
- VI-627 高架橋工事における温度ひび割れに対する検討/東日本旅客鉄道 [正] 天野 和信・糸井 博之・富田 泰史
- VI-628 線路下の放水路ボックス新設工事に支障する流雪溝の復旧検討/東日本旅客鉄道株式会社 [正] 中島 純也・吉田 直人・村山 幾雄

■14:40~16:00 施工計画(2)

- VI-629 鋼管圧入機による既設鋼管矢板引抜施工/前田建設工業 [正] 藤井 伸司・古賀 誠司
- VI-630 中間堰本体改築工事一場所打ち杭の施工・品質管理/清水建設株式会社 [正] 根岸 大介・土井豆 聡之
- VI-631 開削工事における大口径管路工事の効率化について/佐藤工業株式会社 [正] 小林 道久・勝又 哲也
- VI-632 硬岩掘削補助工法の選定と実績/鹿島建設 [正] 江上 眞・堂本 聖司・小槻 敏広
- VI-633 L N G 地上式貯槽 P C 防液堤の施工に採用したコンポジット工法について/清水建設 [正] 小谷 龍矢・阿部 隆司・伊藤 暁
- VI-634 低土被り部の線路下横断工の施工事例/大林組 [正] 筒井 圭一・吉田 直人・村山 幾雄・中島 純也・北出 啓一郎
- VI-635 井戸の最適設置および運転条件設定アシストシステムの開発/鹿島建設 [正] 笹岡 里衣・中島 悠介・笹倉 剛・吉田 豊・松岡 永憲

平成30年8月29日 (水) VI-13会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部M215)

■10:40~12:00 CIM・GPS・リモートセンシング(1)

- VI-636 ラージモデルの座標系の考え方に関する検討/国際航業 [学] 福土 直子・井上 修・酒井 拓也・長谷川 充・有賀 貴志
- VI-637 自動運転用地図・ダイナミックマップ及び既存の道路地図の相互変換に関する研究/東京都市大学大学院 [学] 山田 美典・今井 龍一・谷口 寿俊
- VI-638 簡易計測データを元にした地下埋設物の三次元モデルの精度検証/(株) 竹中土木 [正] 岡本 健・新名 恭仁・高橋 恭子・今井 龍一
- VI-639 3Dプラットフォーム (MIM) の構築に向けたMMS点群データに関する検証/東日本旅客鉄道株式会社 研究開発センター [正] 栗林 健一・白崎 広和・齊藤 岳季
- VI-640 解析CIM統合システムによる三次元解析の生産性向上への取り組み/鹿島建設 [正] 上田 純広・山沢 哲也・大家 史
- VI-641 幾何公差を適用した3次元アノテーションモデルの提案/国土基盤モデル研究会 [正] 城古 雅典・森脇 明夫・宮本 勝則・有賀 貴志・矢吹 信喜
- VI-642 3次元配筋モデル構築の現状と課題/清水建設 [正] 増田 亜由子・土屋 雅徳・柳川 正和

■15:20~16:40 CIM・GPS・リモートセンシング(2)

- VI-643 汎用P C 化による建設生産性向上の可能性に対する一考察/パシフィックコンサルタンツ株式会社 [正] 渡邊 武志・黒台 昌弘・橋本 照政・西垣 重臣・江田 正敏
- VI-644 CIM-oriented 3Dモデルを起点とした土木構造物の設計手法/鹿島建設 [正] 山沢 哲也・上田 純広・大家 史
- VI-645 CIM導入に向けたRCボックスカルバート自動設計・積算ユニットの改良/東日本旅客鉄道(株) 東北工務事務所 [正] 小林 香野・小塩 美香・竹谷 勉
- VI-646 橋梁予備設計におけるCIM活用事例(設計における有効性と課題)/パシフィックコンサルタンツ [正] 高沢 優人・大儀 健一・松田 一史・長井 上・小浦 拓人
- VI-647 現場打ちコンクリートの新しい管理システムの進化(生コン工場連携)~コンクリート工事の品質向上及び生産性向上に向けて~/大成建設 [正] 豊田 由仁・北原 剛・橋詰 幸信・渡邊 高也
- VI-648 現場打ちコンクリートの新しい打重ね時間管理システム~コンクリート工事の品質向上及び生産性向上に向けて~/大成建設株式会社 [正] 石川 麻衣・豊田 由仁・北原 剛・渡邊 高也
- VI-649 生コン工場連携システムによる生コン打設時の更なる生産性向上~ 神戸市下水処理場躯体構築工事における導入事例~/大成建設 [正] 清水 理・橋本 論・後田 真里

平成30年8月30日 (木) VI-13会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部M215)

■9:00~10:20 CIM・GPS・リモートセンシング(3)

- VI-650 3次元モデルを用いた土量算出における最大モデルサイズの検討/群馬工業高等専門学校 [学] 石井 敦大・大橋 祥子・小林 雅人・先村 律雄
- VI-651 CIMを活用した高速道路の維持管理効率化検討/中日本高速道路 [正] 石田 篤徳・石井 麻貴・鬼東 大平
- VI-652 ICT盛土管理データと連動した盛土CIMの開発・適用事例/三井住友建設 [正] 湖山 美裕・草竹 真也・福田 智之・清水 雄一
- VI-653 道路設計における3次元モデルの試行導入について/東日本高速道路 [正] 山崎 洋大・市川 鶴之・門間 正孝
- VI-654 平成28年熊本地震による阿蘇大橋地区斜面对策工事におけるCIMを用いた施工/ [正] 佐藤 裕治・野村 真一・石濱 茂崇
- VI-655 のり面工事における空撮画像及び3次元モデルの施工管理への活用/日特建設株式会社 [正] 藤田 哲・宇次原 雅之・若井 明彦

- VI-656 阪神高速の管理資料の情報取得効率向上を目指した高度化の取り組み/阪神高速技研株式会社 [正] 森田 卓夫・橋本 博・竹重 和馬

■10:40~12:00 CIM・GPS・リモートセンシング(4)

- VI-657 4Dモデルを用いた山留架橋の省力化による構築工程の短縮/前田建設工業(株) [正] 福生 秀・落合 秀和・馬場 省伍
- VI-658 3次元モデルを活用した営業線近接工事一鉄道仮橋梁(トラス桁)横取架設の事例/株式会社鴻池組 [正] 早川 佳秀・永井 久徳・宇都本 彰夫・小出 泰弘・盛岡 宇
- VI-659 銀座線渋谷駅改良工事におけるCIMを用いた施工計画と情報共有/東急建設都市開発支店 [正] 江本 ゆり・小島 文寛・山谷 康彦・池田 仲裕・糸田川 由美
- VI-660 小石原川ダム建設事業におけるCIMの活用事例/水資源機構 [正] 宮崎 智也・有馬 慎一郎
- VI-661 設計施工段階における水門構造物の品質向上に対する検討/パシフィックコンサルタンツ株式会社 [正] 高野 和成・木下 歩・滝沢 友吾・森脇 清文・天野 紀
- VI-662 施工管理におけるVR技術の活用について/清水建設 [正] 小野澤 龍介・原 忠・前田 俊宏・山岸 睦功・塚田 裕史
- VI-663 港湾工事におけるCIMの導入検証/五洋建設株式会社 [正] 寺村 和久・石田 仁

平成30年8月31日 (金) VI-13会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部M215)

■9:00~10:20 CIM・GPS・リモートセンシング(5)

- VI-664 切羽画像から抽出した地層境界面の三次元モデルへの取込みと活用例/鹿島建設(株) [正] 手塚 康成・藤原 大介・小林 真吾・伊藤 文香・山根 裕
- VI-665 切羽前方探査のトンネルCIMへの組み込みと有効活用について/株式会社フジタ [正] 村山 秀幸・新井 智之・徳永 高志・三上 浩・藤倉 孝明
- VI-666 急崖斜面での斜交型トンネル坑口における3次元モデルの活用事例/(株) 熊谷組 [正] 天下井 哲生・伊藤 省二・中出 剛・志水 政弘
- VI-667 トンネル出来形管理のICT化/株式会社奥村組 [正] 高尾 篤志・倉田 桂政・塚本 勝幸・井関 貞之・宮田 岩住
- VI-668 削孔データによる地山評価システム/佐藤工業株式会社 [正] 畑井 達太郎・石井 誠・平山 保彦・辻本 剛士
- VI-669 大深度オープンケーソン施工におけるICTの活用について/安藤・間 [正] 岡本 會里・増田 浩二・ヤギ 芳行・朔川 幸司・石田 主税

■10:40~12:00 CIM・GPS・リモートセンシング(6)

- VI-670 1周波RTKシステムの基礎性能試験/群馬工業高等専門学校 [正] 先村 律雄・半谷 一晴・小林 雅人・大橋 祥子
- VI-671 出来形管理に適用するためのGPSとQZSSの使用条件に関する検討/日本大学大学院 [学] 酒井 昂紀・佐田 達典・江守 央
- VI-672 準天頂衛星の増加に伴うGPS測位の精度変化の検証/日本大学 [学] 中島 和希・佐田 達典・江守 央・酒井 昂紀
- VI-673 準天頂衛星を活用した除雪車運転支援システムの開発/東日本高速道路(株) 北海道支社 [正] 小松 正宏・伊藤 俊明
- VI-674 航空レーザ測深による沿岸域の地形測量の適用性検討/中部電力株式会社 [正] 上原 史洋・田中 良仁・川越 泰・金田 真一
- VI-675 レインボーブリッジにおける水中部の3計測検討/国士舘大学 [正] 津野 和宏・佐久間 マサアキ・西端 智洋
- VI-676 大規模土工における地上設置型合成開口レーダによるのり面計測/安藤ハザマ [正] 中谷 匡志・大沼 和弘・宇津木 慎司・佐藤 源之

■13:00~14:20 ロボット・自動化・情報化施工(5)

- VI-677 UAVを活用したコンクリート床版下面墨出し作業の省人化工法/竹中土木 [正] 平井 卓・倉知 星人
- VI-678 コンクリート自動締固め管理システムの開発/株式会社 竹中土木 [正] 倉知 星人・千葉 力・原科 実・田中 善之・藤原 伸輝
- VI-679 自動制御による簡易パイプクーリングシステムの開発/みらい建設工業株式会社 [正] 石原 慎太郎・山本 隆信・小平 浩二・志田 和人・熊井 崇
- VI-680 ITパイプレーターシステムの開発/大成建設株式会社 [正] 高橋 要・石井 喬之
- VI-681 AI画像診断によるコンクリート表層品質評価/日本国土開発株式会社 [正] 佐野 健彦・佐原 晴也・武田 祐二・寺下 修平・米谷 朋恵
- VI-682 地上型レーザースキャナーを用いた舗装出来形計測方法の検討および実施事例/奥村組土木興業 [正] 梅宮 利之・藤森 章記・井畑 雅之・利光 吉紀
- VI-683 地上型レーザースキャナーを用いた舗装出来形管理の現場適用方法の検討/奥村組土木興業 [正] 谷 義経・藤森 章記・井畑 雅之・富永 孝太

■14:40~16:00 ロボット・自動化・情報化施工(6)

- VI-684 HMDを用いた臨場型遠隔映像システムの開発/大成建設 [正] 加藤 崇・西田 与志雄・香川 純成
- VI-685 ケーソン据付自動・無人化技術の肺活と運用/東洋建設株式会社 [正] 渡瀬 陽信・和田 眞郷・加藤 直幸
- VI-686 パケット一体型地中レーダシステムによる掘削面下の埋設物イメージング/群馬大学 [正] 三輪 空司・鈴木 智洋・高根沢 彰兵
- VI-687 不整地運搬車(クローラキャリア)の自動走行技術の開発/熊谷組 [正] 坂西 孝仁

平成30年度土木学会全国大会 第73回年次学術講演会プログラム

第6部門

- VI-688 鋼板運搬設置用マニピュレータの検討/竹中土木 [正] 大村 啓介・駒井 秀治・川崎 達哉・倉知 星人・シュレスタ ジャスティン
- VI-689 地盤条件と水中部トリアクビリティの関係性について/ [正] 山田 充・梶田 洋規・藤野 健一

平成30年8月29日(水) VI-14会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部アカデミックラウンジ3)

■10:40~12:00 ロボット・自動化・情報化施工(1)

- VI-690 大規模造成工事におけるAIコンストラクションの取組みについて/熊谷組 [正] 長田 佳之・林 将生・神崎 恵三・中村 圭
- VI-691 狭隘山間地環境でのI-COONによる路地盛土工事例/鹿島建設株式会社 [正] 小林 幸司・高橋 末広・河本 貴史・酒井 健博
- VI-692 ICT活用土工の現場適用性と課題/清水建設 [正] 仁義 水緒・太田 佳佑
- VI-693 ICT施工の工事進捗マネジメントの試行/一般社団法人日本建設機械施工協会施工技術総合研究所 [正] 藤島 崇・永沢 薫・荒閑 翠々・森川 博邦・杉谷 康弘
- VI-694 操作支援システムによる掘削状況確認の精度向上に関する一考察/国土交通省 国土技術政策総合研究所 [正] 杉谷 康弘・若林 康郎・岡島 朝治
- VI-695 自治体支援: 施工サイクル・施工体制の改善/一般社団法人 日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 [正] 伊藤 文夫・岩淵 裕・佐藤 丈志・近藤 弘嗣・久保 恭伸
- VI-696 フルメッシュネットワークを用いた仮設・構造物変状監視システムの開発/竹中土木 [正] 大坪 孝太郎・大村 啓介・小西 一生・藤田 行茂・福田 芳雄

■15:20~16:40 ロボット・自動化・情報化施工(2)

- VI-697 自律制御型振動ローラ操作性・視認性向上のためのユーザーインターフェース開発-一般盛土工事での実証-/ [正] 片山 三郎・青木 浩章・阿部 祐規
- VI-698 散乱型RI密度水分計による非接触計測の実験/大成建設株式会社 [正] 青木 浩章・片山 三郎・池永 太一・越村 聡介
- VI-699 測位機能を搭載した汎用型RI密度水分計の活用-締固め度計測システムの高度化-ソイルアンドロックエンジニアリング [正] 池永 太一・塩見 篤志・青木 浩章・越村 聡介
- VI-700 自動化振動ローラにおける軌道の自動生成および軌道追従制御/鹿島建設 [正] 田島 大輔・仲村 滋夫・浜本 研一・濱田 聖司・丸田 一郎
- VI-701 振動ローラの自動運転システムに関する実験報告/安藤・間 [正] 千野 雅紀・武石 学
- VI-702 盛土締固め管理におけるデータ交換標準の作成について/国立研究開発法人土木研究所 [正] 田中 洋一・梶田 洋規・藤野 健一
- VI-703 自律制御型不整地走行ロボットによる現場密度試験の自動化/竹中土木 [正] 千葉 力・大村 啓介・神山 和人・妻木 俊道

平成30年8月30日(木) VI-14会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部アカデミックラウンジ3)

■9:00~10:20 ロボット・自動化・情報化施工(3)

- VI-704 急曲線盛土区間における出来形ヒートマップの3Dモデル簡略化検証/西武建設株式会社 [正] 須長 真介・二村 憲太郎・金野 直樹・神保 楓美・井上 靖雄
- VI-705 生産性向上を目指した新たな面的出来形管理方法の検証/鹿島道路株式会社 [正] 下田 博文・桑田 直人・桑野 裕士・渋谷 武彦
- VI-706 MMSを用いたi-Construction出来形管理への適用検証/株式会社奥村組 [正] 宮田 岩往・石田 文直・手間本 康一・五十嵐 善一・安井 喜文
- VI-707 高精度測位を用いた支障物検知システムの適用/鹿島建設 [正] 本田 智昭・横尾 敦・明本 守正・佐藤 知則
- VI-708 渡瀬船の遠隔無人化施工支援システムの開発/あおみ建設株式会社 [正] 吉原 到・江原 広道
- VI-709 3次元データを用いた「デ・レイク導流堤」の復原/村本建設株式会社 [正] 高井 伸一郎・重安 満・村山 恭一
- VI-710 能代火力発電所3号機における既設構造物の変状管理を目的とした情報化施工/前田建設工業株式会社 [正] 佐藤 友哉・木地 稔・山内 崇寛・森 吉之・齋藤 隆矢

■10:40~12:00 ロボット・自動化・情報化施工(4)

- VI-711 建機追従型有線給電マルチコプターの開発/株式会社フジタ [正] 千葉 拓史・山本 新吾・坂井 郁也
- VI-712 重機旋回規制システムの開発/大成建設株式会社 [F] 森田 泰司・青木 浩章・片山 三郎・太田 八生
- VI-713 重機旋回規制システムの開発(旋回規制バックホウの現場運用)/大成建設 [正] 石田 桂子・水島 智・有働 敬天・森田 泰司・青木 浩章
- VI-714 車載カメラのみを利用した遠隔操作油圧ショベルの作業効率評価/土木研究所 [学] 山内 元貴・橋本 毅・藤野 健一
- VI-715 汎用遠隔操縦装置を用いた熊本城崩落石回収の無人化施工/大林組大阪機械工場 [正] 宮内 賢治・黒木 邦彦・森 一孝
- VI-716 無人化施工の運用に関する課題点と今後の無人化施工機器の開発方針について/(国研)土木研究所 [正] 橋本 毅・藤野 健一・梶田 洋規・油田 信一
- VI-717 予測画像による遠隔支援と遠隔操作建機の自動化について/鹿島建設株式会社 [正] 浜本 研一・三浦 悟・内村 裕・小木曾 公尚・西山 悠

平成30年8月31日(金) VI-14会場 (北海道大学札幌キャンパス 工学部アカデミックラウンジ3)

■9:00~10:20 測量(1)

- VI-718 音響画像を用いたダム湖水質変化の画像解析について/シーテック [正] 伊藤 真行・前田 浩伸・佐藤 大介
- VI-719 三次元画像を活用した盛土材粒徑計測方法の試験適用~その2~/竹中土木 [正] 椎葉 俊久・大村 啓介・小西 一生・東中 邦夫・藤田 行茂
- VI-720 1周波GNSSを用いた地下管路設備の位置計測に関する検証/株式会社TTK [正] 相澤 祐太・小口 傑・秋山 義弘・金山 守・山崎 靖久
- VI-721 LNG地上式貯槽におけるPC防液堤コンクリート施工時の側圧に関する現場計測報告/大林組 [正] 柳瀬 大輔・服部 直・伊藤 寛弥・山口 裕和・桜井 邦昭
- VI-722 雲南武易高速道路環境モニタリングシステムの開発/日本仮設株式会社 [正] 日向 洋一・劉 江宇・周 応新・汪 永林・苗 晟源
- VI-723 ARを活用した施工の生産性向上事例/株式会社大林組 [正] 山中 哲志・西 彰一・山中 孝文・杉浦 伸哉
- VI-724 施工管理業務を効率化する位置情報表示・取得システムの開発/竹中土木 [正] 四宮 みゆき・千葉 力・倉知 星人・吉田 真悟

■10:40~12:00 測量(2)

- VI-725 地上移動体搭載型レーザースキャナを用いた出来形管理に向けた基礎的研究/一般社団法人日本建設機械施工協会施工技術総合研究所 [正] 椎葉 祐士・桑野 裕士・藤島 崇
- VI-726 MMSによるトンネル出来形管理への適用検証/株式会社パスコ [正] 井関 禎之・五十嵐 善一・宮田 岩往・倉田 桂政・塚本 勝幸
- VI-727 地上移動体搭載型レーザースキャナによるトンネル3次元計測/佐藤工業 [正] 大田 清市・古口 弘泰・金子 公一
- VI-728 移動計測車両による法面モニタリング手法のための解析手法の精度検証/岡山大学 [学] 崎田 晃基・西山 哲・菊池 輝行
- VI-729 MMSによる切土法面での出来形測量における精度検証/安藤ハザマ [正] 木村 拓磨・早川 健太郎・黒台 昌弘・足立 有史・白石 宗一郎
- VI-730 新駅設置工事の出来形測定における3D点群データの活用について/西日本旅客鉄道株式会社 [正] 宮下 純平・大飼 洋平・平松 孝晋・政井 一仁・本間 雄一
- VI-731 鉄道敷地内における3D計測器搭載トロカ車による計測手法について/東日本旅客鉄道株式会社 [正] 大西 一陽

■13:00~14:20 測量(3)

- VI-732 UAVを活用した盛土の品質管理手法の提案/立命館大学 [正] 小林 泰三・藤原 美波・平 浩之・関家 史郎・後藤 政昭
- VI-733 非接触移動式RI測定器による盛土の品質管理手法の検討/ソイルアンドロックエンジニアリング [正] 後藤 政昭・池永 太一・小林 泰三・石井 正紀・松浦 良信
- VI-734 土工事のUAV写真測量による起工測量・出来形計測の実験/ [正] 宮辻 和宏・五十嵐 善一・今西 裕昭・間野 耕司・森島 章仁
- VI-735 複雑な盛土地形における標定点の省略化検証/西武建設株式会社 [正] 長谷部 恒夫・須長 真介・二村 憲太郎・井上 靖雄・金野 直樹
- VI-736 迅速な滑走路被害調査におけるUAV航測技術の適用/大成建設株式会社 [正] 石井 喬之・西村 直之・山本 康孝・江田 正敏
- VI-737 対空標識の形状工夫によるUAV写真測量技術の実証実験について/熊谷組 [正] 神崎 恵三・北原 成郎・石濱 茂崇・飛鳥馬 翼
- VI-738 林地でのUAVレーザ測量によるDEMの取得/清水建設 [正] 金子 拓己・水野 洋平・齋藤 智久

■14:40~16:00 測量(4)

- VI-739 地上レーザースキャナの精度に関する実験的検討(照射角度)/東日本旅客鉄道(株) [正] 井口 重信・高見澤 拓哉
- VI-740 地上レーザースキャナの精度に関する実験的検討(距離,色)/東日本旅客鉄道(株) [正] 高見澤 拓哉・井口 重信
- VI-741 コンクリート舗装工の出来形実態把握および地上型レーザースキャナによる精度検証結果報告/施工技術総合研究所 [正] 佐野 昌伴・山口 敦久・八木橋 宏和
- VI-742 石積み擁壁の耐震補強工事における地上レーザースキャナの三次元データ活用/前田建設工業株式会社 [正] 小泉 伸之・金刺 広明・畠山 恭輔
- VI-743 3次元計測による鋼管矢板の出来形管理の検証/ [正] 太田 啓介・池田 直広・田野井 淳一
- VI-744 小型レーザースキャナを用いた下水道管路の調査/有限会社水都環境 [正] 長谷川 充・石川 信恵・柳沢 道明・石倉 昌博

平成30年8月29日(水) VI-15会場 (北海道大学札幌キャンパス 情報棟A22)

■10:40~12:00 鉄道(1)

- VI-745 リベット接合部を模擬した要素試験体による基礎的検討/東日本旅客鉄道 [正] 若狭 周汰・山本 達也・小林 寿子
- VI-746 リベット接合部を模擬した要素部材の引張降伏特性に関する研究/前橋工科大学 [学] 貴志 豪友・谷口 望・山本 達也・小林 寿子
- VI-747 溶接補強桁における効果的な耐荷力向上工法/東海旅客鉄道株式会社 [正] 松浦 真也・野中 大輔・土西 寿康・松原 史憲
- VI-748 鋼鉄道橋(箱型上鉄桁)の内部リブ等に発生したき裂変状の分析と対策/J R東日本 [正] 佐々木 真紀・小菅 匠
- VI-749 鉄道における鋼桁橋の維持管理について/J R東日本 [正] 久保田 一範・高見 満

平成30年度土木学会全国大会 第73回年次学術講演会プログラム

第6部門

- VI-750 腐食欠損を有する鋼桁の耐力評価に関する研究／前橋工科大学 [学] 吉村 勇哉・谷口 望・山本 達也・小林 寿子
- VI-751 腐食損傷した鋼部材の補強方法に関する研究／前橋工科大学 [学] 関口 穂・谷口 望・山本 達也・小林 寿子
- 15:20～16:40 鉄道(2)
- VI-752 新八代駅ホーム桁支柱復旧について / [正] 森山 貞文
- VI-753 R C フレーム補強工法を適用した耐震補強事例／東日本旅客鉄道 (株) [正] 松沼 政明・鬼塚 信・塚田 堅士
- VI-754 C F T 化を想定していない鋼構造物の C F T 施工について／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 堀 利明・中里 盛道
- VI-755 支点周辺が狭隘な鉄道架道橋における沓座モルタル打替えについて / J R 東日本 [正] 米木 梨奈・高見 満・岡澤 亮太
- VI-756 鋼鉄道橋における支承の可動不良対策工事の施工について / [正] 平山 隆弘・鬼塚 信・荒木 肇
- VI-757 東海道新幹線天竜川橋梁における沓座修繕 / J R 東海 [正] 有馬 隆介・横山 悠
- VI-758 交差交通構造物 (こ線橋) 維持管理における軌道式高所作業車の活用 / シーエヌ建設 [正] 大西 亨匡・丹間 泰郎

平成30年8月30日 (木) VI-15会場 (北海道大学札幌キャンパス 情報棟A22)

■9:00～10:20 鉄道(3)

- VI-759 鉄道近接の道路橋脚 (パイルベント) の耐震補強工事 / シーエヌ建設 [F] 丹間 泰郎・中条 正樹・川越 英治
- VI-760 小田急小田原線旧恩田川橋梁における耐震補強工事の施工計画 / 小田急電鉄株式会社 [正] 岸田 敦朗・宮嶋 真澄
- VI-761 洗掘の被害を受けた橋脚上の桁復旧における支承構造の検討について / 南海電気鉄道 [正] 小出 泰弘・谷 実千雄・松浦 靖治・植田 剛士・牟田口 豊
- VI-762 馬込川橋りょう耐震補強工事における施工方法の検討 / 東海旅客鉄道 [正] 平林 英樹・原 正一郎
- VI-763 河川改修に伴う肥薩おれんじ鉄道川内川橋りょう橋脚の補強 / J R 九州コンサルタンツ [正] 山下 健二・坂間 裕・坂本 浩一・佐名川 太亮・西岡 英俊
- VI-764 軟弱地盤上の鋼鉄道橋改築に伴う橋脚沈下予測と実測 / 東日本旅客鉄道株式会社 [正] 加藤 格・竹谷 勉
- VI-765 軟弱地盤における橋脚近接施工時の軌道管理について / ジェイアール西日本コンサルタンツ (株) [正] 木下 正之・原 浩気

■10:40～12:00 鉄道(4)

- VI-766 横須賀線芝浦立坑における塩害によるコンクリート劣化調査および対策 / 東日本旅客鉄道 [正] 相部 佑太郎・塚本 清成・長尾 拓真
- VI-767 表面含浸材による P C 軌道桁の長寿命化対策工の機械化施工 / 大阪高速鉄道 (株) [正] 砂原 一貴・一本松 新・細木 篤史
- VI-768 打込み温度 10 度以下のフライアッシュコンクリートを用いた北陸新幹線の高架橋スラブの強度確認 / 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 [正] 井上 翔・加藤 寛之・米澤 豊司・西 恭彦
- VI-769 鉄道高架橋の建設現場から採取したコンクリートの収縮量に関する検討 / J R 東日本コンサルタンツ株式会社 [正] 赤堀 誠・小林 薫・伊藤 隼人
- VI-770 鉄道 P C 桁における混合セメントを用いたアルカリシリカ反応抑制対策 / 九州旅客鉄道 [正] 徳永 光宏・伊東 佑将・油布 史朗・永里 良平
- VI-771 高架橋分割施工のスラブひび割れ対策 / 西日本旅客鉄道株式会社 [正] 半井 恵介・田畑 勝幸・山田 兼太郎
- VI-772 フライアッシュコンクリートを用いた鉄道 R C 構造物の中性化を指標とした維持管理に関する一考察 / J R 東日本コンサルタンツ [正] 山下 修史・小林 薫・伊藤 隼人

平成30年8月31日 (金) VI-15会場 (北海道大学札幌キャンパス 情報棟A22)

■9:00～10:20 鉄道(5)

- VI-773 J R 営業線の線路下横断工事における既設構造物撤去技術 / 東鉄工業 [正] 松原 由隆・野尻 知・高瀬 誠司
- VI-774 鉄道トンネルにおける F R P 内巻工の構造と施工法 / 広成建設 [正] 藤井 哲也・松本 敬司・近藤 政弘・岩橋 寛臣
- VI-775 鉄道営業線直下における下水管渠築造に伴う線路防護用地盤改良工事 / 大林組 [F] 長谷 祐暉・丸山 純・金田 力也・山口 武志・森川 秀人
- VI-776 鉄道トンネル内におけるコンクリート構造物の塩害対策を配慮した吹付工法による断面修復工の施工 / 東鉄工業 [正] 松田 康紀・高橋 朋宏・鬼頭 和也・萩原 辰裕・山口 誠司
- VI-777 開削トンネルの影響による地下水位上昇に対する監視体制の検討 / J R 東日本 八王子土木技術センター [正] 前田 恭佑
- VI-778 トンネルの排水による河川白濁事象一考察 / 東日本旅客鉄道 [正] 笹川 貴生・井上 将・村上 勇太
- VI-779 石積土留壁からの出水原因特定と対策の実施 / 東海旅客鉄道 [正] 森 友香・大山 智

■10:40～12:00 鉄道(6)

- VI-780 盛土内の水分量モニタリング手法に関する検討 / 東海旅客鉄道 [正] 大木 基裕・舟橋 秀磨

- VI-781 堰堤機能を有した鉄道盛土の維持管理について / 東日本旅客鉄道 [正] 波場 志郎・田口 大輔・高野 幸宏
- VI-782 軽量盛土を活用した両毛線あしかがフラワーパーク駅整備計画 / 東日本旅客鉄道 [正] カモシダ ショウコ・國富 大起
- VI-783 高盛土部における高圧噴射攪拌工法を用いた液状化対策 / [正] 高橋 利幸・茶園 八十志・高橋 昌英
- VI-784 岩座張法面を有する既設盛土に腹付盛土を新設する場合の施工検討 / 西日本旅客鉄道株式会社 [正] 吉津 翔平・岩井 俊之・猿渡 隆史・深田 隆弘
- VI-785 小河川における鉄道護岸の維持管理について / 東日本旅客鉄道株式会社 [正] 遠藤 健太・鳥山 英数・秋野 勇輝
- VI-786 鉄道における空積み石積壁の耐震補強対策について / 東鉄工業 [正] 清水 和希・庄司 勝則・前田 剛志・岡田 和成

■13:00～14:20 鉄道(7)

- VI-787 分岐器・転轍機直下での薬液注入工法の選定と試験施工結果 / 鹿島建設 [正] 大菅 健・橋高 和生・井上 貴文・富永 祐生・松尾 孝之
- VI-788 分岐器・転轍機直下の薬液注入工法による欠損防護施工実績 / 鹿島建設株式会社 [正] 永嶋 聡志・井口 要・大菅 健・藤原 研三・江藤 公孝
- VI-789 連続した鉄道高架橋アンダーピニング工事の計画と施工実績 (その2) ～本プレロード工と受替え工の計画および実績～ / 鹿島建設 [正] 石川 鞠子・田中 誠・山本 信也・伊藤 弘之・小林 克哉
- VI-790 営業線鉄道 R C 高架橋に対するアンダーピニング工法の設計・施工 (その1) / パシフィックコンサルタンツ [正] 松橋 宏治・澁谷 旬要・岡田 真理子・増田 尚大・野田 健太
- VI-791 営業線鉄道 R C 高架橋に対するアンダーピニング工法の設計・施工 (その2) / 清水建設株式会社 [正] 岡田 真理子・平井 孝幸・松橋 宏治・増田 尚大・野田 健太
- VI-792 深礎工に用いる仮土留背面の裏込め充填性状 / 東日本旅客鉄道 [正] 堤 直之・小泉 秀之・鈴木 啓晋
- VI-793 地下鉄営業線における既設カルバートの上床版撤去 / (株) 熊谷組 [正] 福田 真輔・糸井 一義・菅原 翔

平成30年8月29日 (水) VI-16会場 (北海道大学札幌キャンパス 情報棟A23)

■10:40～12:00 鉄道(8)

- VI-794 新しいホーム表面仕上げ材料の実験的検証と適用 / 西日本旅客鉄道 (株) 大阪工事事務所 [正] 山田 兼太郎・猿渡 隆史
- VI-795 東海道本線金山駅ホーム可動柵設置に伴うホーム補強工事 / 東海旅客鉄道株式会社 [正] 池田 壮吾・大隈 崇文・萩谷 俊吾
- VI-796 新大久保駅改良工事における、ホームドアへの影響を考慮した施工計画の検討について / 東日本旅客鉄道 (株) [正] 遊座 啓史
- VI-797 バラスト撤去量低減を目的とした斜ウェブ工事に関する実物大試験台 / 東日本旅客鉄道株式会社 [正] 山下 洋平・小林 寿子・小林 薫・山本 達也・田中 伸尚
- VI-798 R C 支柱式高欄の変状に対する応急対策工法の検討 / 西日本旅客鉄道株式会社 [正] 河井 勇樹・湯浅 康史・福本 守・津島 佑一郎
- VI-799 平成29年7月九州北部豪雨により被災した久大線花月川橋りょうの災害復旧計画について / 九州旅客鉄道 [正] 庄村 和剛・神崎 諭・富永 真生・大隅 祐治
- VI-800 平成29年7月九州北部豪雨により被災した久大線花月川橋りょうの災害復旧設計について / [正] 大隅 祐治・庄村 和剛・神崎 諭・富永 真生

■15:20～16:40 鉄道(9)

- VI-801 2017年7月奥羽本線 (秋田新幹線) 盛土流出被害と応復旧工事 / 東日本旅客鉄道株式会社 [正] 滝沢 雅史・安藤 元・村田 祐亨
- VI-802 山田線斜面崩壊災害の復旧 (その1: 調査・対策工の検討) / J R 東日本 盛岡支社 [正] 中村 貴志・菅原 寛文・五日市 賢・風晴 潤司
- VI-803 山田線斜面崩壊災害の復旧 (その2: 対策工の設計・施工) / J R 東日本 [正] 菅原 寛文・中村 貴志・五日市 賢・風晴 潤司
- VI-804 衛星画像を活用した鉄道沿線の災害検知手法の検討 / 東海旅客鉄道株式会社 [正] 林 宏樹・舟橋 秀磨
- VI-805 在来線におけるレーダ雨量を活用した降雨規制 / 東海旅客鉄道 [正] 石川 智史・山内 公介
- VI-806 気象レーダを用いた最適な鉄道雨量計配置の検討 / J R 東海 [正] 新海 英昌・小笠原 雅之・庄司 朋宏・坂井 紀之・内田 良始
- VI-807 東海道新幹線における地震防災システムの取替・機能向上について / 東海旅客鉄道 [正] 下鳥 桂・庄司 朋宏・新海 英昌

平成30年8月30日 (木) VI-16会場 (北海道大学札幌キャンパス 情報棟A23)

■9:00～10:20 鉄道(10)

- VI-808 地下鉄の軌道構造がトンネル振動特性に及ぼす影響 / 新潟大学大学院自然科学研究科 [学] 山田 高也・阿部 和久・紅露 一寛・古田 勝・末原 美智子
- VI-809 二次元 F E M 解析による鉄道営業線直下のシールド施工が及ぼす軌道への影響検討 / 阪急設計コンサルタント [正] 松本 尚衛・山岡 武志
- VI-810 新幹線高速化に伴うトンネル緩衝工延伸形状に関する解析的検討 / 東日本旅客鉄道株式会社 [正] 山本 達也・後藤 貴士・佐々木 隆
- VI-811 小径推進工法の掘削に伴う地表面沈下の解析的検討 / J R 東日本コンサルタンツ [正] 青山 貴洋・山本 忠・大塚 隆人

平成30年度土木学会全国大会 第73回年次学術講演会プログラム

第6部門

- VI-812 小口推進工法の施工に伴う地表面変位/J R東日本 [正] 大塚 隆人・山本忠・青山 貴洋
- VI-813 線路内に仮設物を設置する工事における3D測定の効果について/大鉄工業株式会社 [正] 森 顕・細馬 良介
- VI-814 鉄道構造物施工における3次元測量技術の活用/大鉄工業 [正] 政井 一仁・芦田 義文・寺口 貴康

■10:40~12:00 鉄道(11)

- VI-815 星川・天王町駅付近連続立体交差工事における下り線切替工事の施工/東急建設 [正] 乙茂内 康史・物部 達彦・天野 寛治・太田 圭彦・荒巻 裕次
- VI-816 橋梁部工事架設に関する施工報告/東急建設株式会社 [正] 川口 晃平・今津 敏明・小島 祐輔
- VI-817 活線下における河川の鉄道橋りょう架替/J R東海 [正] 郷 将典・竹内 基光・高垣 優
- VI-818 鉄道営業線直上における橋梁撤去に着目した施工検討について/東鉄工業 [正] 小栗 崇史・小泉 敬太・佐々木 満春・福田 義弘
- VI-819 空頭制限を受ける箇所での軌道仮受の施工実績/鹿島建設 [正] 井出 雄介・江口 元・福田 一太
- VI-820 ホームを有する複線3主鋼下路プレートガーダーの多軸式特殊台車による一括架設(七条通架道橋)/西日本旅客鉄道(株) [正] 津田 敏明・堀 慎一・新橋 広樹
- VI-821 市街地における短時間での鋼鉄道橋の架替工事/大鉄工業 [正] 岡崎 陽介・内田 優美

平成30年8月31日(金) VI-16会場 (北海道大学札幌キャンパス 情報棟A23)

■9:00~10:20 鉄道(12)

- VI-822 ホーム移設に伴う軌道線形の変更に関する施工報告/東日本旅客鉄道 [正] 佐藤 学・伊東 寛
- VI-823 トンネル内営業線における軌道調整型タイプレートを併用したポイント部交換工法/東京地下鉄株式会社 [正] 今井 奨・小林 実・朝倉 光一・藤井 諒
- VI-824 営業線におけるロングチューブを用いた分岐器の交換方法について/東京地下鉄株式会社 [正] 磯崎 光・星 俊造・久保田 聡一
- VI-825 締結装置の構造を踏まえた既設槽桁上での軌道移設方法の検討/ジェイアール西日本コンサルタント株式会社 [正] 藪井 史輝・吉田 晋・高田 直明・森山 晃士
- VI-826 横須賀線建築限界支障箇所解消に向けた軌道低下施工について/東鉄工業株式会社 [正] 相澤 貴之
- VI-827 敦賀駅支障移転工事における短時間間合での分岐器撤去新設について/西日本旅客鉄道株式会社 [正] 古澤 翔太・新谷 正樹・祖川 宗照
- VI-828 鋼橋上における無筋コンクリート道床軌道の設計事例/東京地下鉄 [正] 新井 逸郎・松川 俊介・金川 周平・アオキ 宣頼・安藤 勝敏
- VI-829 コスト削減を目的としたコンクリート断面形状縮小化の検討/東京地下鉄株式会社 [正] 小林 実・鈴木 勇・猪瀬 和也・青木 宣頼

■10:40~12:00 鉄道(13)

- VI-830 新型グリッパーの開発/東日本旅客鉄道株式会社 [正] 柿崎 陽太・北井 健博・起田 勝美・小綿 貴幸
- VI-831 自動遊間調整装置の開発/J R九州 [正] 安部 和俊・田神 哲也・一宮 大輔
- VI-832 「タイプレートボルト注油機能付ボルト解緊機」の開発について/大鉄工業 [正] 坂本 士・森田 貢・中澤 孝典・山崎 清水
- VI-833 自動レール溶接ロボットの開発/東日本旅客鉄道株式会社 [正] 中村 慎也・吉田 英哲・藤井 充・中野渡 弘昌・八角 元康
- VI-834 テルミット頭部補修溶接法の熱回帰正作業における自動制御機構の開発/鉄道総研 [正] 伊藤 太初・山本 隆一
- VI-835 レール交換システム (REXS) によるレール更新の取組みと課題について/東日本旅客鉄道株式会社 [F] 池谷 和之・高橋 央・加藤 章・横山 裕介
- VI-836 「保守用車前確認システム」の視認性向上に向けた改良について/大鉄工業 [正] 橋 航平・坂本 士・森田 貢・栗林 広・安田 裕也
- VI-837 線路保守工事における業務管理システムの開発と全社展開への一考察/大鉄工業 [正] 梶原 弘治・金井 治・藤川 雅輝・山下 延明

■13:00~14:20 海洋構造物

- VI-838 表層放流放水口の流速調整工に対する水理模型実験/大成建設 [正] 石田 聖一・本田 隆英・市橋 豊隆・齊藤 宏彰
- VI-839 大規模地震動を想定した発電所放水路へのP C - 壁体の適用/大成建設 [正] 木脇 太郎・石田 聖一・市橋 豊隆・齊藤 宏彰
- VI-840 栈橋上部工受梁のプレキャスト化施工について/五洋建設株式会社 [正] 川俣 奨・内谷 陽一・塩谷 宏一・石崎 康慶・押切 泰弘
- VI-841 室蘭港におけるコンテナクレーンの据付について/室蘭市役所 [正] 吉川 仁人・斉藤 宏輔
- VI-842 磁気吸着工法を利用したA 1 合金陽極の設置が電気防食効果に及ぼす影響/一般社団法人 日本磁気吸着工法協会 [正] 安江 省吾・齊藤 清美・伊川 辰茂・番良 善和・栗野 広大
- VI-843 定点保持機能を使用した作業船の揚重時動揺特性について/東洋建設 [正] 金澤 剛・近本 武

- VI-844 ケーソン築造施設の構造形式と京浜港ドックの特徴/国土交通省関東地方整備局 [正] 野口 孝俊・菅 崇・岡島 達男

平成30年8月29日(水) VI-17会場 (北海道大学札幌キャンパス 情報棟A24)

■10:40~12:00 軌道保守(1)

- VI-845 慣性正矢軌道検測装置の2軸レール変位検出装置の改良と効果分析/鉄道総合技術研究所 [正] 大島 崇史・坪川 洋友・石川 智行・菊池 健司
- VI-846 在来線慣性正矢軌道変位測定装置の低速域における測定精度向上/東日本旅客鉄道 [正] 吉田 尚・葛西 亮平・元好 茂・小西 俊之
- VI-847 慣性正矢軌道検測装置の測定窓への汚れ付着防止構造の検討/鉄道総合技術研究所 [正] 石川 智行・坪川 洋友・大島 崇史・佐久間 豊・河合 真太郎
- VI-848 相補フィルタを用いた水準狂いの計測/東海旅客鉄道 [正] 永沼 泰州・植松 嵩之
- VI-849 軌道検測車を用いた位置情報取得システムの実用性の評価/西日本旅客鉄道株式会社 [正] 永尾 健祐・曾我 寿孝・高山 宜久・中山 忠雅・向井 雅俊
- VI-850 ローカル線区に特化した整備対象箇所の簡易予測/九州旅客鉄道 [正] 若荷 将浩・田神 哲也・西本 晋平
- VI-851 日常業務でのモニタリングデータ活用によるCBMサイクルの推進/J R東日本 [正] 柳森 和真・斎藤 典孝・大池 幸史

■15:20~16:40 軌道保守(2)

- VI-852 軌道変位の急進性把握手法の改良/東日本旅客鉄道 [正] 山本 修平・西藤 安隆・元好 茂・小西 俊之
- VI-853 波形に着目した軌道狂い予測手法の検討/J R東海 [正] 松尾 圭太郎・森本 勝
- VI-854 軌道変位データを用いた道床劣化箇所抽出法の適用可能性に関する検討/公益財団法人 鉄道総合技術研究所 [正] 梶原 和博・田中 博文・片山 雄一郎
- VI-855 高頻度検測データを活用したT C型省力化軌道におけるあおり箇所の推定に関する研究/東日本旅客鉄道 [正] 大野 良輔・山口 剛志・神谷 宗
- VI-856 軌道変位モニタリング装置を活用したMT T施工後の軌道状態把握/J R東日本 [正] 垂井 晃一・山下 友也・岡澤 正樹
- VI-857 線路設備モニタリングデータを活用したMT T施工評価機能の開発/J R東日本情報システム [正] 大庭 啓輔・山本 修平・西藤 賢一
- VI-858 MT T保守とレール削正の組み合わせ保守効果推定モデルの実証分析と精度向上/鉄道総合技術研究所 [正] 松本 麻美・三和 雅史・原田 祐樹

平成30年8月30日(木) VI-17会場 (北海道大学札幌キャンパス 情報棟A24)

■9:00~10:20 軌道保守(3)

- VI-859 レール温度予測モデルを用いたレールの敷設方向が温度上昇に及ぼす影響評価/公益財団法人鉄道総合技術研究所 [正] 浦川 文寛・木村 成克
- VI-860 吊り上げ式レール軸力測定法の省力化に関する一検討/新潟大学大学院自然科学研究科 [学] 遠藤 一彰・阿部 和久・紅露 一寛
- VI-861 ロングレール軸力測定の低コスト化に向けた検討/東日本旅客鉄道株式会社 [正] 兼子 弘・元好 茂・小西 トシユキ
- VI-862 車上化に適した座屈側遊間管理手法の検討/西日本旅客鉄道株式会社 [正] 原田 祐樹・藤原 武実・二宮 健人
- VI-863 軌道状態が通り変位軸力推定法に及ぼす影響/新潟大学 [学] 佐藤 拓郎・阿部 和久・小松 佳弘・紅露 一寛
- VI-864 構造物前後の撤去不可能な伸縮継目に発生する高ムラ対策の検証/東日本旅客鉄道株式会社 [正] 埴山 直大・金光 訓孝
- VI-865 東海道新幹線におけるスラックの必要性に関する研究/東海旅客鉄道株式会社 [正] 倉 源太・君島 康太・安藤 秀伸・小林 幹人

■10:40~12:00 軌道保守(4)

- VI-866 急曲線におけるロングレール交換緊張力について/東日本旅客鉄道 [正] 鈴木 裕也・山地 毅彦・岩橋 邦夫
- VI-867 新幹線ロングレール保守作業制限の条件緩和に関わる基礎的研究/J R西日本 金沢支社 新幹線施設課 [正] 江尾 総人・千代 誠
- VI-868 可動区間に介入する無道床橋梁におけるロングレール化の検討/J R東日本 [正] 柏木 将幸・堀 雄一郎
- VI-869 レール接着工法を適用したロングレール化の試験敷設/西日本旅客鉄道株式会社 [正] 庄野 真也・高尾 賢一・井上 拓也・加藤 篤史
- VI-870 補強した構造物・軌道一体型モデルを用いた地震時軌道座屈安定性の評価/鉄道総合技術研究所 [正] 吉川 秀平・中村 貴久・桃谷 尚嗣・伊地知 卓也・木次谷 一平
- VI-871 構造物・軌道一体型モデルを用いた大型振動台試験による地震時軌道座屈安定性の評価/(公財)鉄道総合技術研究所 [正] 中村 貴久・吉川 秀平・桃谷 尚嗣・伊地知 卓也・木次谷 一平
- VI-872 1/5スケールのパラスト軌道模型のまくらぎ周面露出量が与える道床横抵抗力の影響/[正] 木次谷 一平・伊藤 志記・伊地知 卓也・桃谷 尚嗣

平成30年8月31日(金) VI-17会場 (北海道大学札幌キャンパス 情報棟A24)

■9:00~10:20 軌道保守(5)

- VI-873 MT T施工方法が軌道支持剛性に及ぼす影響に関する基礎的検討/[正] 梶原 志保・川崎 恭平・谷川 光

平成30年度土木学会全国大会 第73回年次学術講演会プログラム

第6部門

- VI-874 スイッチマルタイによる可動ダイヤモンドクロッシングのライニング施工／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 安藤 洋介・近藤 若奈・鈴木 拓海・村田 利之
- VI-875 MT Tにおける効果的な軌道整備の検証／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 赤松 秀彦・酒庭 直樹
- VI-876 締結装置不良箇所がMT Tの施工効果に及ぼす影響に関する一考察／株式会社日本線路技術 [正] 糟谷 賢一・渡邊 寛隆・廣畑 翔介・斉藤 光司
- VI-877 マルタイによる軌道整備の取り組み／日本機械保線 [正] 佐々木 直人
- VI-878 マルタイによる通り狂い改善に向けた取り組み／日本機械保線(株) [正] 中島 駿
- VI-879 在来線における線形を考慮した長波長軌道整備／日本機械保線株式会社 [正] 桑山 祐典

■10:40～12:00 軌道保守(6)

- VI-880 二次元センサを活用したレール摩耗量の測定／東海旅客鉄道株式会社 [正] 磯田 聡史・井上 陽一
- VI-881 軌道パッド飛び出し量測定装置の開発について／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 浅香 俊朗・大下 敦毅・千葉 幸伸・富澤 竜也・高畑 俊祐
- VI-882 軌道材料モニタリングの目視確認基準に関する検討／日本線路技術 [正] 小林 聡一・糟谷 賢一・渡邊 寛隆・斉藤 光司
- VI-883 画像によるレール継目部の異常抽出技術の基礎的検討／西日本旅客鉄道株式会社 [正] 渡邊 達郎・藤原 武実・近藤 英記・森 直幸
- VI-884 画像解析を用いたモニタリング画像からのレール継目板の異常検知手法の検討／東日本旅客鉄道 [正] 小松 佳弘・元好 茂・小西 俊之
- VI-885 レール損傷管理におけるモニタリング装置の活用に関する研究／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 斎藤 典孝・臼井 瑛憲・中村 隆介・中村 美貴・木戸 崇史
- VI-886 画像解析によるリスクセンシング技術の開発／鉄道総合技術研究所 [正] 清水 惇・三和 雅史

■13:00～14:20 軌道保守(7)

- VI-887 損傷レール交換による左右揺擺の低減方法に関する研究／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 築瀬 和清・百合野 晃大・島谷 任克
- VI-888 東北新幹線におけるレール更新後の転動音対策について／J R 東日本 [正] 須藤 雅人・山中 貞男
- VI-889 無道床橋りょう上に発生する内軌波長摩耗の発生要因と抑制策の検討／鉄道総合技術研究所 [正] 田中 博文・弟子丸 将・梶原 和博・片山 雄一郎
- VI-890 軌道構造に着目した波状摩耗振動特性に関する構造解析／東京地下鉄株式会社 [正] 劍持 尚樹・渡邊 真一・河野 陽介・久保 奈帆美
- VI-891 携帯情報端末を用いた車内音による波状摩耗の検出精度の向上策の検討／東京大学 [学] 長瀬 航太・蘇 迪・田中 博文・長山 智則
- VI-892 グラインディング式レール削正車によるレール削正の効率的な施工方法の検証／西日本旅客鉄道株式会社 [正] 村上 邦宏・瀬川 律文・池田 智史
- VI-893 在来線における分岐器内レール削正手法の一考察／J R 東日本 東京支社 上野保線技術センター [正] 屋木 祥吾・島田 和則・西内 美咲・石川 智史・蛭田 雄介

■14:40～16:00 軌道保守(8)

- VI-894 ゲージコーナ开裂の新たな評価手法に関する研究／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 吉武 昌俊
- VI-895 レール頭部横裂の進展速度に及ぼす影響因子の実験的検討／(公財) 鉄道総合技術研究所 [正] 細田 充・水谷 淳・片岡 宏夫・山本 隆一
- VI-896 応力比を考慮したレール頭部横裂進展解析の精度検証／鉄道総合技術研究所 [正] 水谷 淳・細田 充・片岡 宏夫・山本 隆一
- VI-897 上越新幹線におけるレール傷の発生状況の分析と考察／東日本旅客鉄道 [正] 松田 博之・溝口 佳哉・今井 雄介
- VI-898 連続シェリング探傷装置の開発／J R 九州 [正] 猿木 雄三
- VI-899 X線による敷設レールの転がり接触疲労の評価に関する基礎的検証／西日本旅客鉄道株式会社 [正] 井上 拓也・高尾 賢一・佐々木 敏彦
- VI-900 中きしみ割れ発生箇所の現地調査と発生レール分析／鉄道総合技術研究所 [正] 辻江 正裕・木村 成克・陳 權

平成30年8月29日(水) VI-18会場 (北海道大学札幌キャンパス 情報棟A31)

■10:40～12:00 軌道保守(9)

- VI-901 土路整省力化軌道における軌道変状要因の評価と対策／J R 東日本 [正] 柿崎 慎介・石井 浩一郎
- VI-902 T C型省力化軌道(改良型)の耐久性および基本性能について／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 栗原 巧・小西 俊之・神津 大輔
- VI-903 舗装軌道区間の維持管理方法の確立／J R 東海 [正] 忽那 光敏
- VI-904 九州新幹線における軌道スラブ交換工事の施工／ [正] 松田 直樹
- VI-905 凍害発生地域(盛岡保守基地)のCAモルタル内部の劣化調査／東日本旅客鉄道 [正] 板倉 真理佳・神津 大輔・小西 俊之

- VI-906 小型FWDを用いた軌道スラブの支持状態評価に関する研究／鉄道総合技術研究所 [正] 小滝 康陽・高橋 貴藏・桃谷 尚嗣
- VI-907 マイクロスコープを用いたCAモルタルの連行空気の測定に関する基礎研究／東亜道路工業 [正] 坂詰 賢治・山本 幸亮・田端 勇人

■15:20～16:40 軌道保守(10)

- VI-908 軌道構造におけるレール締結装置の役割に関する一考察／日本工営 [F] 石田 誠
- VI-909 脱線防止ガード取付部装置の開発／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 石坂 佳祐・金子 真一・松崎 秀樹
- VI-910 適正な設計レールふく進抵抗力の算定手法に関する検討／鉄道総合技術研究所 [正] 片岡 宏夫・野口 雅人・佐藤 慎司・弟子丸 将
- VI-911 レール締結装置の動的繰返し載荷試験における構成部材の摩耗に関する一考察／鉄道総合技術研究所 [正] 本村 裕基・弟子丸 将・片岡 宏夫
- VI-912 経年したレール締結装置のふく進抵抗力の評価／東日本旅客鉄道 [正] 魚地 眞道・中野 貴徳・安田 致敏・熊倉 孝雄
- VI-913 レール締結装置の載荷試験方法が応答値に及ぼす影響に関する一考察／公益財団法人鉄道総合技術研究所 [正] 弟子丸 将・野口 雅人・足立 博哉
- VI-914 本四備讃線800形軌道伸縮装置の締結装置交換／四国旅客鉄道 [正] 白江 雄介

平成30年8月30日(木) VI-18会場 (北海道大学札幌キャンパス 情報棟A31)

■9:00～10:20 軌道保守(11)

- VI-915 伸縮継目用トングレールの耐摩耗性能向上に向けた摩耗状況調査／鉄道総合技術研究所 [正] 足立 博哉・及川 祐也
- VI-916 形状改良トングレールの効果追跡／J R 西日本 [正] 森 智昭・東原 孝展・山根 寛史
- VI-917 弾性継手を使用した全体PCまくらぎ分岐器／西日本旅客鉄道株式会社 [正] 本野 貴志・東原 孝展
- VI-918 スラブ分岐器に対応するローラーベアリング床板の現地試験／西日本旅客鉄道株式会社 [正] 東原 孝展・本野 貴志
- VI-919 50kg Nレール用次世代分岐器の最適化の取り組み／東日本旅客鉄道 [正] 渡部 一人・立川 正勝・小西 俊之
- VI-920 J I S と E N のトングレール先端形状比較に関する一考察／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 安藤 洋次郎・堀 雄一郎・緒方 政照
- VI-921 2000形分岐器用ポイントガードの設計／J R 東日本 [正] 堀 雄一郎・天津 敦人

■10:40～12:00 軌道保守(12)

- VI-922 シーサースクロッシング一括全更換の計画および施工／東海旅客鉄道株式会社 [正] 齋藤 裕也・原 幸一郎・小久保 将寿
- VI-923 改良縦曲げ圧接クロッシングの試験敷設／九州旅客鉄道株式会社 [正] 西本 晋平・西田 達矢・花田 寿隆
- VI-924 可動ダイヤモンドクロッシングロック不良原因の究明と対策／ [正] 川延 晃史・引地 大・瀬戸 勝
- VI-925 新幹線用レール鋼製ノーズ可動クロッシングのき裂進展に関する一考察／(公財) 鉄道総合技術研究所 [正] 田中 俊史・水谷 淳・片岡 宏夫・及川 祐也
- VI-926 ウィング可動クロッシングの敷設状況調査／鉄道総合技術研究所 [正] 塩田 勝利・及川 祐也
- VI-927 レール鋼製ノーズ可動クロッシングの疲労強度に関する検討／東京地下鉄株式会社 [正] 松川 俊介・劍持 尚樹・石川 亮・西田 達也
- VI-928 レール鋼製ノーズ可動クロッシングの構造解析／東京地下鉄株式会社 [正] 松尾 東・渡邊 真一・劍持 尚樹・西田 達也

平成30年8月31日(金) VI-18会場 (北海道大学札幌キャンパス 情報棟A31)

■9:00～10:20 軌道保守(13)

- VI-929 新幹線の急曲線におけるレール使用に関する実態調査／西日本旅客鉄道株式会社 [正] 佐原 愛士・森山 陽介
- VI-930 落葉による空転対策検討のための室内試験および実車走行試験／鉄道総合技術研究所 [正] 木村 成克・陳 權・山本 大輔
- VI-931 レール頭部補修溶接法のHH340レールに関する検討／西日本旅客鉄道 [正] 原岡 周平・加藤 篤史
- VI-932 応力発光塗料のレールへの適応に関する一考／東京地下鉄株式会社 [正] 小瀧 香・工藤 浩之・内藤 潤・津田 智哉・西田 達也
- VI-933 フェイズドアレイ超音波探傷の分岐器検査への適用検討／J R 東海 [正] 植松 嵩之・森本 勝
- VI-934 ポイント先端部安全度判定定規のデジタル化／ [正] 大毛利 亮・高村 渉・深澤 貴史・渋谷 伸一・岡澤 公二
- VI-935 踏切内レールにおける電気腐食評価方法の提言／東海旅客鉄道株式会社 [正] 福中 力也・石原 貴之・安江 勇弥

■10:40～12:00 軌道保守(14)

- VI-936 音声レコーダーを活用した鉄まくらぎの充填状態良否の検討／日本貨物鉄道株式会社 [正] 湯浅 昭・津末 佳朋・上浦 正樹

平成30年度土木学会全国大会 第73回年次学術講演会プログラム

第6部門

- VI-937 耐塩害性防振まくらぎの試験検証結果／東京地下鉄株式会社 [正] 大澤 純一郎・久保田 聡一・岡田 亮平・北原 崇吉
- VI-938 弾性まくらぎに適用する発泡ゴム系まくらぎパッドの圧縮特性評価法に関する検討／鉄道総合技術研究所 [正] 鈴木 実
- VI-939 画像計測によるPCまくらぎの動的応答に関する基礎的検討／九州旅客鉄道株式会社 [正] 箕浦 慎太郎・川崎 恭平・谷川 光
- VI-940 軌道を構成する各種パラメータがPCまくらぎの曲げモーメントに及ぼす影響／鉄道総合技術研究所 [正] 渡辺 勉・松岡 弘大・飯野 匡暁・重岡 剛雄
- VI-941 下級線に適したPCまくらぎ化の検討／JR西日本 [正] 藪中 嘉彦・高尾 賢一
- VI-942 小型FWDによる鉄まくらぎのレール支持ばね係数の推定／日本貨物鉄道 [正] 岡本 学・吾郷 太寿・上浦 正樹

■13:00～14:20 軌道保守(15)

- VI-943 QDEM-FEMによるバラスト軌道の振動特性と沈下挙動の解析／海洋研究開発機構 [正] 西浦 泰介・相川 明・坂井 宏隆・阪口 秀
- VI-944 レール継目通過時の衝撃応答を考慮したバラスト道床沈下解析／新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程 [学] 福島 亮平・紅露 一寛
- VI-945 各種軌道条件下におけるバラスト軌道の支持剛性に関する3次元線形FEM解析／公益財団法人鉄道総合技術研究所 [正] 谷川 光・中村 貴久・桃谷 尚嗣
- VI-946 細粒土混入バラストの造粒化による軌道補修工法に関する研究／鉄道総合技術研究所 [正] 伊地知 卓也・中村 貴久・桃谷 尚嗣・木次谷 一平
- VI-947 簡易工法を用いた道床ふるい区間における保守周期延伸／JR東海 [正] 三森 祐貴
- VI-948 むら直し施工による道床バラスト流れ抑制方法の検討／西日本旅客鉄道株式会社 [正] 高橋 則哉・水井 大輔・下野 勇希・白水 健介
- VI-949 保守用車使用による道床取替の効率化に向けた取組み／JR東海 [正] 杉浦 恵太

■14:40～16:00 軌道保守(16)

- VI-950 分岐器交換工事における徐行措置解消に関する検討／東日本旅客鉄道 [正] 篠田 勝己・吉川 央谷
- VI-951 軌陸車連結用鉄道トロの開発／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 杉村 歩・齋藤 修・中野 寿・斎藤 勝則
- VI-952 地方幹線鉄道における曲線カント量の適正化／JR東日本 [正] 千田 篤史・深澤 直樹
- VI-953 継目落ち整正器を活用した継目落ち対策の検討／九州旅客鉄道株式会社 [正] 中嶋 諒太・榎並 志則・一宮 大輔
- VI-954 全断面道床更換の施工によるトンネル内保守困難箇所解消に向けた取組み／東海旅客鉄道株式会社 [正] 飯島 亮・森 浩大
- VI-955 アンダーカッター使用による道床交換の一考察／[正] 佐々木 隆二・鈴木 誠・高橋 弘二・大木 尚也
- VI-956 バキューム式道床交換機の導入／JR九州 施設部保線課 [正] 坂之下 英樹・一宮 大輔

平成30年8月29日(水) VI-19会場 (北海道大学札幌キャンパス 情報棟A32)

■10:40～12:00 地盤改良(1)

- VI-957 新しいソイルセメント分散剤の粘性土地盤への適用性検討／[正] 小川 翔平・辻 剛史・西 正晃
- VI-958 カルシア改質土の化学性と植物・微生物への影響／(一社)水底質浄化技術協会技術委員会(五洋建設(株)) [正] 田中 裕一・林 正宏・本田 秀樹・赤司 有三・斗沢 照夫
- VI-959 カルシア改質土地盤の長期的な強度発現／五洋建設株式会社 [正] 野中 宗一郎・赤司 有三・田中 裕一・小松 誠児
- VI-960 カルシア改質土で製造された盛土の長期特性変化／新日鐵住金 スラグ・セメント事業推進部 [正] 赤司 有三・松山 秀司・黒田 祐一・水野 健太・大田 博文
- VI-961 極超微粒子セメントを用いた地盤改良試験施工／西松建設 関東土木支社 横浜湘南道路工事事務所 [正] たみあ とりあていにて 村上 初央・坪井 広美
- VI-962 高性能排水材を用いた既設宅地の液状化対策工法の開発／岐阜大学 [F] 八嶋 厚・荻谷 敬三・村田 芳信・余川 弘至・吉原 孝保
- VI-963 中国港珠澳大橋珠海連接線拱北隧道凍結方案に質疑について／(元)哈爾濱商業大学 [正] 姜 仁超

■15:20～16:40 地盤改良(2)

- VI-964 変位低減型深層混合処理工法 施工効率の改善に向けた実証実験(その1) - CDM-LODIC 排土式3軸・2軸大径工法 実験内容 - /清水建設 [正] 近江 健吾・土屋 信洋・遠西 幸男・深田 久・今井 優輝
- VI-965 変位低減型深層混合処理工法 施工効率の改善に向けた実証実験(その2) - CDM-LODIC 排土式3軸工法 結果と考察 - /不動アトラ [正] 今井 優輝・深田 久・近江 健吾・土屋 信洋・遠西 幸男
- VI-966 変位低減型深層混合処理工法 施工効率の改善に向けた実証実験(その4) - CDM-LODIC 排土式2軸大径工法 結果と考察 - /テクノックス [正] 又吉 直哉・河合 拓也・大古利 勝己・高橋 強
- VI-967 変位低減型深層混合処理工法 施工効率改善に向けた実証実験(その4) - CDM-LODIC 排土式2軸大径工法 結果と考察 - /あおみ建設 [正] 大古利 勝己・高橋 強・又吉 直哉・河合 拓也
- VI-968 中層混合処理工法における高深度改良機の開発およびその品質確認その1-改良機の開発とその施工方法/新日本グラウト工業株式会社 [正] 市坪 天士・島野 風・蔵谷 誠二・中馬 忠司

- VI-969 中層混合処理工法における高深度改良機の開発およびその品質確認試験(その2-品質確認試験)/三信建設工業株式会社 [正] 島野 風・市坪 天士・蔵谷 誠二・中馬 忠司
- VI-970 ミャンマー国新タケタ橋建設事業に適用した軟弱地盤対策工法/日本工営株式会社 [正] 野末 康博・吉田 剛・笠原 慶・西尾 俊彦・鈴木 晴久

平成30年8月30日(木) VI-19会場 (北海道大学札幌キャンパス 情報棟A32)

■9:00～10:20 地盤改良(3)

- VI-971 柱状地盤改良工法の効率的な攪拌工法の検討に関する基礎的研究/東京都市大学 [学] 村上 遼太・伊藤 和也・末政 直晃・杉村 晃嗣・島野 風
- VI-972 高圧噴射攪拌工法に対する大型コアの採取と強度試験結果について/ケミカルグラウト株式会社 [正] 井口 雄介
- VI-973 音波探査による高圧噴射攪拌工法の改良形状の確認試験/安藤ハザマ 技術研究所 [正] 西尾 竜文・足立 有史・柳原 淳一・クエンホン ソン・小津 悠輝
- VI-974 セメント系材料を用いないダブルバックカー薬液注入工法の検討(薬液の検討) /ライト工業株式会社 [正] 大西 高明・石原 匠・佐々木 敦司
- VI-975 セメント系材料を用いないダブルバックカー薬液注入工法の検討(大型土槽実証試験) /東海旅客鉄道株式会社 建設工務部 [正] 石原 匠・佐々木 敦司・大西 高明
- VI-976 シールド河川横断に伴う護岸部改良工- その1 施工方法及び薬液注入材の検討 - /西松建設 [正] 草野 孝三・山崎 宏・吉田 吉孝
- VI-977 シールド河川横断に伴う護岸部改良工- その2 曲がり削孔施工管理 - /西松建設 [正] 山崎 宏・村川 徳尚・草野 孝三

■10:40～12:00 地盤改良(4)

- VI-978 施工時の注入ロスを低減した薬液注入技術-地山バック性能- / [正] 水島 達宏・赤塚 光洋・下坂 賢二・大野 康年
- VI-979 施工時の注入ロスを低減した薬液注入技術-特殊シールド材特性- / 戸田建設 [正] 下坂 賢二・赤塚 光洋・伊藤 孝芳・大野 康年
- VI-980 施工時の注入ロスを低減した薬液注入技術-唐津現地実証実験- / 戸田建設株式会社 [正] 赤塚 光洋・下坂 賢二・水島 達宏・大野 康年・八嶋 厚
- VI-981 施工時の注入ロスを低減した薬液注入技術-津島現地実証実験- / 富士化学株式会社 [正] 大野 康年・伊藤 孝芳・下坂 賢二・八嶋 厚・村田 芳信
- VI-982 施工時の注入ロスを低減した薬液注入技術-改良効果評価手法の検討- / 岐阜大学 [正] 村田 芳信・荻谷 敬三・八嶋 厚・大野 康年・下坂 賢二
- VI-983 複合ポリマー型地盤改良剤を用いた試験施工/鴻池組 [正] 後藤 宇・加藤 満・後藤 彰宏・坪内 隆太郎・勝見 武
- VI-984 NEOソレタンシュ工法の開発について/ライト工業 [正] 宇梶 伸

平成30年8月31日(金) VI-19会場 (北海道大学札幌キャンパス 情報棟A32)

■9:00～10:20 地盤改良(5)-地下構造物(3)

- VI-985 真空設備の運転停止、載荷盛土撤去、再載荷による地盤の挙動について/大林組 [正] 浦田 将弘・伊藤 智治・佐々木 徹・中徳 基哉・宇佐美 学
- VI-986 地下鉄駅構築地下地盤改良の施工方法について/東京地下鉄株式会社 [正] 飯塚 光洋・岡田 龍二・福田 隆二・神澤 拓
- VI-987 道路整備におけるサーチャージ盛土の沈下管理に関する考察/国土交通省九州地方整備局佐賀国道事務所 [正] 梶尾 辰史
- VI-988 格子状補強シートによる90tクローラークレーンの沈下対策(その3) 現地計測の再現解析と格子状補強シートの補強効果/鹿島建設株式会社 [正] 田中 恵祐・中本 詩瑠・吉田 輝・中島 悠介・岡本 道孝
- VI-989 ジェットクリート工法による重要施設基礎の耐震補強実績/[正] 塩見 豪・定山 真輝・竹内 利彦
- VI-990 鋼製地中連続壁 二重梁モデルによる重ね壁の設計方法の検証/鋼製地中連続壁協会 [正] 馬場崎 宗之助・荒木 尚幸・桑嶋 健・武野 正和
- VI-991 大規模地下構造物の耐震補強工事における温度ひび割れ対策について/鴻池組 [正] 福田 尚弘・吉田 涼平・石岡 平八・池田 欣也・上村 浩二
- VI-992 使用されなくなったトンネルのリノベーションに関する提案/早稲田大学 [正] 岩波 基・吉本 博明・森園 由香

■10:40～12:00 設計技術・事業計画

- VI-993 JIS改正に伴うアレイ架台基礎への影響比較/大林組 [正] 三浦 国春・三浦 桂子
- VI-994 砂質土地盤における大型風車の基礎設計・設計/鹿島建設 [正] 市田 賢・酒向 裕司・田口 洋輔
- VI-995 洋上風力発電の事業化促進に関する調査(その1) -事業性に与える設置海域の影響- / 清水建設株式会社 [正] 前田 裕一・池尻 一仁・海老原 俊広・松下 泰弘・吉田 成樹
- VI-996 洋上風力発電の事業化促進に関する調査(その2) -大規模事業を想定した基地港湾の仕様/大林組 [正] 野田 和久・宮川 昌宏・真保 亨一・山之口 寛・西原 直
- VI-997 洋上風力発電の事業化促進に関する調査(その3) -基地港湾と設置海域の関係考察- / 西松建設株式会社 [正] 高村 浩彰・宇佐美 栄治・谷岡 叶・井口 謙史朗

■13:00～14:20 設計概念・技術・品質・安全管理

- VI-1000 プレキャストPC床版接合部のコンクリートの品質確保に関する取組み/中日本高速道路 [正] 真田 修・高橋 泰斗・吉松 秀和・北川 学
- VI-1001 北陸新幹線におけるプレキャストラーメン高架橋の設計事例/日本交通技術 [正] 高木 智章・前田 龍一・喜多 直之

平成30年度土木学会全国大会 第73回年次学術講演会プログラム

第6部門

- VI-1002 国内外の設計基準が開削トンネル部材へ与える影響の考察／パシフィックコンサルタンツ株式会社 [正] 今川 純一・北浦 実・西尾 陽平・清水 幸範
- VI-1003 開削トンネルの概略設計を対象とした設計審査手法の検討／阪神高速道路株式会社 [正] 篠田 隆作・高橋 祐史・崎谷 淳
- VI-998 鋼管接合構造の軸剛性に関する基礎的検討／東日本旅客鉄道株式会社 [正] 伊藤 単人・小林 寿子・小林 薫
- VI-999 平板載荷試験による緩い砂質土地盤の強度定数の逆算事例／大本組 [正] 川崎 元・柏葉 洋一・高取 秀和

■14:40～16:00 設計概念・技術・耐震・免振・特殊構造

- VI-1004 玉石砂礫地盤における併設するインフラ推進管の軌道影響評価／J R九州コンサルタンツ [正] 加藤 裕導・唐川 真理子・田原 徳生・青野 正夫
- VI-1005 鋼管杭を用いた仮橋の耐震性能/MKエンジニアリング [正] 伊藤 剛・大野 剛・井手 大輔・田中 優樹人・山口 栄輝
- VI-1006 繰り返し注入型地山補強土工法による石積み擁壁の耐震補強工事／前田建設工業株式会社 [正] 小川 裕司・畠山 恭輔・野本 一美・金刺 広明
- VI-1007 ホームの合理的な設計に向けた地震時水平変位の解析的検討／東日本旅客鉄道 [正] 小西 陽太・加藤 精亮・鈴木 健一・野間 修一
- VI-1008 〃銀座線新橋駅改良土木工事 ホーム延伸工事に伴う西新橋方面改札の切り替え工事について／東京地下鉄株式会社 改良建設部 第四工事事務所 [正] 辻口 貴大・鈴木 章悦・藤野 寛・長野 敏彦
- VI-1009 拡張型アンカーによる盛土耐震補強工事の確認試験について／鉄建建設株式会社 [正] 山本 淳・尾関 聡司・中村 宏・水口 秀人・山内 真也
- VI-1010 井戸配置の最適化ソールの開発と高速化/大成建設 [正] 宮城 充宏・山本 肇・秋本 洋平・薛 自水

平成30年8月29日(水) VI-20会場 (北海道大学札幌キャンパス 情報棟A33)

■10:40～12:00 土留め

- VI-1011 本仮設兼用合成壁の床版接合部の耐力評価/J F E スチール [正] 恩田 邦彦・古荘 伸一郎・西口 正仁・伊藤 克也・河野 謙治
- VI-1012 本仮設兼用合成壁の免震建物地下外壁への適用/大林組 [正] 黄 再弘・北出 啓一郎・後藤 宏輔・松原 秀和・西口 正仁
- VI-1013 腹起しのせん断耐力に関する一考察/株式会社大林組 [正] 白子 将則・高橋 正登・平尾 淳一・松山 積夫・波田 敏也
- VI-1014 〃土留め工事における支障物撤去と地中連続壁の同時施工による工程短縮/東京地下鉄株式会社 改良建設部 第四工事事務所 [正] 辻 貴大・吉駒 博・五十嵐 翔太
- VI-1015 C S M工法による地中連続壁の施工について/株式会社熊谷組 [正] ヤマモト シュウジ・田中 敬二・山下 裕慈
- VI-1016 補強材一体ふとん籠による補強土壁の施工/エターナルプレザープ株式会社 [正] 倉知 慎直・安部 哲生・丸山 泰・宮崎 修一・久保 幹男
- VI-1017 〃副都心線東新宿駅出入口新設工事における残置物を利用した施工計画/東京地下鉄株式会社 改良建設部 第二工事事務所 [正] 一寸木 朋也・臼井 康人・山口 秀明

■15:20～16:40 各種基礎

- VI-1018 ケーソン刃口の刃先形状に関する試験解析(その1)/大林組 生産技術本部 技術第一部 [正] 柳 東雲・中村 清志・稲川 雄宣
- VI-1019 ケーソン刃口の刃先形状に関する試験解析(その2)/大林組 生産技術本部 技術第一部 [正] 稲川 雄宣・中村 清志・柳 東雲
- VI-1020 乱された地盤の支持力低下をロット割に反映したケーソンの沈設管理/大成建設 横浜支店 [正] 三井 好古・香川 純成・桐原 憲一郎・宇野 浩樹・金子 淳
- VI-1021 オープンケーソン工法の水中コンクリートへの高流動コンクリートの適用/清水建設株式会社 [正] 宮田 佳和・森本 鉄吉・高森 太郎・藤本 博・速水 俊幸
- VI-1022 ストラッド場所打ち杭工法における鉄筋かごの縮小および浮上防止方法/鹿島建設(株) [正] 岩本 拓也・本田 智昭・島村 淳・小河 宗之・堀田 智弘
- VI-1023 ストラッド場所打ち杭工法の実構造物への適用/東日本旅客鉄道 [正] 鈴木 健一・加藤 精亮・山野辺 慎一・堀田 智弘・川村 大士
- VI-1024 都市部におけるPCウェル工法の近接施工実績/鹿島建設 [正] 仲野 公朗・松村 徹・松井 修治・平田 克英・梅津 一星

平成30年8月30日(木) VI-20会場 (北海道大学札幌キャンパス 情報棟A33)

■9:00～10:20 開削トンネル

- VI-1025 都心部道路上での等厚式地下連続壁工法(TRD工法)の施工実績-東京地下鉄(株)日比谷線虎ノ門新駅(仮称)工事-/鹿島建設 [正] 吉田 健太郎・北川 豊・鈴木 章悦・郡山 剛
- VI-1026 撤去工事の効率化を目的とした土留め杭合理化工法/鹿島建設 [正] 柄沢 篤志・一宮 利通・平 陽兵・井上 直史・坂本 尚基
- VI-1027 平面曲線・縦断勾配を有する大断面ボックスカルバートのプレキャスト化(その1)/清水建設 [正] 藤田 東野・大田 寛・広地 豪・齋藤 寛・荒木 尚幸
- VI-1028 平面曲線・縦断勾配を有する大断面ボックスカルバートのプレキャスト化(その2)/清水建設 [正] 齋藤 寛・大田 寛・宗像 慎也・藤田 東野・荒木 尚幸
- VI-1029 環状2号線における狭隘なスペースでの配筋の工夫/[正] 藤ノ木 ひかる・高橋 博威・大西 孝典・時弘 みどり
- VI-1030 既設躯体偏土圧作用下での側部開削の設計施工実績-東京地下鉄(株)日比谷線虎ノ門新駅(仮称)工事-/鹿島建設株式会社 [正] 岩崎 俊樹・石松 信哉・吉田 健太郎・藤野 寛・野崎 圭祐

■10:40～12:00 地下構造物(1)

- VI-1031 供用中の高速道路ランプ橋に対する橋梁受替ならびに橋梁基礎杭撤去(その1)/清水建設 [正] 松下 文哉・原 忠・寺本 太郎・山岸 睦功・塚田 裕史
- VI-1032 供用中の高速道路ランプ橋に対する橋梁受替ならびに橋脚基礎杭撤去(その2)-既設橋脚、既設底版基礎、既設基礎杭撤去-/清水建設株式会社 [正] 寺本 太郎・原 忠・前田 俊宏・山岸 睦功・塚田 裕史
- VI-1033 狭隘な施工空間におけるトンネル頂版コンクリート施工の実証実験(その1)/首都高速道路 [正] 大西 孝典・高橋 博威・永峯 崇二・戸田 晶
- VI-1034 狭隘な施工空間におけるトンネル頂版コンクリート施工の実証実験(その2)/清水建設株式会社 [正] 永峯 崇二・大塩 隆・赤松 諒亮・齋藤 彰
- VI-1035 大規模アンダーパニング工の施工実績(その1)-地下鉄躯体の仮受け工における計画・設計と施工管理-/鹿島建設 [正] 谷澤 史剛・岩下 直樹・板橋 信男・山本 章貴・坂梨 利男
- VI-1036 大規模アンダーパニング工の施工実績(その2)-ジャッキ載荷による躯体挙動について-/鹿島建設 [正] 坂梨 利男・鍵和田 真基・岩下 直樹・谷澤 史剛・中村 佳大
- VI-1037 大規模アンダーパニング工の施工実績(その3)/鹿島建設株式会社 [正] 山本 章貴・岩下 直樹・板橋 信男・中村 佳宏・伊藤 一宏

平成30年8月31日(金) VI-20会場 (北海道大学札幌キャンパス 情報棟A33)

■9:00～10:20 地下構造物(2)・河川構造物

- VI-1038 都心部での引抜式パイプルーフ工法による非開削地下通路施工実績について/鹿島建設株式会社 [正] 工藤 耕一・橋口 弘明・大迫 りょう・上木 泰裕
- VI-1039 低土被・軟弱土層における矩形推進の施工報告-東京外環自動車道 和田地区雨水函渠付替工事-/清水建設 [正] 成田 彩華・大田 寛・広地 豪・小橋 保仁
- VI-1040 液状化地盤内における水道配水用ポリエチレン管路挙動に関する研究/配水用ポリエチレンパイプシステム協会 [正] 大室 秀樹・塩浜 裕一・中山 学・江尻 謙嗣・伊藤 浩二
- VI-1041 S T R E A M工法(ダクタイル鋳鉄管入替工法)の開発について/東邦ガス株式会社 [正] 北野 哲司・川島 尊信・長谷 康平・松尾 康孝
- VI-1042 ニューマチックケーソン工法における沈下対策/東急建設 [正] 樋口 春樹・鈴木 一・関 浩志・大久保 貴史・坪 義人
- VI-1043 鋼管矢板井筒基礎の盤ぶくれ対策/鹿島建設 [正] 脇岡 宏行・十河 浩・中島 与博・丸山 凌樹
- VI-1044 試験盛土に基づく固化改良を用いた引き込み沈下対策の設計検討について/川崎地質株式会社 [正] 太田 史朗・大坪 智博・松芳 健一・榎 清和・菅原 匠
- VI-1045 高盛土下アーチカルバートのE P Sによる土圧低減効果/清水建設 [正] 辻岡 章雅・土屋 信洋・長澤 正明

■10:40～12:00 ダム(1)

- VI-1046 重力探査による琉球石灰岩層の空洞および基礎岩形状調査の適用性の検証/前田建設工業 [正] 角 翼・松本 拓真・山内 淑人・北田 奈緒子・井上 直人
- VI-1047 農業用フィルダムのリニューアル工事における生産性の向上/大林組 生産技術本部 ダム技術部 [正] 太田 親・高橋 勲・西村 貴志・溝口 晃一
- VI-1048 小規模ダム工事におけるプレキャスト部材の活用/佐藤工業 [正] 片岡 大到・野 稲 清・田坂 玄
- VI-1049 ダムコンクリート締固め管理システムの開発/清水建設株式会社 [正] 立花 すばる・宇野 昌利・竹内 啓五・平野 純弘・長尾 貴浩
- VI-1050 ダム湖内に構築するコンクリート構造物の配管圧送試験について/大成建設 [正] 矢部 和史・水野 智亮・谷地 宣之
- VI-1051 近赤外線水分計を用いた盛立材料の室内迅速含水比測定装置/鹿島建設(株) [正] 藤崎 勝利・辻 良祐・照井 秀幸・小林 弘明・坂本 博紀
- VI-1052 温度ひび割れ抑制対策における給熱保温シートの適用実績について-新桂沢ダム堤体建設第一期工事(その2)-/鹿島建設株式会社 [正] 室野井 敏之・蝶野 誠一・佐々木 瞬・福井 直之・中村 元郎

■13:00～14:20 ダム(2)

- VI-1053 ダム建設事業における施工から維持管理を見据えたC I Mの適用事例/八千代エンジニアリング [正] 齋藤 康宏・片山 善郎・吉田 武司・宮下 嘉人
- VI-1054 環境配慮型濁水処理技術『アクアフィルターシステム』の施工事例/前田建設工業(株) [正] 杉野 裕之・中野 孝威・山本 達生・桑野 陵一
- VI-1055 ひび割れ監視システムの導入(鏡川ダム)/清水建設株式会社 [正] 山下 哲一・江渡 正満・森 日出夫・勝間田 哲郎・加瀬 俊久
- VI-1056 浜田ダム再開発工事における放流管改造工事/鹿島建設 [正] 楠木 寛士・小浴 優・沼本 仁志
- VI-1057 大分川ダム基礎処理工へのパイロット孔地質データの活用/鹿島建設 [正] 升元 一彦・川端 淳一・渥美 博行・高橋 勝也・奈須野 恭伸
- VI-1058 ダム基礎処理工における三次元施工品質管理システムの開発/鹿島建設 [正] 野中 隼人・升元 一彦・中島 誠明・佐藤 敏亮・川端 淳一
- VI-1059 土質材料の粒度計測に対する2次元と3次元画像処理手法の適用性に関する検討/安藤ハザマ [正] 野間 康隆・和辻 総一郎・藤川 貴浩・相川 直幸

■14:40～16:00 ダム(3)

- VI-1060 ロックフィルダム盛立におけるコア材製造時の新しい品質管理(その1)-近赤外線水分計による含水比の全量管理-/鹿島建設株式会社 [正] 小林 弘明・小原 隆志・増村 浩一・坂本 博紀・坂井田 輝
- VI-1061 ロックフィルダム盛立におけるコア材製造時の新しい品質管理(その2)-画像粒度解析システムによる粒度管理-/鹿島建設 [正] 小原 隆志・小林 弘明・坂本 博紀・増村 浩一・坂井田 輝
- VI-1062 アスファルト表面遮水型壁ダムのクラック補修工法の耐震性能について/東京電力ホールディングス株式会社 [正] 黒川 聡・城本 政一

平成30年度土木学会全国大会 第73回年次学術講演会プログラム

第6部門

- VI-1063 温度変化を受けるマスコンクリートの周期に着目した変形挙動評価／独 水資源機構
[正] 曾田 英揮
- VI-1064 超高強度繊維補強コンクリート製パネルのダム減勢エライニング材への適用（浜田ダム再開発工事）／鹿島建設株式会社 [正] 沼本 仁志・木村 有希・柳井 修司・水野 浩尚・白木 浩
- VI-1065 フィルダムコアゾーンにおける品質管理の高度化に関する取組事例／独立行政法人水資源機構 [正] 有馬 慎一郎・坂本 博紀・日野 浩二・田中 英晶・小林 弘明